

令和元年度 渋谷区 区民意識調査
報告書

渋谷区

目次

I. 調査の概要	1
II. 回答者の属性	5
III. 調査結果	9
1. 定住性について	9
(1) 居住年数	9
(2) 今後の定住意向	11
(3) 転出意向理由	13
2. 区政について	15
(1) 区政への関心度	15
(2) 区の施策の充実度	18
(3) 区政の情報入手経路	24
3. 渋谷区基本構想について	26
(1) 基本構想とスローガンの認知度	26
(2) 基本構想とスローガンの認知経路	28
(3) 基本構想とスローガンの広報手段	30
4. 高齢者施策について	33
(1) 介護に対する不安	33
(2) 介護に対する不安の具体的な内容	34
(3) 渋谷区が優先的に取り組むべき高齢者施策	36
(4) 将来望む介護	38
5. アクティブシニアについて	40
(1) 渋谷区に住む高齢者の社会との関わり	40
(2) 「渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ（通称：シブカツ）」認知度	42
(3) シブカツ認知内容	43
(4) シブカツに今後期待すること	44

6. 渋谷区喫煙ルールについて	45
(1) 「渋谷区喫煙ルール」認知度	45
(2) 「渋谷区喫煙ルール」認知内容	47
(3) 渋谷区に期待する喫煙ルール	48
7. ネウボラについて	50
(1) 「渋谷区子育てネウボラ」に期待すること	50
(2) 「妊婦面接」に期待すること	52
(3) 地域の子育てへの参加意向	54
8. 町会・自治会について	56
(1) 近所付き合いの望ましい姿	56
(2) 町会・自治会の加入状況	58
(3) 町会・自治会の未加入理由	61
(4) 町会・自治会へ期待する役割	63
9. 広報紙「しぶや区ニュース」について	66
(1) 広報紙「しぶや区ニュース」の閲読状況	66
(2) 広報紙「しぶや区ニュース」の評価	68
(3) 広報紙「しぶや区ニュース」の非閲読理由	70
10. コミュニティFM・SNSについて	72
(1) 地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」の聴取状況	72
(2) 「渋谷のラジオ」による区の広報番組の聴取経験	74
(3) 区の広報番組の評価	75
(4) 区の広報番組の非聴取理由	76
(5) 渋谷区 SNS の認知・利用度	77
資料編	81
調査票	81

I. 調査の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の名称

区民意識調査

(2) 調査の目的

区民の区政に対する意識等を把握し、今後の区政課題に反映させることを目的とする。

(3) 調査対象

渋谷区在住の18歳以上の人

(4) 調査期間

令和元年8月29日～令和元年10月20日

(5) 調査方法及び回答件数

年齢	配布方法	回収方法	配布数
18～64歳	はがきで URL を案内	インターネット	14,500
65歳以上	調査票を郵送	郵送回収 (インターネットによる回答も可)	700

回収方法	配布数	有効回収数 ^{注)}	回収率
インターネット	14,500	1,572	10.8%
郵送	700	290	41.4%
合計		1,862	

注) インターネットの有効回収数は、郵送配布したもののうちインターネットによる回答も含まれる

(6) 報告書における表及び図表の見方

- ・図表内の「n」は、設問に対する回答すべき人数(基数)である。回答者数(「n」)が30未満のものは誤差が大きくなるため、参考値とする。
- ・集計は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とならない場合がある。同様に、複数の比率の合計も図表の数字が一致しない場合がある。
- ・複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ・本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- ・平成29年調査は調査方法が異なるのであくまで参考値となる。

2. 調査結果の概要

(1) 定住性について

- ・渋谷区の居住年数は、「30年以上」が24.4%で最も高く、次いで「10年～20年未満」(23.2%)が高い。居住年数10年以上が6割を占める。年齢別にみると、20代は「2年～5年未満」と「20年～30年未満」がそれぞれ30.1%で最も高く、次いで、「2年未満」が21.9%と高い。30代は「2年～5年未満」が36.3%で最も高く、10年未満が8割近くを占める。30代以上は年代が上がるにつれ居住年数が長くなる傾向がみられ、「30年以上」は60代で49.8%、70歳以上で67.2%を占める。
- ・今後の定住意向は、「ずっと住み続けたい」が47.7%、「できれば住み続けたい」が46.8%である。「住み続けたい(計)」は94.5%に達する。年齢別にみると、「ずっと住み続けたい」は年齢が上がるほど高くなるが、「住み続けたい(計)」は各年代とも9割以上を占める。
- ・転出意向理由は、「住まい周辺の環境が悪くなってきたから」(46.4%)、「家賃、地代が高いから」(40.2%)が4割を超えて高く、以下、「買い物が不便だから(近くに商店がない、物価が高いなど)」(25.8%)、「現在の住宅が狭いから」(24.7%)、「固定資産税、相続税が高いから」(20.6%)などが続く。

(2) 区政について

- ・区政への関心度は、「関心がある(計)」が86.1%、「関心がない(計)」が13.7%である。年齢別にみると、「関心がある(計)」は中高年層で高い傾向があり、70歳以上で9割強、40代と50代で9割弱を占める。一方、20代はやや低く、7割半ばにとどまっている。子どもの有無別にみると、子どもが「いる」層は「いない」層に比べ、区政への関心度が高く、「関心がある(計)」は「いる」層が89.3%、「いない」層が82.3%である。
- ・区の施策について、「充実している(計)」が高い施策は「学校教育」(78.5%)、「子育て支援」(70.1%)、「防災対策・避難場所」(65.5%)、「高齢者施策」(64.5%)、「健康のための支援」(61.8%)などである。一方、「充実していない(計)」が高い施策は、「まちのバリアフリー化」(64.0%)、「路上喫煙・タバコ対策」(58.3%)、「駐輪場・自転車対策・シェアサイクルなど多様な交通手段の利用」(54.7%)、「防犯・風紀対策」(50.2%)などである。
- ・区政の情報入手経路は、「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」が86.8%で断然高い。年齢別にみると、「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」は各年代とも最も高いが、特に40代以上は9割前後に達する。「町会・自治会の掲示板」は年代が上がるにつれ高くなる傾向にあり、60代で3割半ば、70歳以上では5割半ばとなっている。ソーシャルメディアは若い世代の方が高いが、「渋谷区のホームページ」は30～50代が3割前後で20代よりも高く、「渋谷区公式LINE」は30代が19.2%で最も高い。「SNSやWebのニュースサイトの情報(渋谷区公式以外)」は30代以下が1割半ばで40代以上代に比べ高い。

(3) 渋谷区基本構想について

- ・基本構想とスローガンの認知度は、「両方とも知らない」が62.4%で最も高い。スローガンの認知率は32.2%、基本構想の認知率は11.4%、スローガンまたは基本構想の認知率は36.7%である。区政に対して「関心がある」層は認知度も高く、スローガンまたは基本構想の認知率は区政に「関心がある(計)」が39.8%、「関心がない(計)」が17.2%である。
- ・認知経路は、「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」が断然高く84.5%を占める。「渋谷区のホームページ」は18.7%、その他の経路は10%未満である。
- ・広報手段としては、「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」が71.8%で最も高い。以下、「テレビや新聞、ラジオなどのマスメディア」(45.1%)、「町会・自治会の掲示板、回覧板」(44.3%)が4割を超える。認知経

路と比較すると、1位はどちらも「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」だが、「テレビや新聞、ラジオなどのマスメディア」と「町会・自治会の掲示板、回覧板」は4割半ばが目につれやすいものに挙げているが、現状の認知経路としては1割未満にとどまっている。

(4) 高齢者施策について

- ・介護に対する不安は、「不安がある」が 91.5%を占める。「不安はない」は 8.3%である。
- ・介護に対する不安の具体的な内容は、「金銭面」が 74.0%で最も高く、次いで、「介護の方法」(65.0%)が高い。共働きの有無別にみると、共働きは全体に比べ「仕事との両立」「家事との両立」「育児との両立」が高い。また、「金銭面」も共働きではないに比べ共働きの方が高い。共働きではないは「介護の方法」が最も高い。
- ・渋谷区が優先的に取り組むべき高齢者施策は、「在宅介護の支援(在宅で生活が続けられる介護・医療サービス、家族介護者への支援)」(49.0%)と「高齢者施設の拡充(特別養護老人ホーム、通いで介護を受けられる(デイサービス等)施設の充実)」(48.0%)が高い。
- ・将来望む介護は、「高齢者福祉施設(特別養護老人ホームなど)に入所」(34.6%)と「在宅のままで訪問看護やホームヘルプサービスなどを利用」(32.0%)が3割を超える。在宅のままの介護を希望する人と施設への入所を希望する人の割合は拮抗している。

(5) アクティブシニアについて

- ・渋谷区に住む高齢者が社会と関わりを持ちながら生活を送っているかについて、「そう思う(計)」は 41.5%で、「そう思わない(計)」の 42.4%と拮抗している。
- ・「渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ」認知度は、「知らない」が 86.5%を占める。
- ・シブカツ認知内容は、「渋谷ハチコウ大学(令和元年 10 月開校)を知っている」が 40.4%で最も高い。「シブカツのWebサイトを閲覧したことがある」は 22.9%である。
- ・シブカツに今後期待することは、「経験や能力を活かせる場の情報提供」が 57.6%で最も高い。次いで、「働くための情報提供」(36.5%)が高く、情報提供への期待が高い。

(6) 渋谷区喫煙ルールについて

- ・「渋谷区喫煙ルール」認知度は、「ルールがあることだけは知っている」が 47.3%で最も高い。認知率(「内容まで知っている」+「ルールがあることだけは知っている」)は 68.1%である。
- ・「渋谷区喫煙ルール」認知内容は、「屋外の公共の場所(区内の道路・公園・広場・その他公共の場所)が終日禁煙であること」が 87.9%で最も高く、次いで、「屋外の公共の場所では『指定喫煙所』以外での喫煙は禁止されていること(私有地は除く)」(79.9%)が高い。
- ・渋谷区に期待する喫煙ルールは、「喫煙者へのマナー向上のための普及啓発」が 70.3%で最も高い。以下、「受動喫煙防止のために必要な環境の整備」(60.3%)、「指導員の巡回による指導、過料徴収などの着実な運用」(54.7%)、「受動喫煙による健康への悪影響についての普及啓発」(46.3%)などが続く。

(7) ネウボラについて

- ・「渋谷区子育てネウボラ」に期待することは、「保健師に相談することで、適切な窓口につないでもらえること」(39.5%)と「保健師に気軽に相談できること」(36.4%)が高く、子どもの有無別にみると、子どもが「いる」層は4割半ばが「保健師に相談することで、適切な窓口につないでもらえること」を挙げている。

- ・「妊婦面接」に期待することは、「出産後の子育てについて相談できること」が 53.0%で最も高い。次いで、「利用できるサービスの紹介」(45.5%)、「妊娠中の体の変化や家族のことを相談できること」(42.9%)が続く。子どもの有無別にみると、子どもが「いる」層は「出産後の子育てについて相談できること」が6割弱、「利用できるサービスの紹介」がほぼ5割である。
- ・地域の子育てへの参加意向は、「機会があれば参加したい」が 47.9%で最も高い。「参加意向あり(計)」は 56.0%である。長子の年齢別にみると、長子の年齢が低いほど「参加意向あり(計)」は高くなる傾向にあり、「小学生」以下は8割を超える。特に「4歳未満」は「ぜひ参加したい」が他層に比べかなり高い。

(8) 町会・自治会について

- ・近所付き合いの望ましい姿は、「あいさつを交わす程度だが災害時等は助け合うこと」が 64.4%で最も高い。次いで、「日頃から仲良く交流すること」(19.3%)、「地域の行事や清掃活動などに参加すること」(11.9%)である。
- ・町会・自治会の加入状況は、「加入していない」が 44.1%、「加入している」が 40.9%、「分からない」が 14.4%である。居住年数が長くなるにつれ、加入率は高くなっており、居住年数「2年未満」の加入率はわずか 9.4%であるのに対し、「30年以上」は 66.3%に達する。居住形態別にみると、加入率が最も高いのは「一戸建て(持ち家)」の 75.6%である。一方、「マンション・アパート(借家)」はわずか 8.6%である。
- ・未加入理由は、「加入する機会がなかったから(加入する方法を知らないから)」が 52.9%で最も高い。以下、「仕事などが忙しく時間がないから」(35.6%)、「活動の内容が分からないから」(26.2%)などが続く。
- ・町会・自治会へ期待する役割は、「地域防災(避難、災害時の避難場所の設営・運営などを含む)」(44.7%)と「防犯活動(見回り活動などを含む)」(43.6%)が高く、防災・防犯への期待が高いことがわかる。

(9) 広報紙「しぶや区ニュース」について

- ・閲読状況は、「ときどき読む」が 47.0%、「毎号読む」が 43.8%、「読まない」が 8.7%である。閲読率は 90.8%を占める。年齢別にみると、30代以上の閲読率は8割半ば～9割半ば、20代は7割半ばである。
- ・広報紙「しぶや区ニュース」の評価は、いずれの項目も「良い(計)」が8割弱～9割弱を占める。
- ・非閲読理由は、「読む時間がない」が 27.8%で最も高く、以下、「読みたい情報がない」(21.0%)、「区政に関心がない」(16.0%)、「各戸配布で届いていない」(14.2%)などが続く。

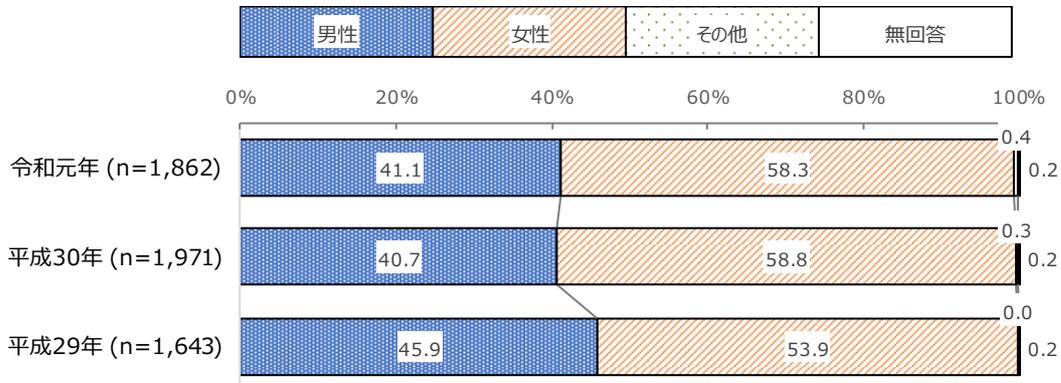
(10) コミュニティFM・SNSについて

- ・地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」の聴取状況は、「放送を知らなかった」が 61.8%で最も高い。「知っていたが、聴いていない」は 26.0%である。一方、「聴いたことがある(計)」は 8.3%である。
- ・「渋谷のラジオ」聴取経験者の、区の広報番組の聴取経験は、「聴いたことはない」が 64.9%、「聴いたことがある」が 35.1%である。
- ・区の広報番組の評価は、「総合的な評価」で「良い(計)」が 85.2%を占める。
- ・区の広報番組の非聴取理由は、「区の広報番組があることを知らなかった」(46.0%)が半数近くに達する。以下、「他の手段で区の情報を得ている」(20.0%)、「聴きたい情報がない」(12.0%)などが続く。
- ・渋谷区 SNS の認知・利用度は、「認知(計)」は、「LINE(渋谷区 LINE 公式アカウント@shibuyacity)」(29.4%)、「フェイスブック(渋谷区<city_shibuya>)」(29.4%)、「ツイッター(渋谷区<@city_shibuya>)」(28.8%)が高く、3割弱である。「閲覧経験あり(計)」は、「LINE(渋谷区 LINE 公式アカウント@shibuyacity)」(11.8%)と「フェイスブック(渋谷区<city_shibuya>)」(10.1%)がほぼ1割である。

II. 回答者の属性

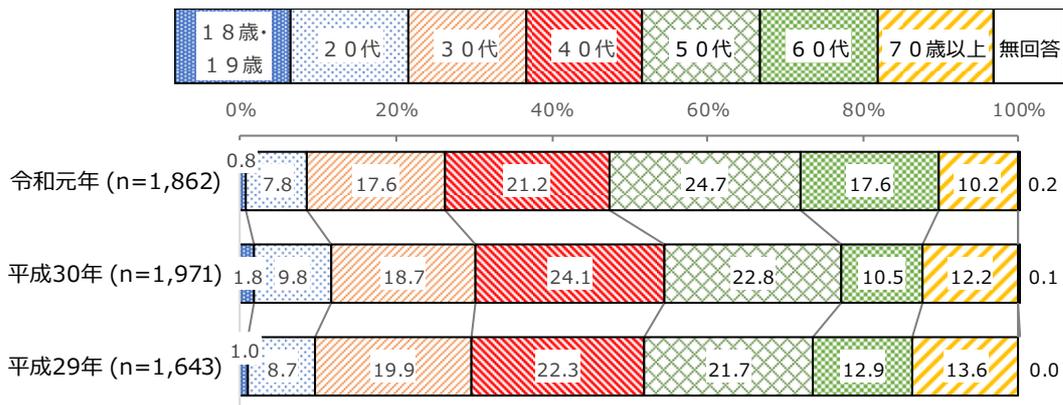
(1) 性別

図 II-1 性別



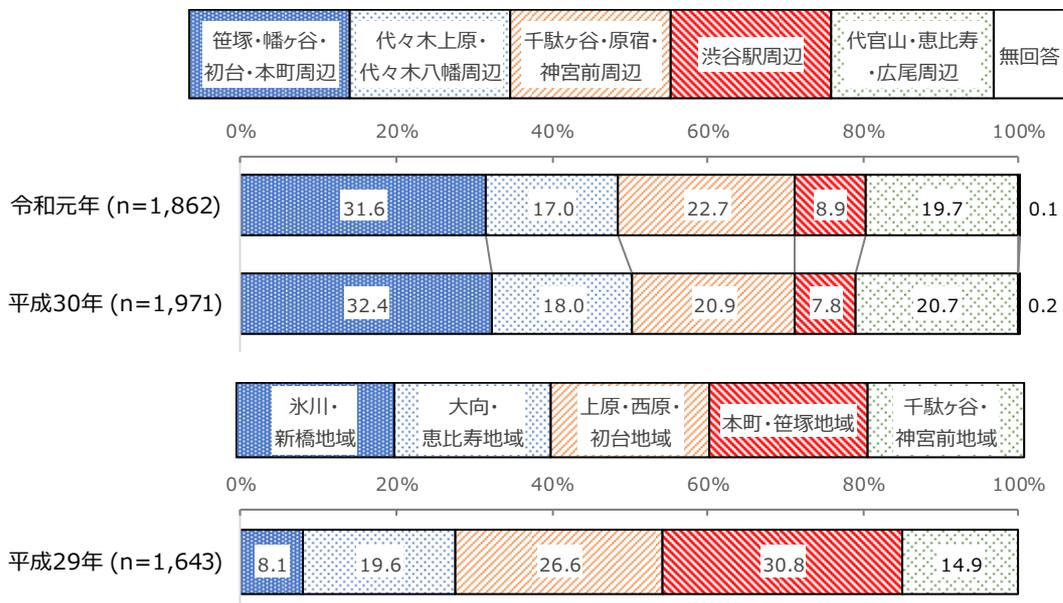
(2) 年齢

図 II-2 年齢



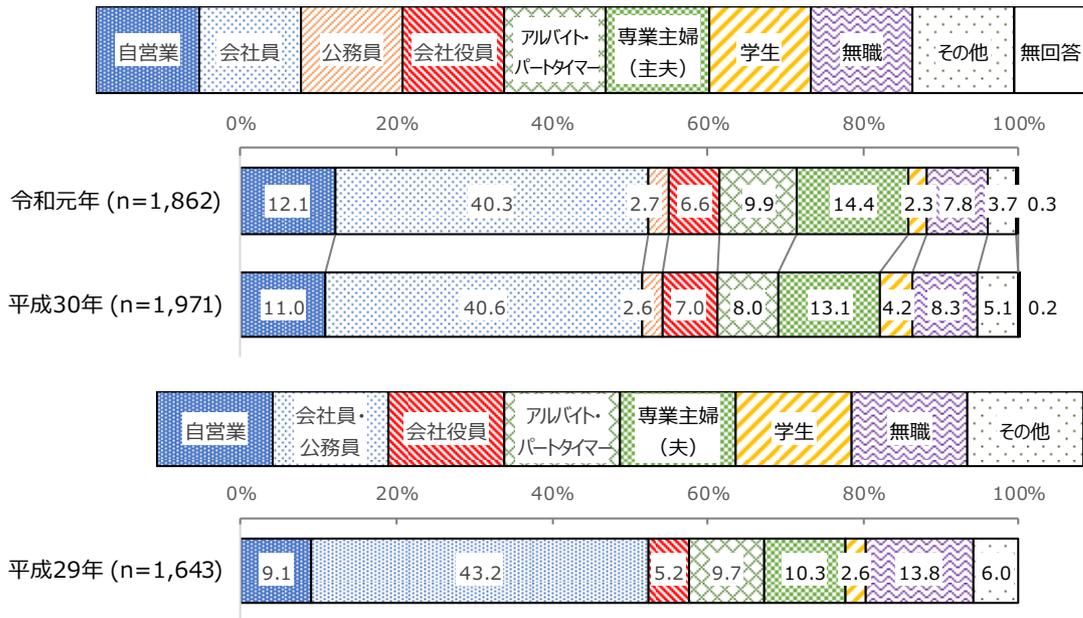
(3) 地区

図 II-3 地区



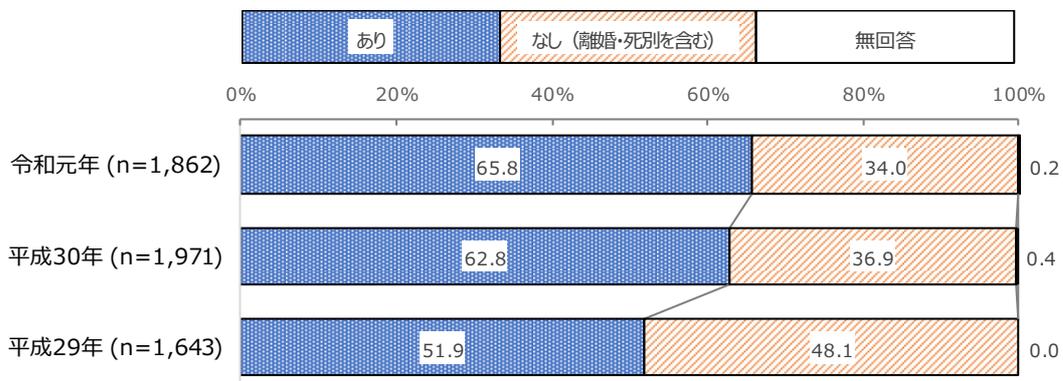
(4) 職業

図Ⅱ-4 職業



(5) 配偶者の有無

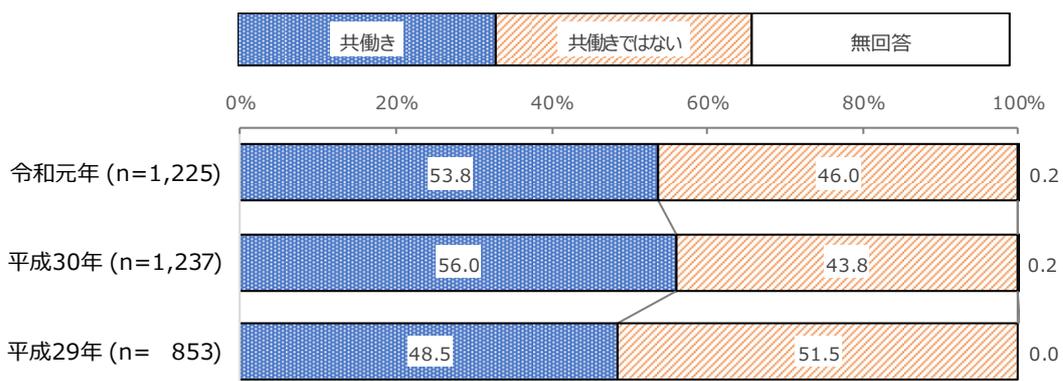
図Ⅱ-5 配偶者の有無



(6) 共働きの有無

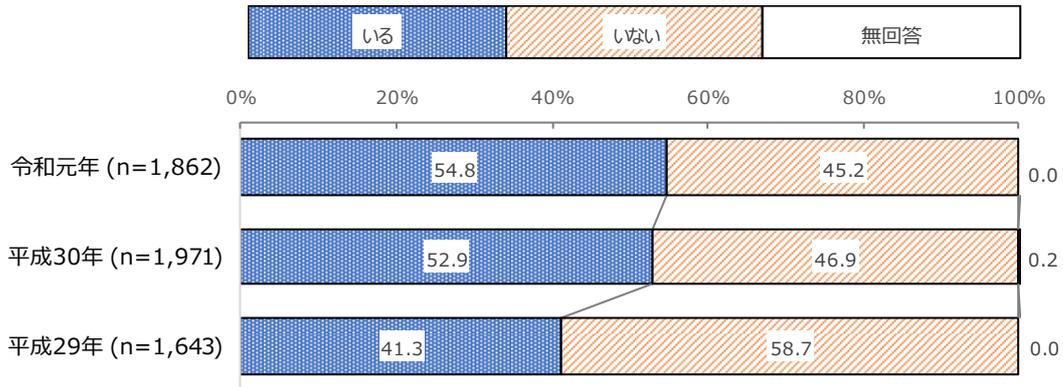
※配偶者ありの方対象

図Ⅱ-6 共働きの有無



(7) 子どもの有無

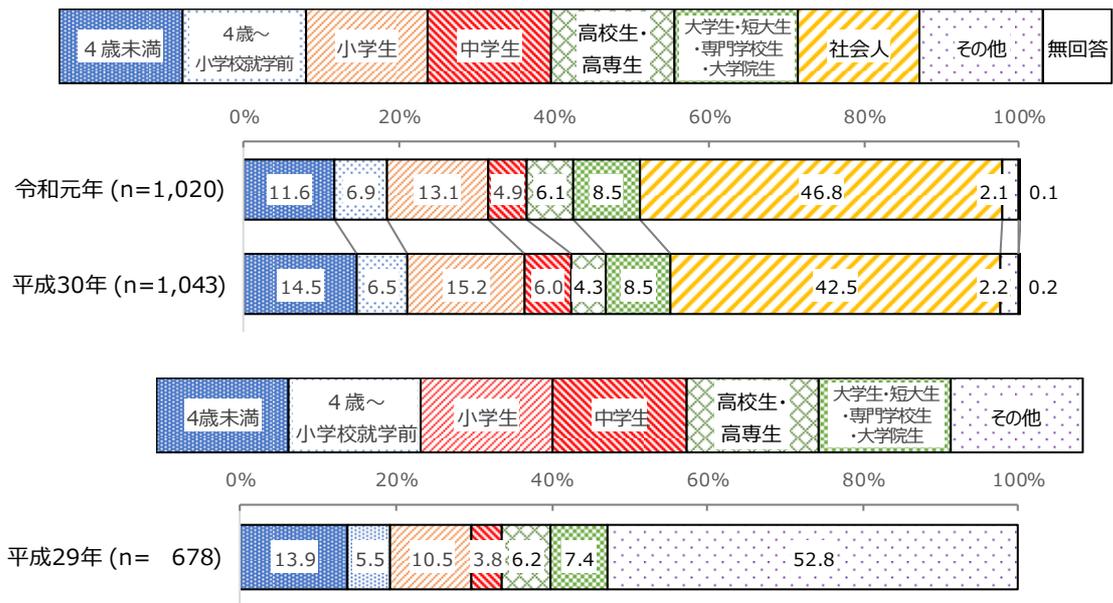
図Ⅱ-7 子どもの有無



(8) 長子年齢

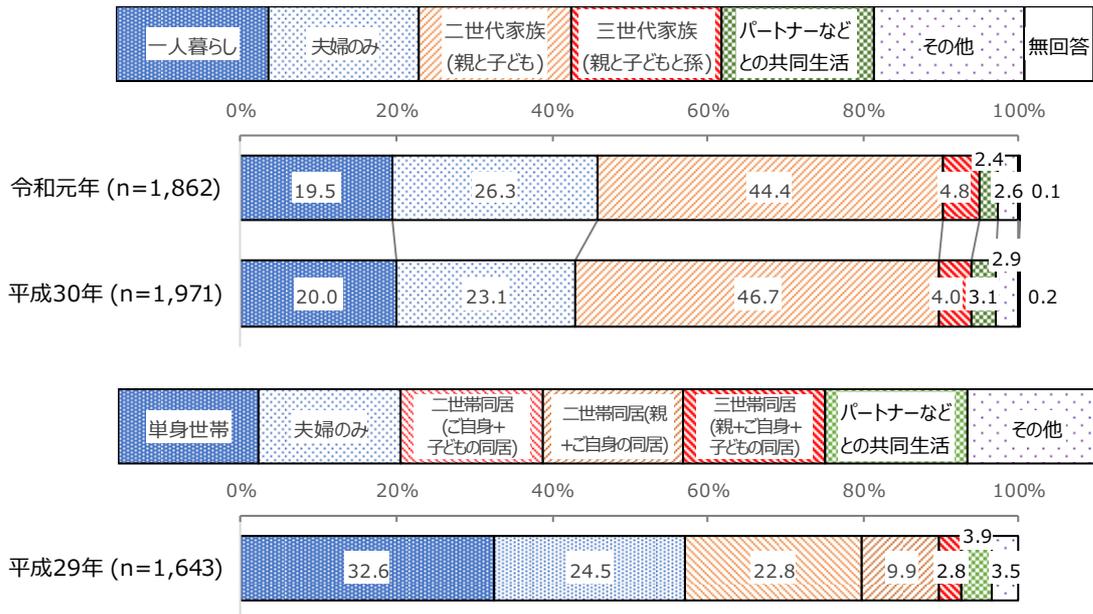
※子供がいる方対象

図Ⅱ-8 長子年齢



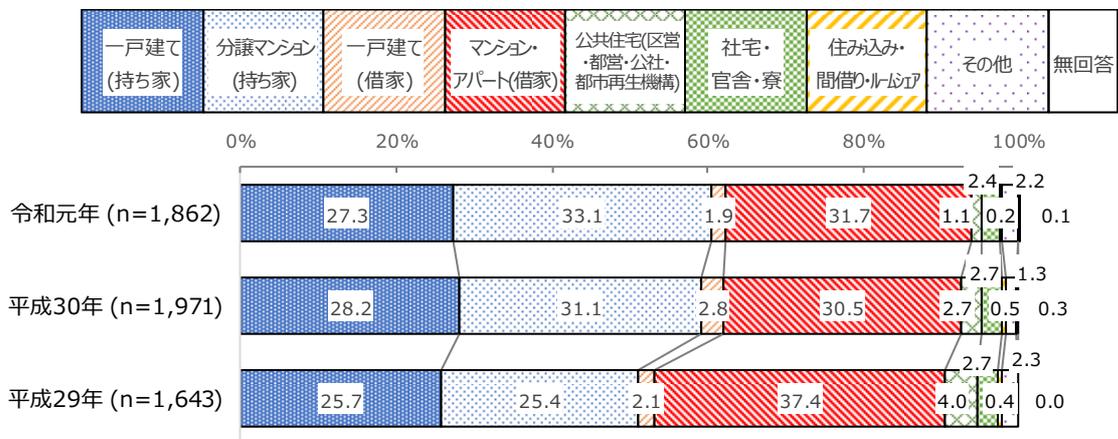
(9) 世帯構成

図Ⅱ-9 世帯構成



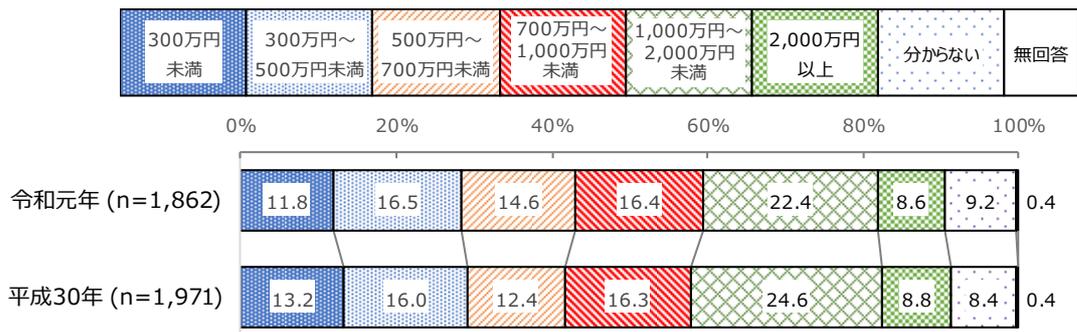
(10) 居住形態

図Ⅱ-10 居住形態



(11) 世帯年収

図Ⅱ-11 世帯年収



Ⅲ. 調査結果

1. 定住性について

(1) 居住年数

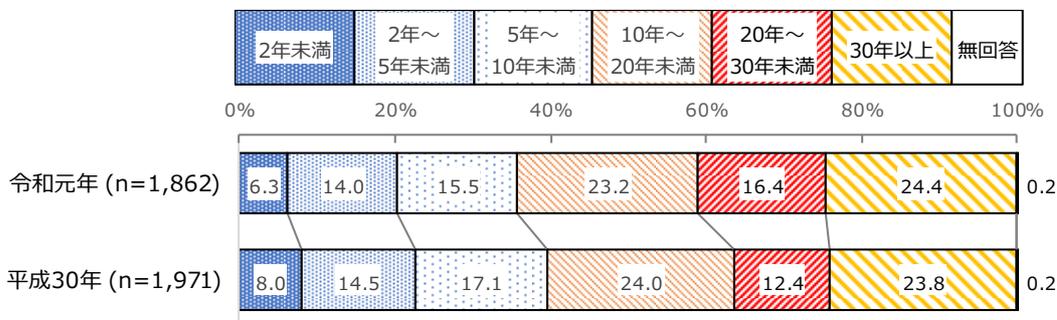
問1 あなたは、渋谷区に住んで何年になりますか。(答は1つ)

※直近の居住年数についてお答えください。過去の居住については含みません。

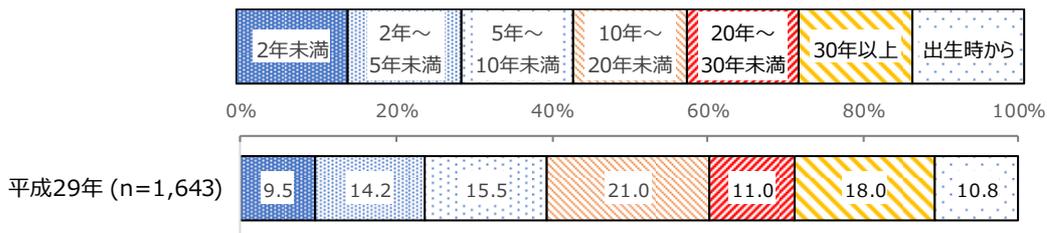
「30年以上」が24.4%で最も高く、次いで「10年～20年未満」(23.2%)が高い。居住年数10年以上が6割を占める。

平成30年調査と比較すると、「20年～30年未満」が令和元年調査はやや増えている。

図Ⅲ-1-1 居住年数



<参考資料>平成29年調査 居住年数

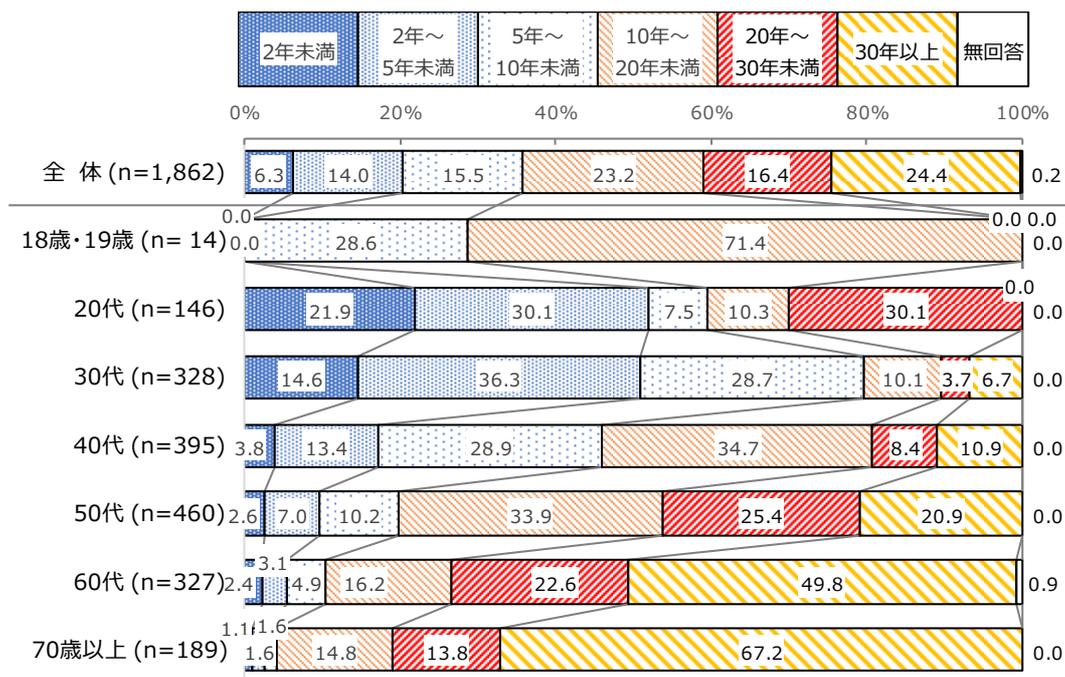


【年齢別】

20代は「2年～5年未満」と「20年～30年未満」がそれぞれ30.1%で最も高く、次いで、「2年未満」が21.9%と高い。30代は「2年～5年未満」が36.3%で最も高く、10年未満が8割近くを占める。30代以上は年代が上がるにつれ居住年数が長くなる傾向がみられ、「30年以上」は60代で49.8%、70歳以上で67.2%を占める。

なお、18歳・19歳はn(基数)が30未満のため、参考程度に見ていただきたい(以下同様)。

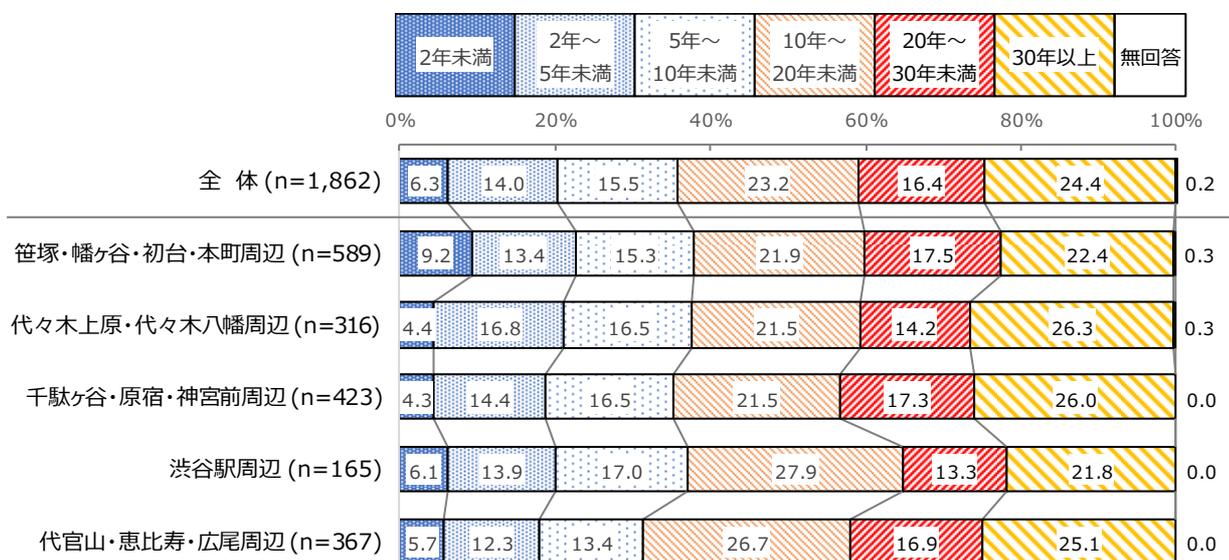
図Ⅲ-1-2 居住年数(年齢別)



【地区別】

「渋谷駅周辺」は「5年～10年未満」が17.0%、「10年～20年未満」が27.9%で、5年～20年未満が4割半ばを占め、他地域より割合が高い。

図Ⅲ-1-3 居住年数(地区別)



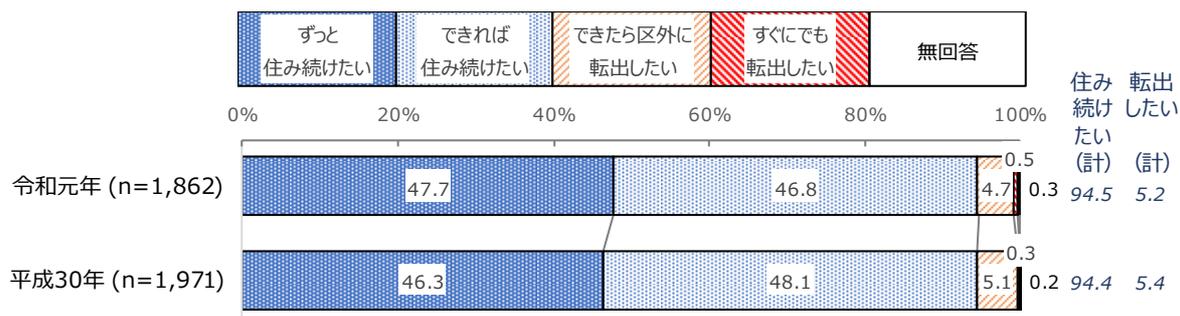
(2) 今後の定住意向

問3 これからも渋谷区に住みつづけたいと思いますか。(答は1つ)

「ずっと住み続けたい」が47.7%、「できれば住み続けたい」が46.8%である。「住み続けたい(計)」(「ずっと住み続けたい」+「できれば住み続けたい」)は94.5%に達する。

平成30年調査と比較すると、傾向はほとんど変わらない。

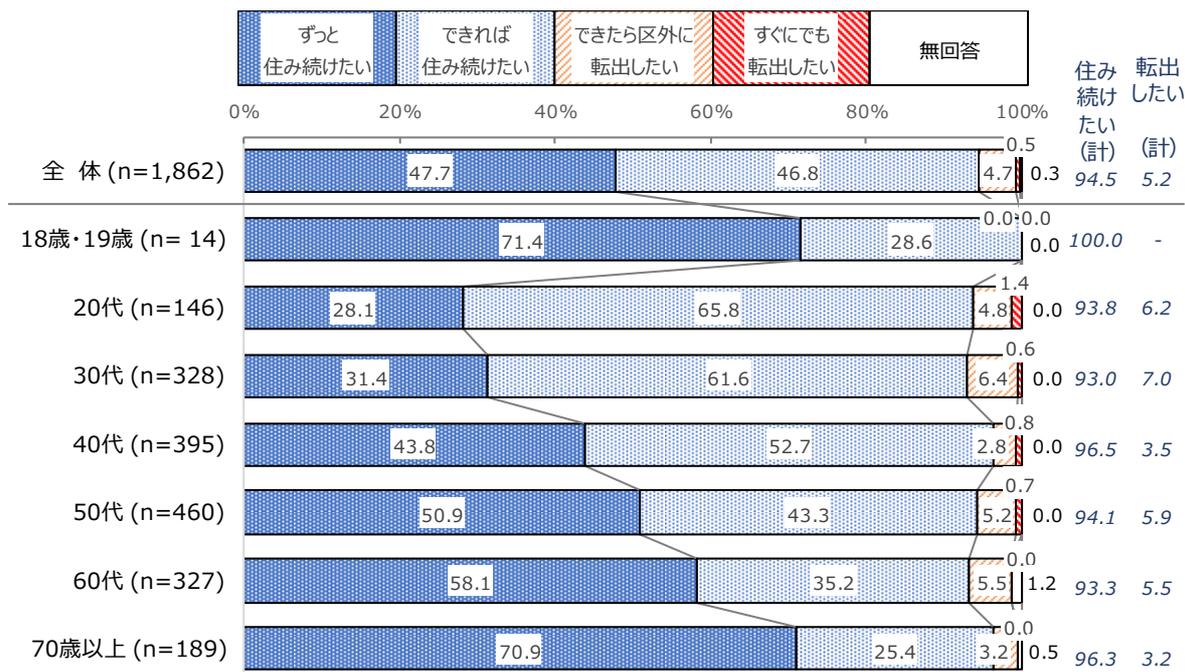
図Ⅲ-1-4 今後の定住意向



【年齢別】

20代以上は年代が上がるにつれ、「ずっと住み続けたい」の割合が高くなる傾向にあり、20代・30代は3割前後だが、50代で5割を超え、70歳以上は7割を超える。しかし、「住み続けたい(計)」は年代による差は小さく、各年代とも9割以上を占める。

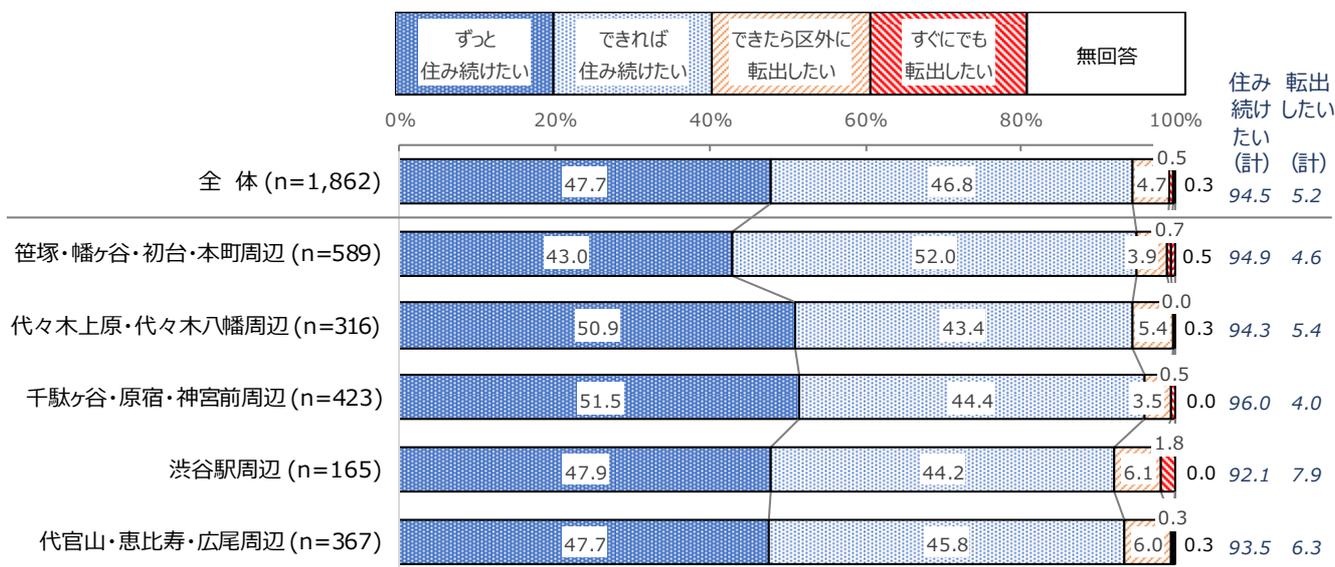
図Ⅲ-1-5 今後の定住意向(年齢別)



【地区別】

「ずっと住みたい」は「笹塚・幡ヶ谷・初台・本町周辺」が 43.0%でやや低く、「代々木上原・代々木八幡周辺」と「千駄ヶ谷・原宿・神宮前周辺」は5割を超える。「住みたい(計)」は各地域とも9割以上を占める。

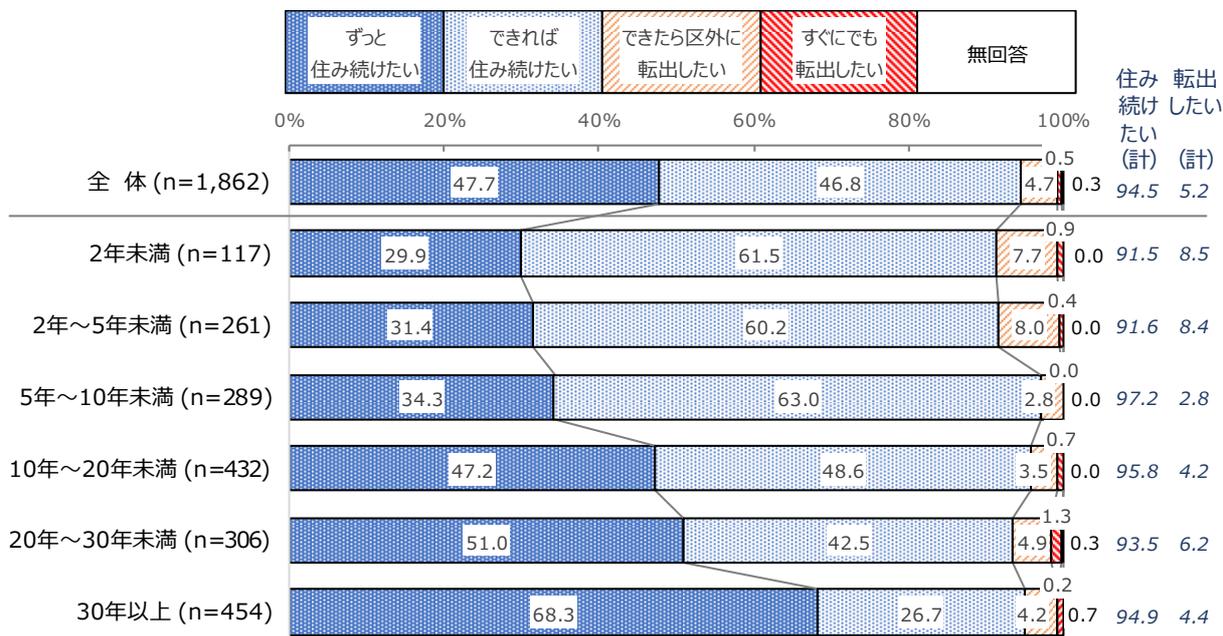
図Ⅲ-1-6 今後の定住意向(地区別)



【居住年数別】

居住年数が長くなるにつれ「ずっと住みたい」の割合が高くなる傾向にあり、「2年未満」と「2年～5年未満」で3割前後、「20年～30年未満」で5割強、「30年以上」で7割弱を占める。「住みたい(計)」はいずれも9割を超えており、「5年～10年未満」は 97.2%に達する。

図Ⅲ-1-7 今後の定住意向(居住年数別)



(3) 転出意向理由

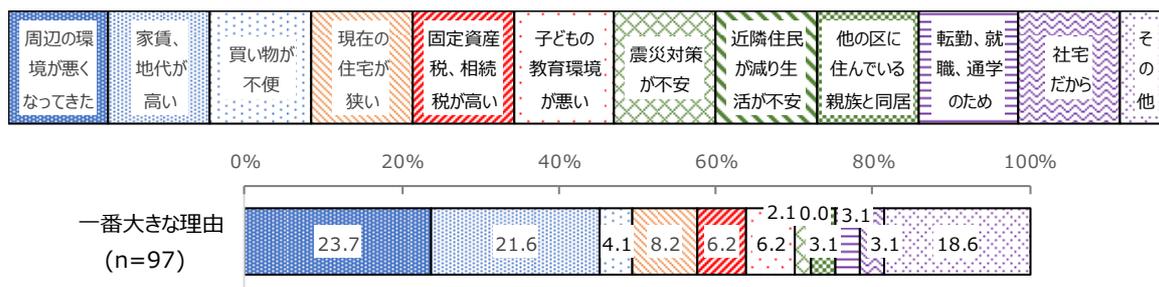
問3-1 あなたが区外に転出したい理由は何ですか。一番大きな理由、次に大きな理由、三番目に大きな理由を、それぞれ教えてください。(答はそれぞれ1つ) [問3で「できれば区外に転出したい」「すぐにでも転出したい」と回答した方対象]

一番大きな理由は「住まい周辺の環境が悪くなってきたから」が 23.7%で最も高く、次いで、「家賃、地代が高いから」(21.6%)が高い。

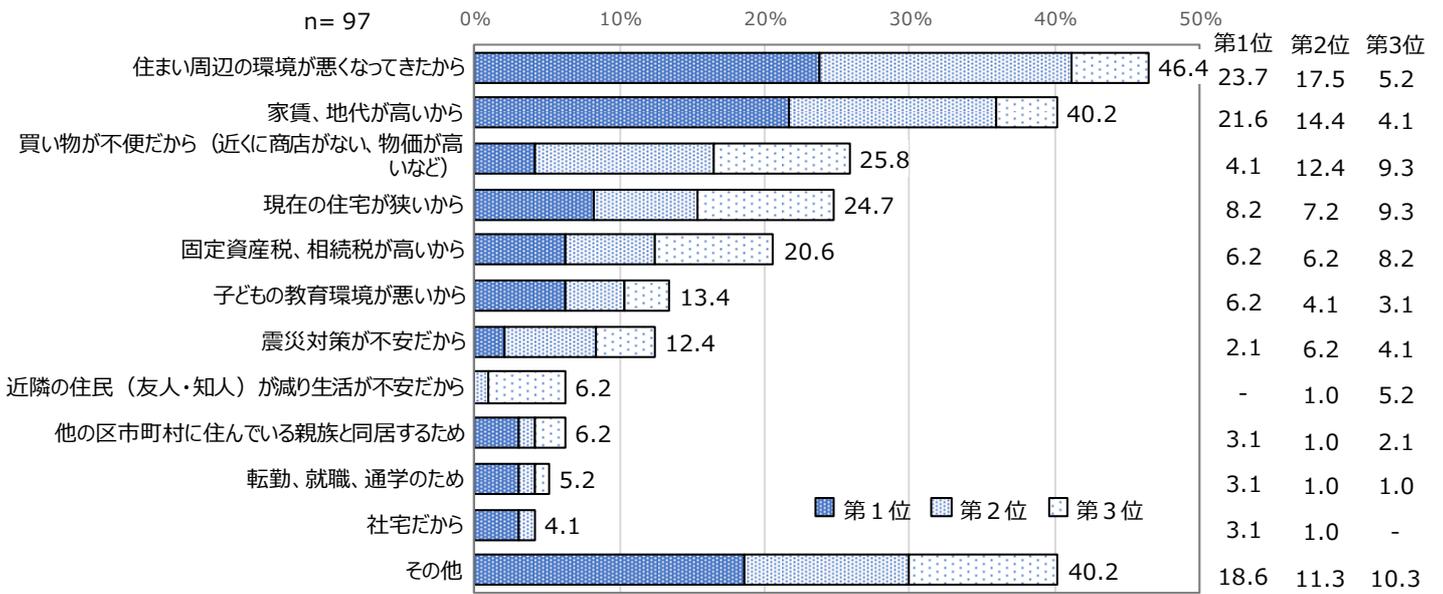
一番大きな理由から三番目に大きな理由までを合わせると、「住まい周辺の環境が悪くなってきたから」(46.4%)、「家賃、地代が高いから」(40.2%)が4割を超えて高く、以下、「買い物が不便だから(近くに商店がない、物価が高いなど)」(25.8%)、「現在の住宅が狭いから」(24.7%)、「固定資産税、相続税が高いから」(20.6%)などが続く。

平成 30 年調査では、回答の仕方が異なるため直接的な比較はできないが、上位5つの項目はほぼ同じような傾向である。

図Ⅲ-1-8 転出意向理由(一番大きな理由)

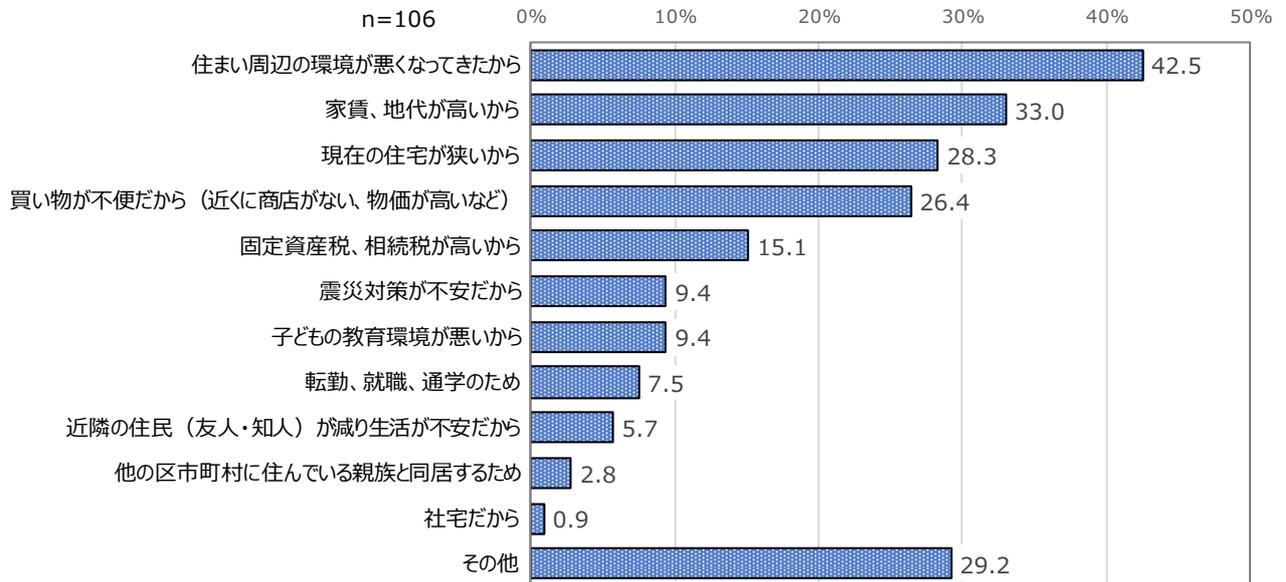


図Ⅲ-1-9 転出意向理由



【その他の回答】
 自然の多い地方に移住したい、区政に不満がある、区役所・公共施設が不便、民泊の増加／区外から来る人のマナーの悪さ、空気や害獣など衛生面、人口が多い／住宅が密集しすぎ など

<参考資料>平成 30 年調査 転出意向理由 (答は3つまで)



2. 区政について

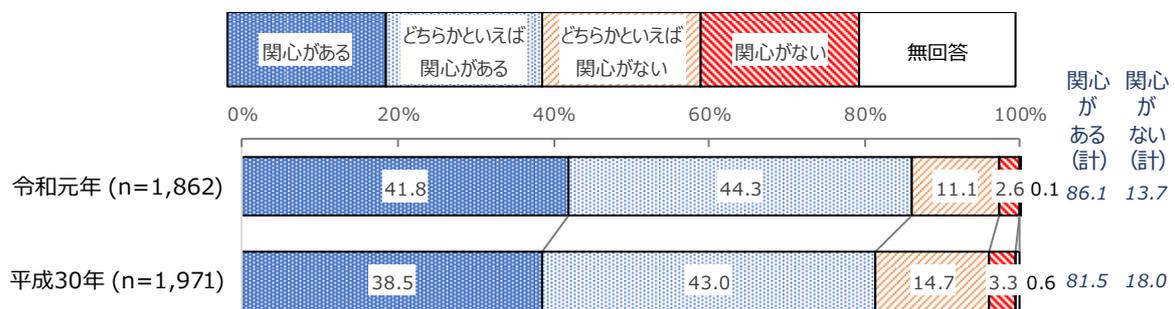
(1) 区政への関心度

問4 あなたは、渋谷区政に関心がありますか。(答は1つ)

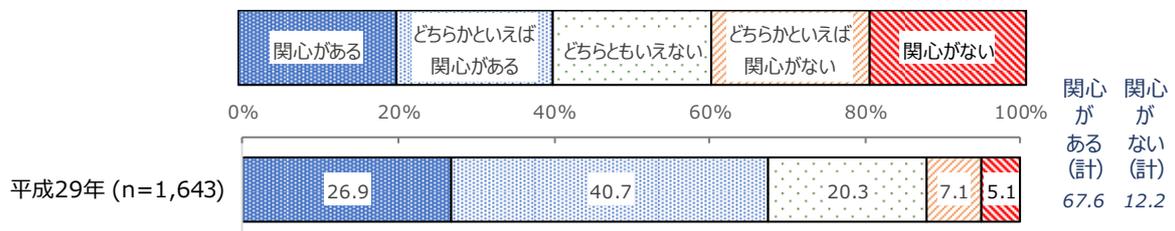
「どちらかといえば関心がある」が 44.3%で最も高い。「関心がある(計)」「関心がある」+「どちらかといえば関心がある」は 86.1%、「関心がない(計)」「どちらかといえば関心がない」+「関心がない」は 13.7%である。

平成 30 年調査と比較すると、「関心がある(計)」は令和元年の方がやや高い。

図Ⅲ-2-1 区政への関心度



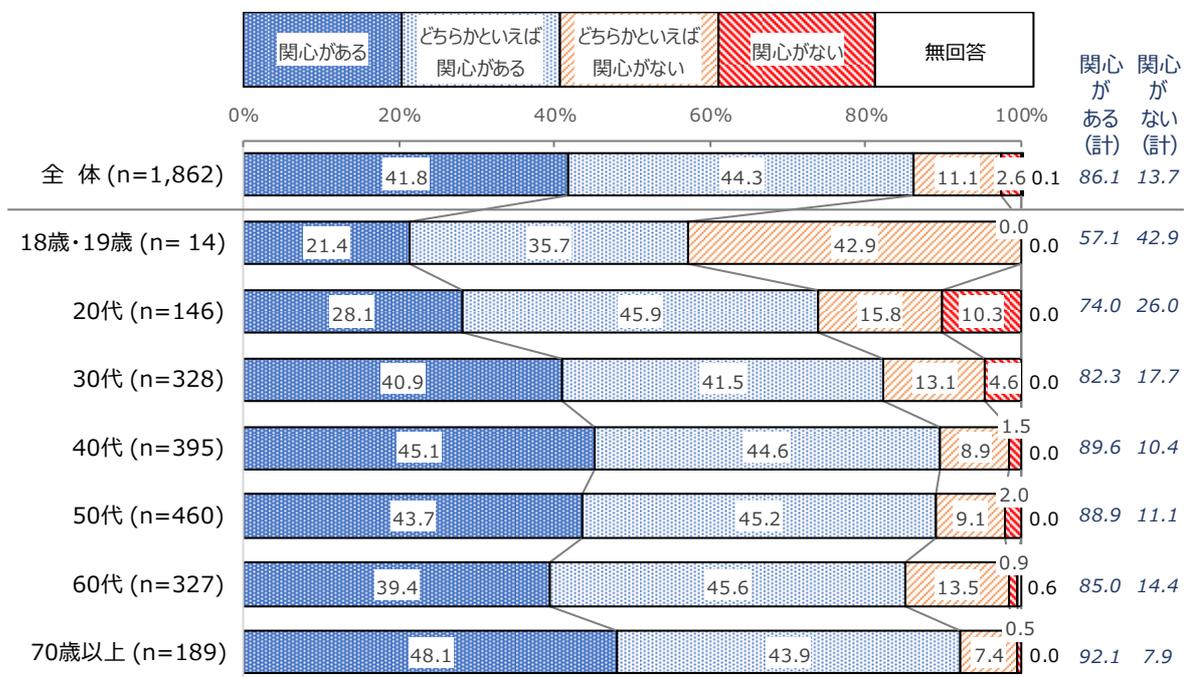
<参考資料>平成 29 年調査 区政への関心度



【年齢別】

「関心がある(計)」は中高年層で高い傾向があり、70歳以上で9割強、40代と50代で9割弱を占める。一方、20代はやや低く、7割半ばにとどまっている。

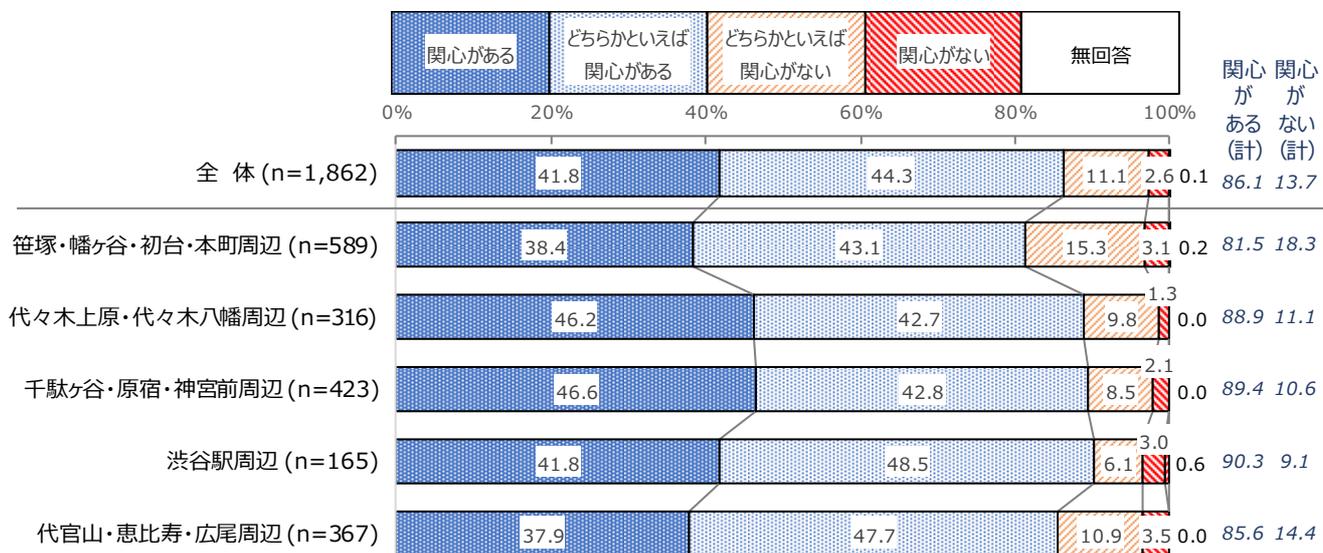
図Ⅲ-2-2 区政への関心度(年齢別)



【地区別】

「関心がある」は「代々木上原・代々木八幡周辺」と「千駄ヶ谷・原宿・神宮前周辺」が4割半ばで他地域より高い。「関心がある(計)」は「渋谷駅周辺」がほぼ9割、「代々木上原・代々木八幡周辺」と「千駄ヶ谷・原宿・神宮前周辺」が9割弱を占める。「笹塚・幡ヶ谷・初台・本町周辺」は「関心がある(計)」が8割強で他地域よりやや低い。

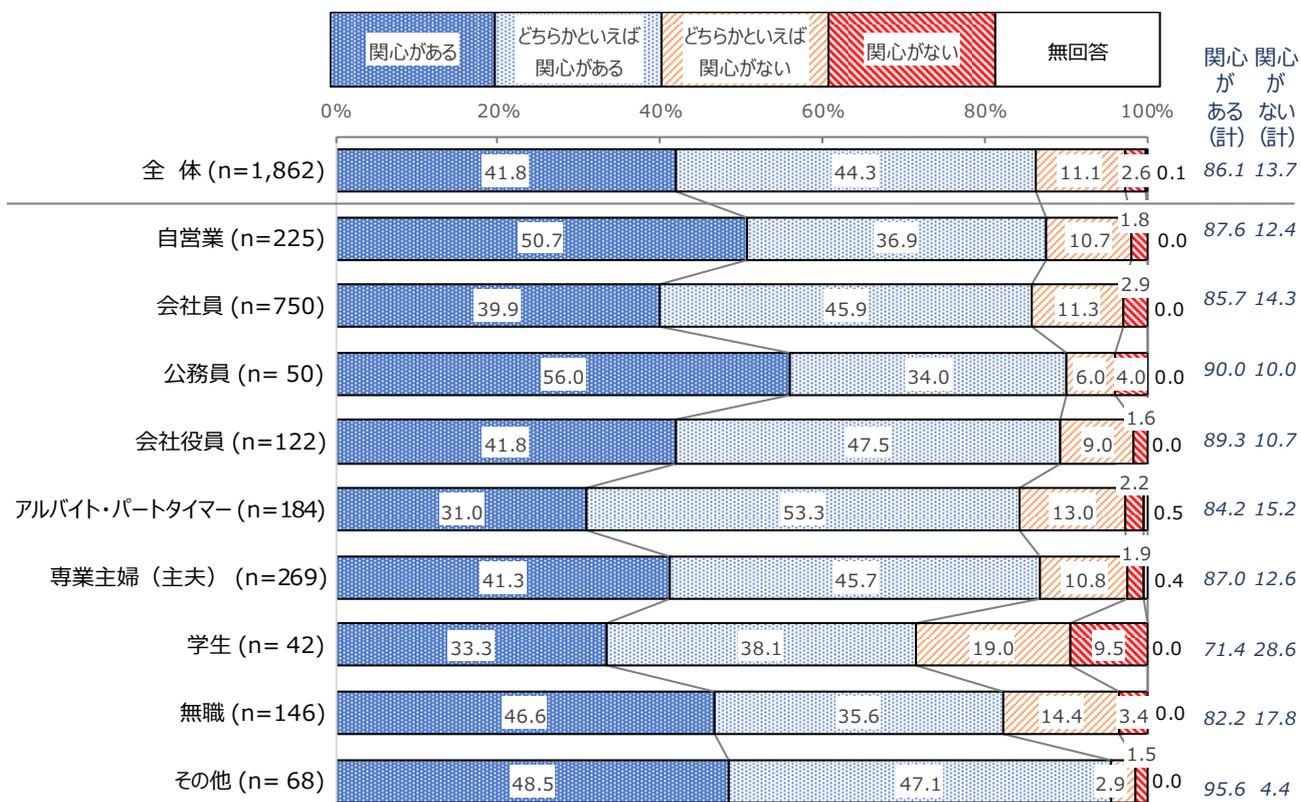
図Ⅲ-2-3 区政への関心度(地区別)



【職業別】

「関心がある」は公務員と自営業で5割を超える。「関心がある(計)」はその他を除くと公務員が90.0%で最も高く、会社役員や自営業も9割弱と高い。一方、学生は「関心がある(計)」が71.4%で、他職業に比べ低い。

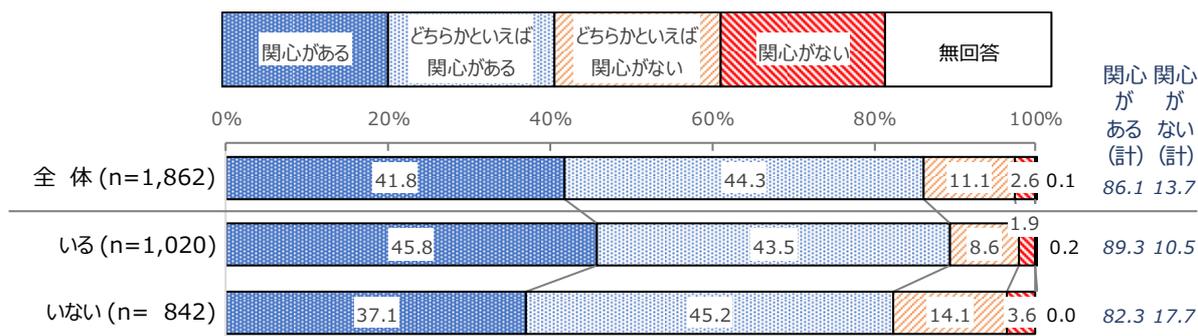
図Ⅲ-2-4 区政への関心度(職業別)



【子どもの有無別】

子どもが「いる」層は「いない」層に比べ、区政への関心度が高く、「関心がある」は45.8%、「関心がある(計)」も89.3%に達する。「いない」層の「関心がある(計)」は82.3%である。

図Ⅲ-2-5 区政への関心度(子どもの有無別)



(2) 区の施策の充実度

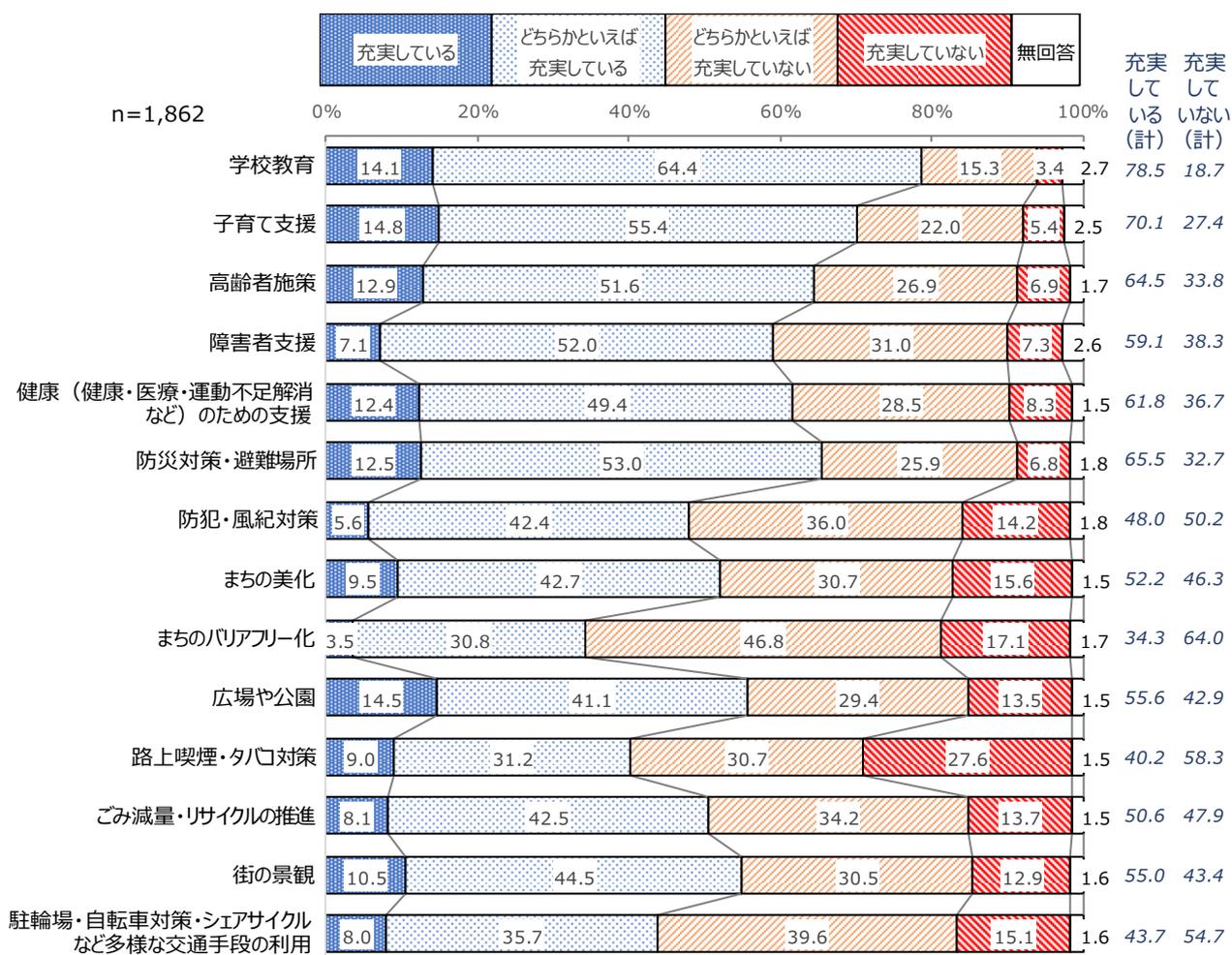
問5 あなたは、渋谷区の以下の施策について充実していると思いますか。(答はそれぞれ1つ)

「充実している(計)」「充実している」+「どちらかといえば充実している」が高い施策は「学校教育」(78.5%)、「子育て支援」(70.1%)、「防災対策・避難場所」(65.5%)、「高齢者施策」(64.5%)、「健康のための支援」(61.8%)などである。

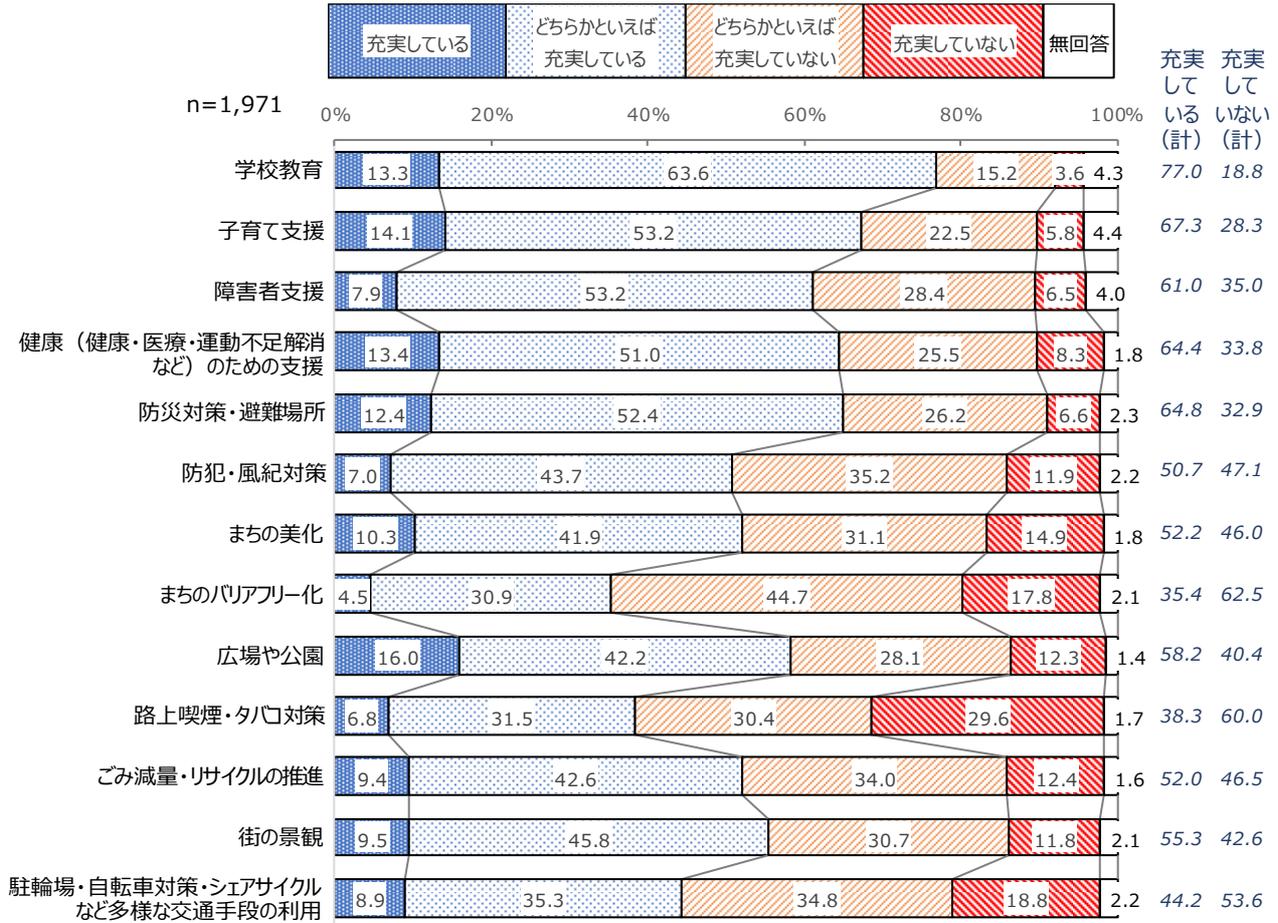
一方、「充実していない(計)」「充実していない」+「どちらかといえば充実していない」が高い施策は、「まちのバリアフリー化」(64.0%)、「路上喫煙・タバコ対策」(58.3%)、「駐輪場・自転車対策・シェアサイクルなど多様な交通手段の利用」(54.7%)、「防犯・風紀対策」(50.2%)などである。

平成30年調査と比較すると、傾向はほとんど同じである。なお、高齢者施策は平成30年は聴取していない。

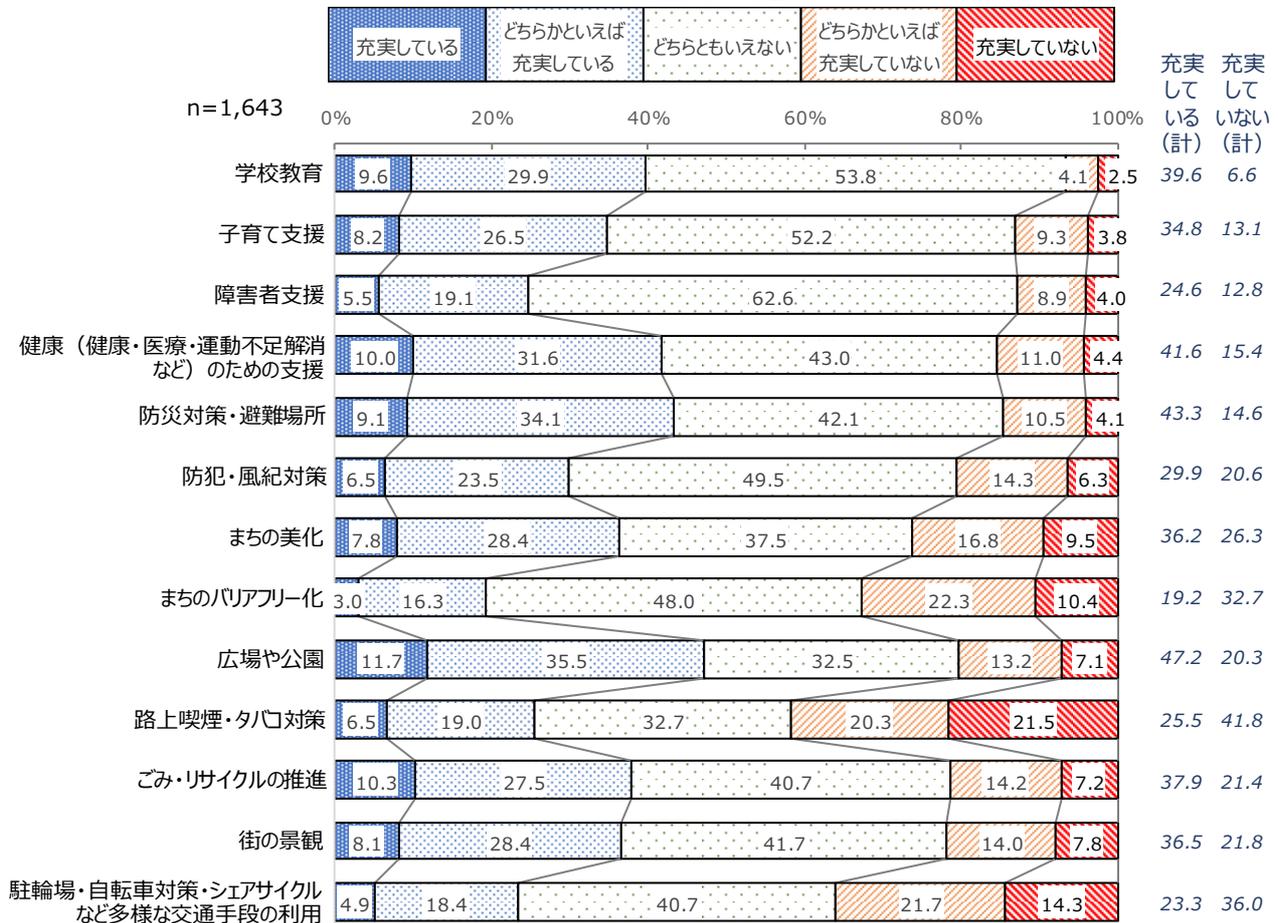
図Ⅲ-2-6 区の施策の充実度



<参考資料>平成 30 年調査 区の施策の充実度



<参考資料>平成 29 年調査 区の施策の充実度



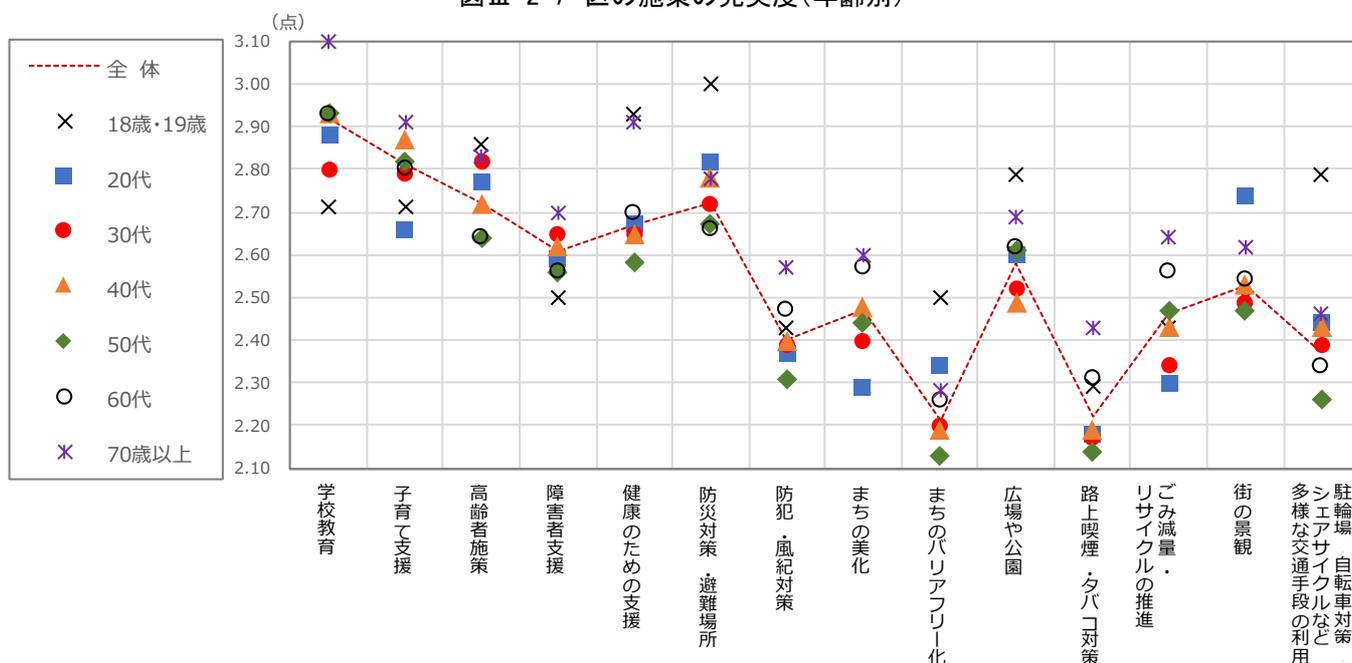
【年齢別】

各回答について以下のような点数を設定して平均点を算出した。

充実している:4点	どちらかといえば充実している:3点
どちらかといえば充実していない:2点	充実していない:1点

70歳以上は多くの項目で平均点が高い傾向がみられる。特に「健康のための支援」「路上喫煙・タバコ対策」「学校教育」「ごみ減量・リサイクルの推進」「防犯・風紀対策」で全体との差が大きい。「ごみ減量・リサイクルの推進」のは20代と30代の若い世代が全体より低い。20代は「まちの美化」の評価も低い。70代は「街の景観」は全体より評価が高い。

図Ⅲ-2-7 区の施策の充実度(年齢別)



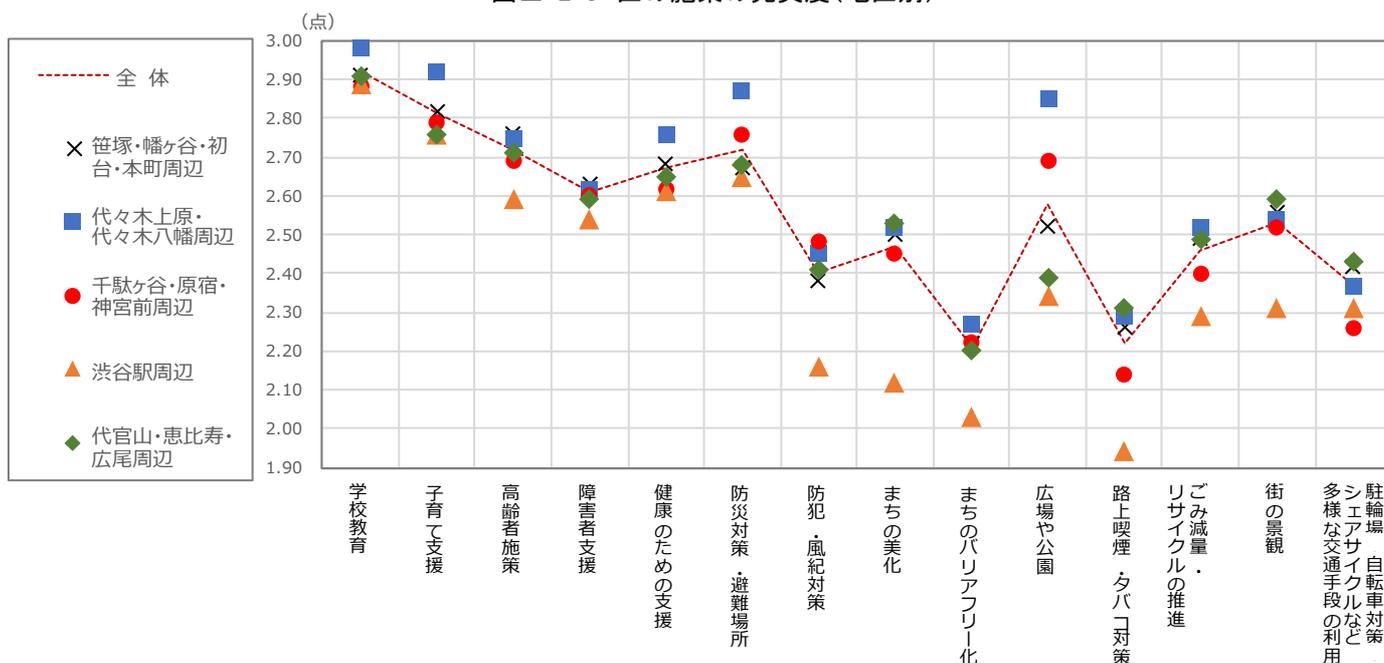
年齢別	学校教育	子育て支援	高齢者施策	障害者支援	健康のための支援	防災対策・避難場所	防犯・風紀対策	まちの美化	まちのバリアフリー化	広場や公園	路上喫煙・タバコ対策	ごみ減量・リサイクルの推進	街の景観	駐輪場・自転車対策 シェアサイクルなど 多様な交通手段の利用
全体 (n=1,862)	2.92	2.81	2.72	2.61	2.67	2.72	2.40	2.47	2.21	2.58	2.22	2.46	2.53	2.37
18歳・19歳 (n=14)	2.71	2.71	2.86	2.50	2.93	3.00	2.43	2.29	2.50	2.79	2.29	2.43	2.50	2.79
20代 (n=146)	2.88	2.66	2.77	2.59	2.67	2.82	2.37	2.29	2.34	2.60	2.18	2.30	2.74	2.44
30代 (n=328)	2.80	2.79	2.82	2.65	2.65	2.72	2.39	2.40	2.20	2.52	2.17	2.34	2.49	2.39
40代 (n=395)	2.93	2.87	2.72	2.62	2.65	2.78	2.40	2.48	2.19	2.49	2.19	2.43	2.53	2.43
50代 (n=460)	2.93	2.82	2.64	2.56	2.58	2.67	2.31	2.44	2.13	2.61	2.14	2.47	2.47	2.26
60代 (n=327)	2.93	2.80	2.64	2.56	2.70	2.66	2.47	2.57	2.26	2.62	2.31	2.56	2.54	2.34
70歳以上 (n=189)	3.10	2.91	2.83	2.70	2.91	2.78	2.57	2.60	2.28	2.69	2.43	2.64	2.62	2.46

【地区別】

各回答について年齢別と同様の手法で平均点を算出した。

「渋谷駅周辺」は全ての施策で平均点が全体より低く、特に「路上喫煙・タバコ対策」は平均点が1.94点と2点を割り込んでいる。同様に、「まちの美化」、「防犯・風紀対策」、「広場や公園」、「街の景観」なども他地域との差が大きい。

図Ⅲ-2-8 区の施策の充実度(地区別)



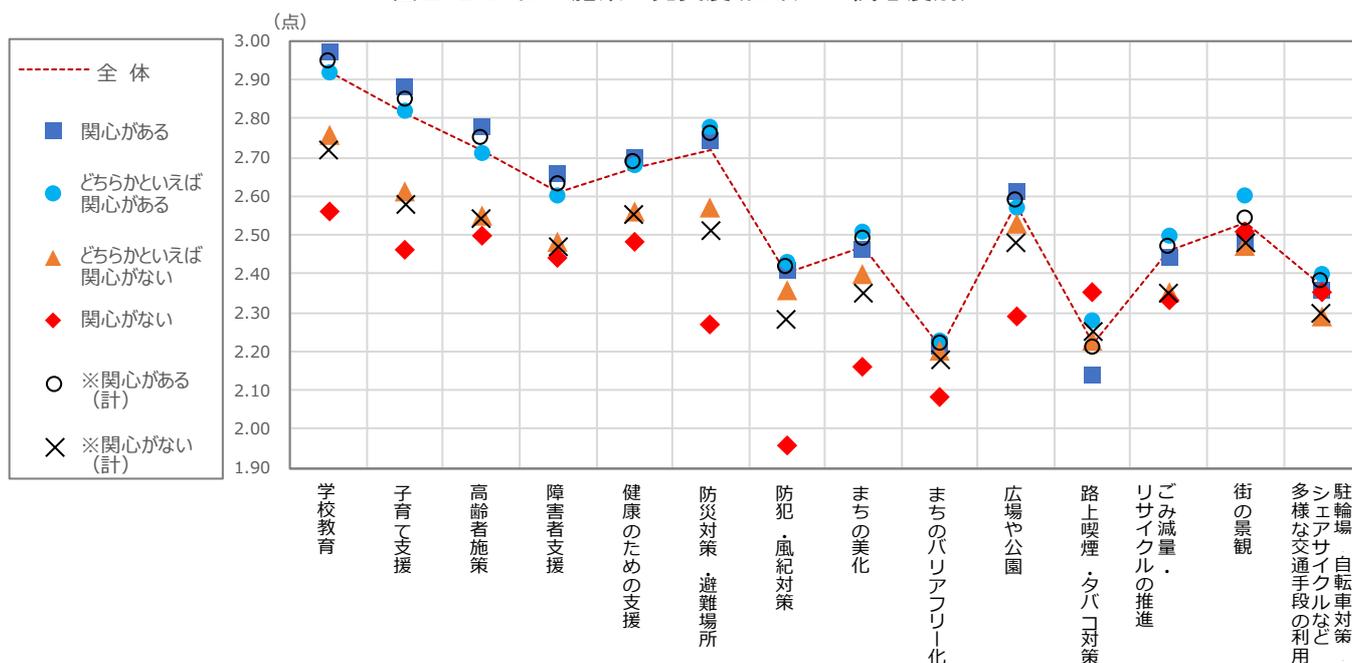
地区	学校教育	子育て支援	高齢者施策	障害者支援	健康のための支援	防災対策・避難場所	防犯・風紀対策	まちの美化	まちのバリアフリー化	広場や公園	路上喫煙・タバコ対策	ゴミ減量・リサイクルの推進	街の景観	駐輪場・自転車対策 シェアサイクルなど 多様な交通手段の利用
全体 (n=1,862)	2.92	2.81	2.72	2.61	2.67	2.72	2.40	2.47	2.21	2.58	2.22	2.46	2.53	2.37
笹塚・幡ヶ谷・初台・本町周辺 (n=589)	2.91	2.82	2.76	2.63	2.68	2.67	2.38	2.50	2.22	2.52	2.26	2.49	2.56	2.42
代々木上原・代々木八幡周辺 (n=316)	2.98	2.92	2.75	2.62	2.76	2.87	2.45	2.52	2.27	2.85	2.29	2.52	2.54	2.37
千駄ヶ谷・原宿・神宮前周辺 (n=423)	2.88	2.79	2.69	2.60	2.62	2.76	2.48	2.45	2.22	2.69	2.14	2.40	2.52	2.26
渋谷駅周辺 (n=165)	2.89	2.76	2.59	2.54	2.61	2.65	2.16	2.12	2.03	2.34	1.94	2.29	2.31	2.31
代官山・恵比寿・広尾周辺 (n=367)	2.91	2.76	2.71	2.59	2.65	2.68	2.41	2.53	2.20	2.39	2.31	2.49	2.59	2.43

【区政への関心度別】

各回答について年齢別と同様の手法で平均点を算出した。

「関心がある(計)」層の方が「関心がない(計)」層よりも全体的に平均点が高くなる傾向にあるが、「路上喫煙・タバコ対策」は「関心がある(計)」の方が「関心がない(計)」よりも平均点が低く、特に「関心がある」は2.14点で他層より評価が低い。また、全体の平均点が最も低い「まちのバリアフリー化」は関心の有無に関わらず評価が低いことがわかる。

図Ⅲ-2-9 区の施策の充実度(区政への関心度別)

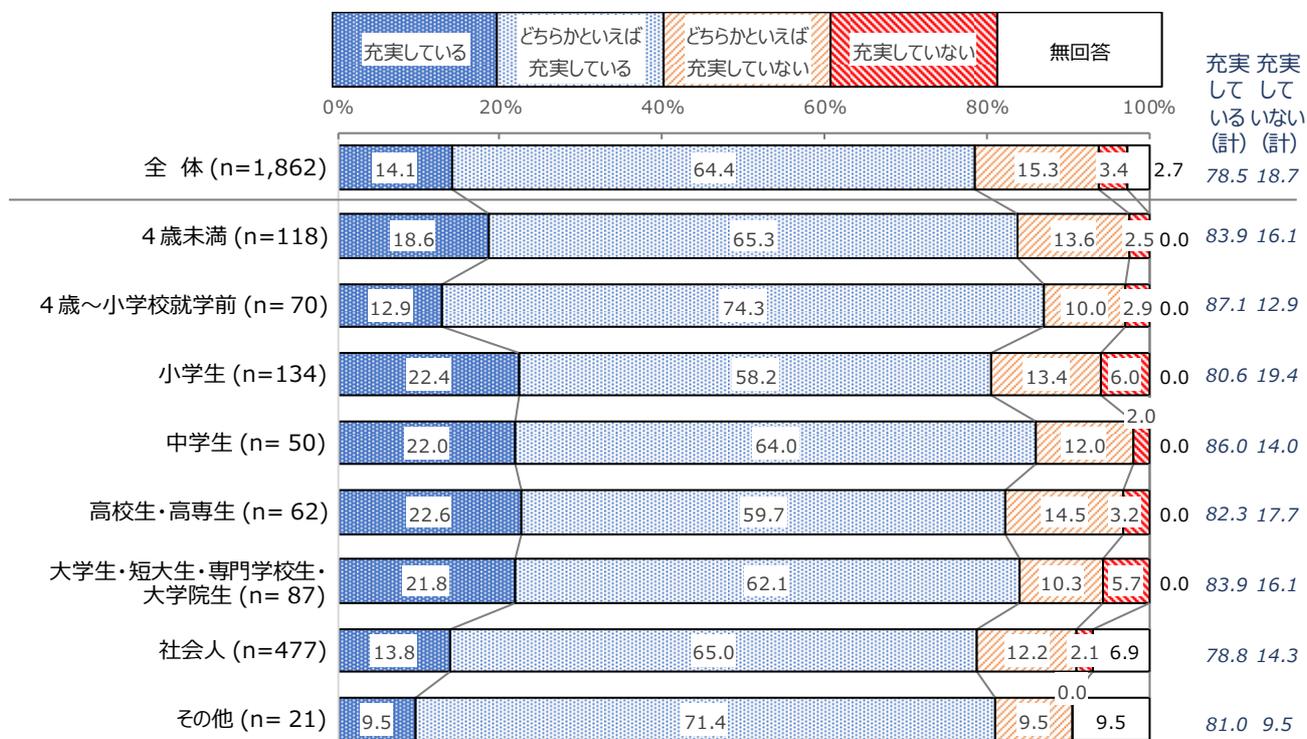


全体 (n=1,862)	学校教育	子育て支援	高齢者施策	障害者支援	健康のための支援	防災対策・避難場所	防犯・風紀対策	まちの美化	まちのバリアフリー化	広場や公園	路上喫煙・タバコ対策	ゴミ減量・リサイクルの推進	街の景観	駐輪場・自転車対策 シェアサイクルなど 多様な交通手段の利用
2.92	2.81	2.72	2.61	2.67	2.72	2.40	2.47	2.21	2.58	2.22	2.46	2.53	2.37	
関心がある (n=779)	2.97	2.88	2.78	2.66	2.70	2.74	2.41	2.46	2.21	2.61	2.14	2.44	2.48	2.36
どちらかといえば関心がある (n=825)	2.92	2.82	2.71	2.60	2.68	2.78	2.43	2.51	2.23	2.57	2.28	2.50	2.60	2.40
どちらかといえば関心がない (n=207)	2.76	2.61	2.55	2.48	2.56	2.57	2.36	2.40	2.20	2.53	2.23	2.35	2.47	2.29
関心がない (n= 49)	2.56	2.46	2.50	2.44	2.48	2.27	1.96	2.16	2.08	2.29	2.35	2.33	2.51	2.35
※関心がある(計) (n=1,604)	2.95	2.85	2.75	2.63	2.69	2.76	2.42	2.49	2.22	2.59	2.21	2.47	2.54	2.38
※関心がない(計) (n=256)	2.72	2.58	2.54	2.47	2.55	2.51	2.28	2.35	2.18	2.48	2.25	2.35	2.48	2.30

【長子年齢別の学校教育の施策評価】

「充実している(計)」が高いのは、「4歳～小学校就学前」(87.1%)、「中学生」(86.0%)、「4歳未満」(83.9%)、「大学生・短大生・専門学校生・大学院生」(83.9%)などである。

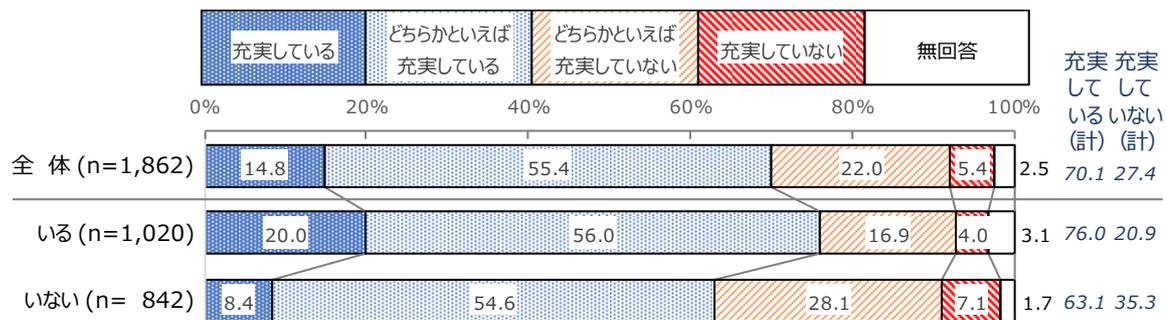
図Ⅲ-2-10 区の施策の充実度(長子年齢別の学校教育の施策評価)



【子どもの有無別の子育て支援の施策評価】

「充実している」は子どもが「いる」層が 20.0%で、「いない」層の 8.4%より倍以上高い。子どもが「いる」層の「充実している(計)」は 76.0%、「充実していない(計)」は 20.9%である

図Ⅲ-2-11 区の施策の充実度(子どもの有無別の子育て支援の施策評価)



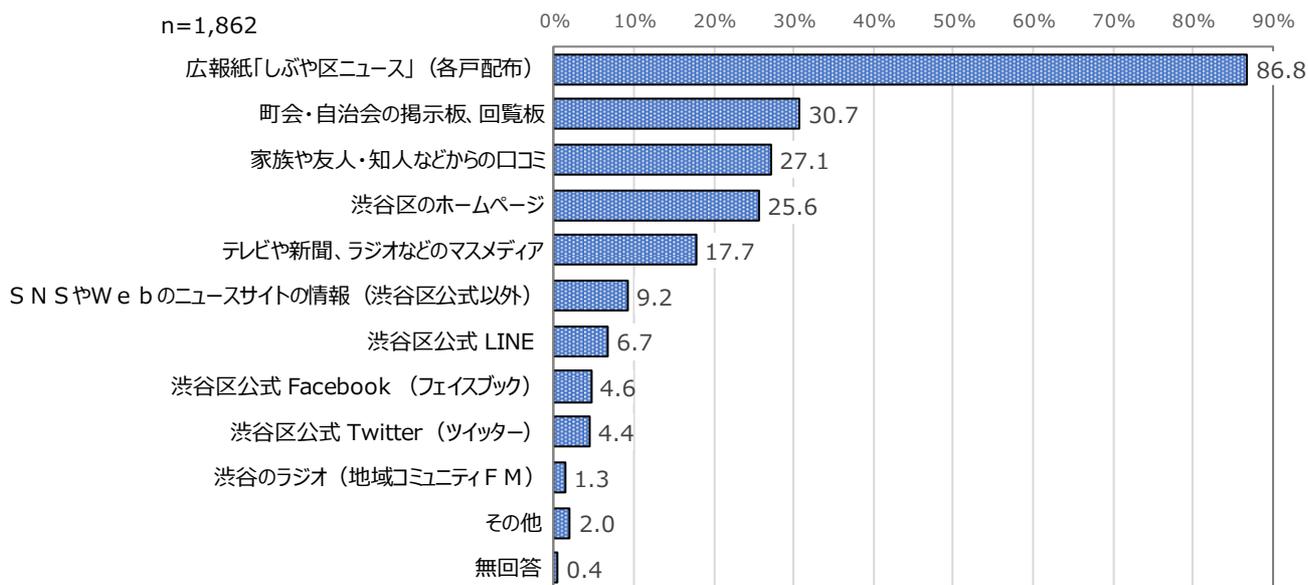
(3) 区政の情報入手経路

問6 あなたは日頃、区政に関する情報をどのような方法で入手していますか。(答はいくつでも)

「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」が 86.8%で最も高い。以下、大きく差があつて「町会・自治会の掲示板、回覧板」(30.7%)、「家族や友人・知人などからの口コミ」(27.1%)、「渋谷区のホームページ」(25.6%)などが続く。

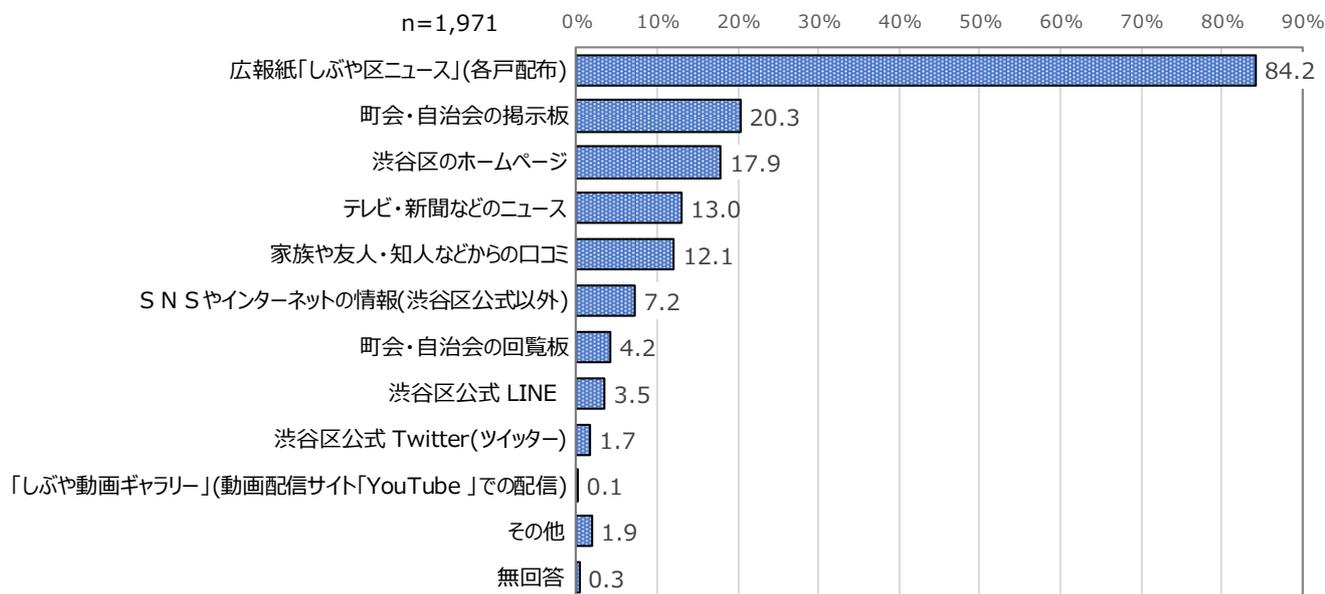
平成 30 年調査は選択肢が一部異なるなど直接的な比較はできないが、傾向は概ね同じである。

図Ⅲ-2-12 区政の情報入手経路



【その他の回答】
 入手していない、区議会だより・区議会議員、区役所の掲示板や職員／図書館、子供の学校・保育園・PTA、日常の観察、職場、町会・自治会 など

<参考資料>平成 30 年調査 区政の情報入手経路(答えは2つまで)



【年齢別】

「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」は各年代とも最も高いが、特に40代以上は9割前後に達する。「町会・自治会の掲示板」は年代が上がるにつれ高くなる傾向にあり、60代で3割半ば、70歳以上では5割半ばとなっている。ソーシャルメディアは若い世代の方が高いが、「渋谷区のホームページ」は30～50代が3割前後で20代よりも高く、「渋谷区公式LINE」は30代が19.2%で最も高い。「SNSやWebのニュースサイトの情報(渋谷区公式以外)」は30代以下が1割半ばで40代以上に比べ高い。

表Ⅲ-2-1 区政の情報入手経路(年齢別)

(%)

	広報紙「しぶや区ニュース」(各戸配布)	渋谷区のホームページ	渋谷区公式Twitter(ツイッター)	渋谷区公式LINE	渋谷区公式Facebook(フェイスブック)	渋谷のラジオ(地域コミュニティFM)	町会・自治会の掲示板、回覧板	テレビや新聞、ラジオなどのマスメディア	SNSやWebのニュースサイトの情報(渋谷区公式以外)	家族や友人・知人などからの口コミ	その他	無回答
全体(n=1,862)	86.8	25.6	4.4	6.7	4.6	1.3	30.7	17.7	9.2	27.1	2.0	0.4
18歳・19歳(n=14)	<u>71.4</u>	<u>7.1</u>	14.3	-	7.1	-	<u>21.4</u>	<u>7.1</u>	14.3	<u>21.4</u>	-	-
20代(n=146)	<u>66.4</u>	<u>18.5</u>	12.3	7.5	1.4	1.4	<u>15.1</u>	17.8	16.4	30.1	2.7	-
30代(n=328)	<u>79.9</u>	32.6	7.3	19.2	4.9	0.6	<u>21.6</u>	12.8	15.9	24.7	2.4	-
40代(n=395)	88.9	30.1	4.8	9.1	8.6	2.5	25.8	<u>12.7</u>	9.1	29.4	2.5	-
50代(n=460)	93.3	29.3	2.6	2.6	5.2	1.7	31.3	20.2	8.9	27.2	1.7	-
60代(n=327)	89.9	22.0	1.5	<u>0.9</u>	2.1	0.9	36.4	22.6	4.9	<u>21.1</u>	1.8	0.3
70歳以上(n=189)	90.5	<u>7.9</u>	1.1	-	1.1	-	57.1	22.2	-	35.4	0.5	2.6

注) 表中の ■ は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

【区政への関心度別】

「関心がある」層は「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」が9割で、それ以外にも「町会・自治会の掲示板、回覧板」「家族や友人・知人などからの口コミ」「渋谷区のホームページ」も3割を超える。

表Ⅲ-2-2 区政の情報入手経路(区政への関心度別)

(%)

	広報紙「しぶや区ニュース」(各戸配布)	渋谷区のホームページ	渋谷区公式Twitter(ツイッター)	渋谷区公式LINE	渋谷区公式Facebook(フェイスブック)	渋谷のラジオ(地域コミュニティFM)	町会・自治会の掲示板、回覧板	テレビや新聞、ラジオなどのマスメディア	SNSやWebのニュースサイトの情報(渋谷区公式以外)	家族や友人・知人などからの口コミ	その他	無回答
全体(n=1,862)	86.8	25.6	4.4	6.7	4.6	1.3	30.7	17.7	9.2	27.1	2.0	0.4
関心がある(n=779)	90.0	31.7	6.5	8.9	6.4	2.2	36.1	20.0	9.8	32.6	2.2	0.3
どちらかといえば関心がある(n=825)	88.8	22.4	3.3	6.1	4.0	0.7	28.8	16.8	8.1	23.8	1.1	0.4
どちらかといえば関心がない(n=207)	<u>74.4</u>	<u>16.4</u>	1.4	2.9	1.4	0.5	<u>20.3</u>	13.5	9.2	<u>19.3</u>	3.4	1.0
関心がない(n=49)	<u>53.1</u>	<u>20.4</u>	2.0	-	-	2.0	<u>18.4</u>	<u>10.2</u>	18.4	26.5	8.2	-
関心がある(計)(n=1,604)	89.4	26.9	4.9	7.4	5.2	1.4	32.4	18.4	8.9	28.1	1.6	0.3
関心がない(計)(n=256)	<u>70.3</u>	<u>17.2</u>	1.6	2.3	1.2	0.8	<u>19.9</u>	12.9	10.9	<u>20.7</u>	4.3	0.8

注) 表中の ■ は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

3. 渋谷区基本構想について

(1) 基本構想とスローガンの認知度

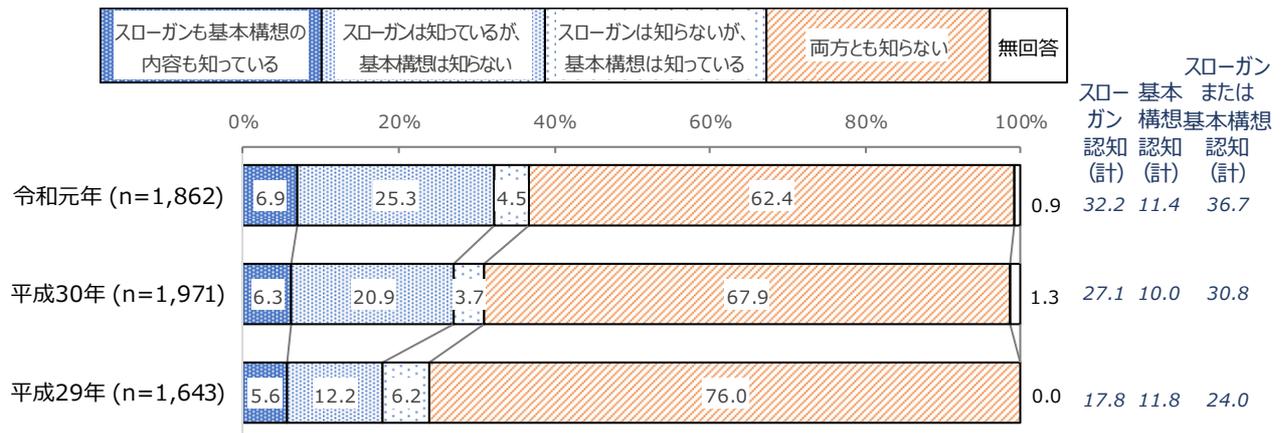
問7 渋谷区では平成28年10月に渋谷区の未来像として、「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」というスローガンを掲げる新しい基本構想を策定しました。この基本構想またはスローガンをご存知ですか。(答は1つ)

※このアンケートに答える前の事についてお答えください。

「両方とも知らない」が62.4%で最も高い。スローガンの認知率(「スローガンも基本構想の内容も知っている」+「スローガンは知っているが、基本構想は知らない」)は32.2%、基本構想の認知率(「スローガンも基本構想の内容も知っている」+「スローガンは知らないが、基本構想は知っている」)は11.4%である。

平成29年及び30年調査と比較すると、スローガンの認知率は年々上がっていることがわかる。しかし、基本構想の認知率は1割前後で横ばいである。

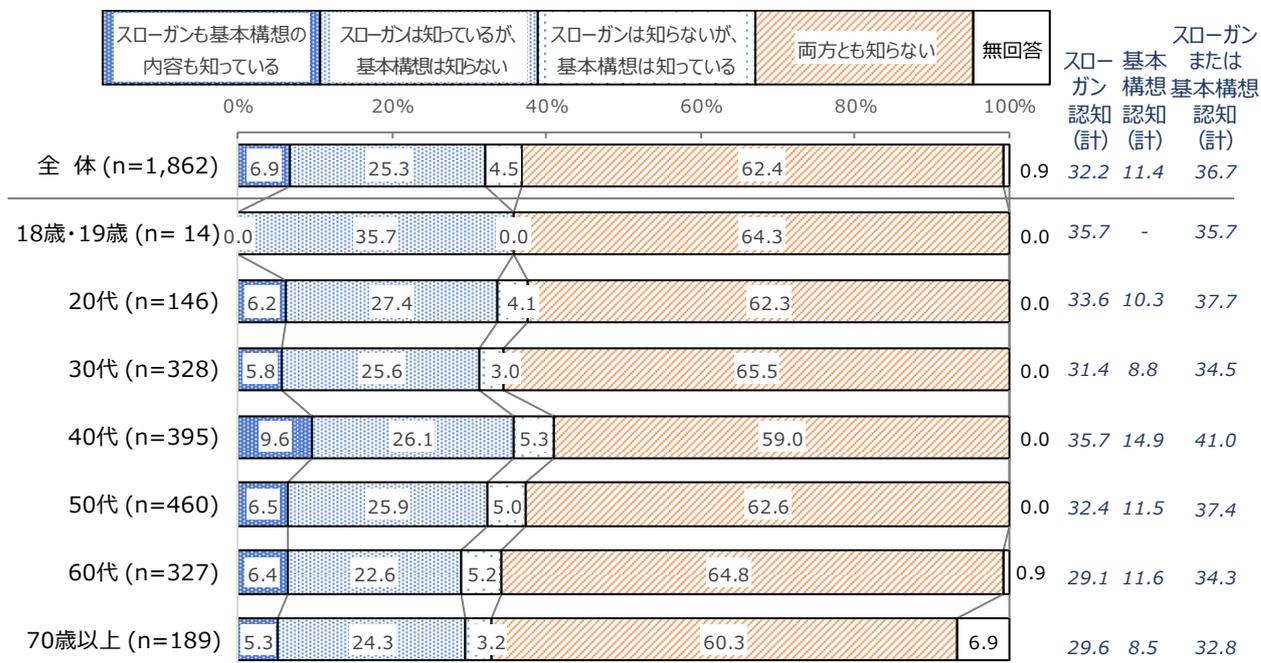
図Ⅲ-3-1 基本構想とスローガンの認知度



【年齢別】

スローガンの認知率は40代が3割半ば、その他の年代も3割前後である。基本構想の認知率はやはり40代は1割半ばで最も高く、その他の年代は1割前後である。

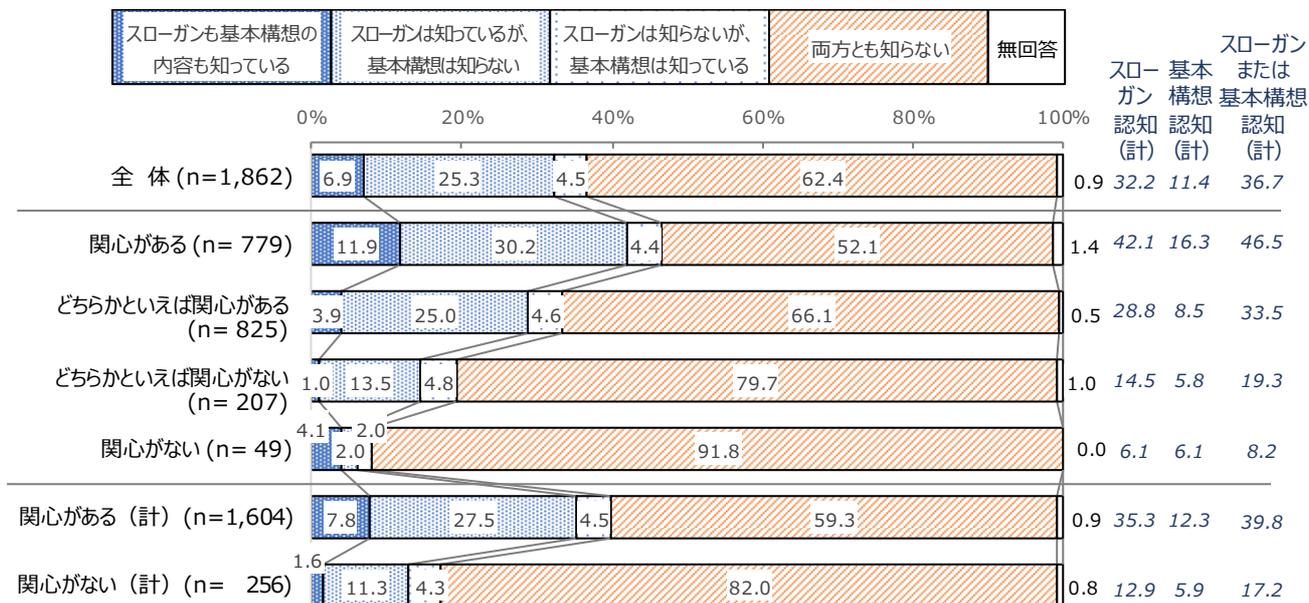
図Ⅲ-3-2 基本構想とスローガンの認知度(年齢別)



【区政への関心度別】

区政に対して「関心がある」層は認知度も高く、「関心がある(計)」のスローガンの認知率は35.3%、基本構想の認知率は12.3%、スローガンまたは基本構想の認知率は39.8%である。一方、「関心がない(計)」はスローガンの認知率が12.9%で、基本構想の認知率はわずか5.9%である。

図Ⅲ-3-3 基本構想とスローガンの認知度(区政への関心度別)



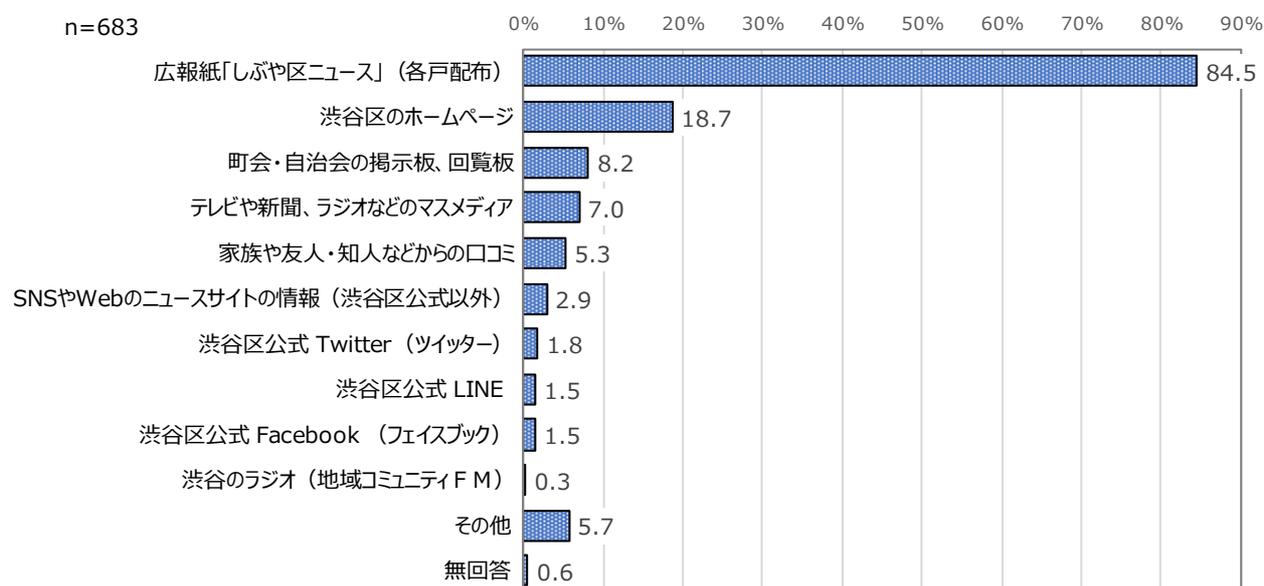
(2) 基本構想とスローガンの認知経路

問7-1 スローガンまたは基本構想を何からお知りになりましたか。(答はいくつでも) [問7で「スローガンも基本構想の内容も知っている」「スローガンは知っているが、基本構想は知らない」「スローガンは知らないが、基本構想は知っている」と回答した方対象]

「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」が断然高く 84.5%を占める。「渋谷区のホームページ」は 18.7%、その他の経路は 10%未満である。

平成 30 年調査は選択肢が異なるなど直接的な比較はできないが、やはり「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」が断然高い。

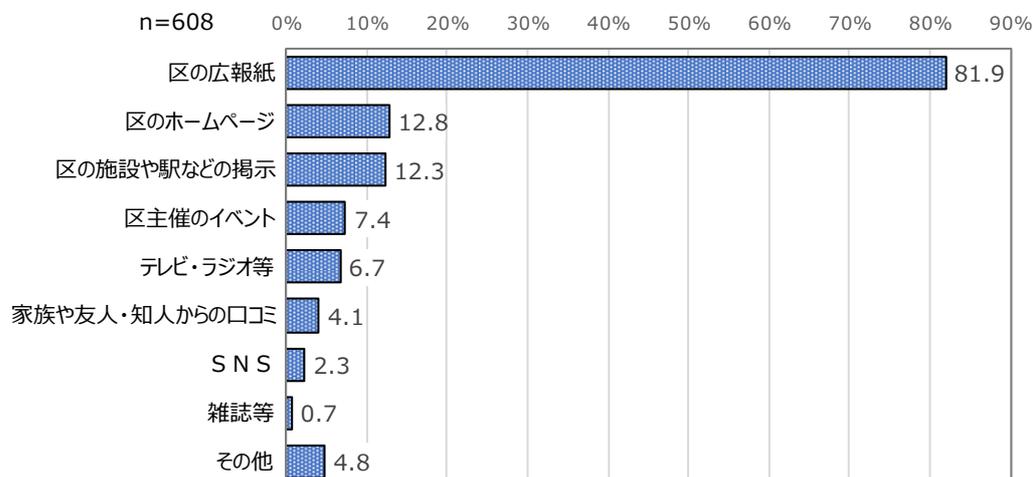
図Ⅲ-3-4 基本構想とスローガンの認知経路



[その他の回答]

区長の挨拶・選挙、学校・運動会のダンス、イベント・ワークショップ、屋外広告・ポスター、図書館・区内施設・駅、冊子 など

<参考資料>平成 30 年調査 基本構想とスローガンの認知経路(答えは2つまで)



【年齢別】

「広報紙「しぶや区ニュース」(各戸配布)」は20代が72.7%で最も高く、70歳以上が91.9%で最も高い。「渋谷区のホームページ」は30代～50代が2割を超える。「町会・自治会の掲示板、回覧板」は70歳以上が29.0%と他の年代に比べかなり高い。

表Ⅲ-3-1 基本構想とスローガンの認知経路(年齢別)

(%)

	広報紙「しぶや区ニュース」(各戸配布)	渋谷区のホームページ	渋谷区公式Twitter(ツイッター)	渋谷区公式LINE	渋谷区公式Facebook(フェイスブック)	渋谷のラジオ(地域コミュニティFM)	町会・自治会の掲示板、回覧板	テレビや新聞、ラジオなどのマスメディア	SNSやWebのニュースサイトの情報(渋谷区公式以外)	家族や友人・知人などからの口コミ	その他	無回答
全体(n=683)	84.5	18.7	1.8	1.5	1.5	0.3	8.2	7.0	2.9	5.3	5.7	0.6
18歳・19歳(n=5)	80.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20代(n=55)	<u>72.7</u>	14.5	9.1	-	-	-	14.5	5.5	3.6	7.3	3.6	-
30代(n=113)	85.0	25.7	2.7	3.5	0.9	-	4.4	2.7	3.5	2.7	2.7	-
40代(n=162)	84.0	22.8	0.6	2.5	3.1	-	6.8	4.9	2.5	6.8	8.6	-
50代(n=172)	85.5	20.9	1.2	0.6	1.7	0.6	3.5	7.6	4.1	5.2	7.6	-
60代(n=112)	84.8	14.3	-	0.9	0.9	0.9	5.4	12.5	2.7	6.3	6.3	1.8
70歳以上(n=62)	91.9	<u>3.2</u>	-	-	-	-	29.0	11.3	-	3.2	-	3.2

注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

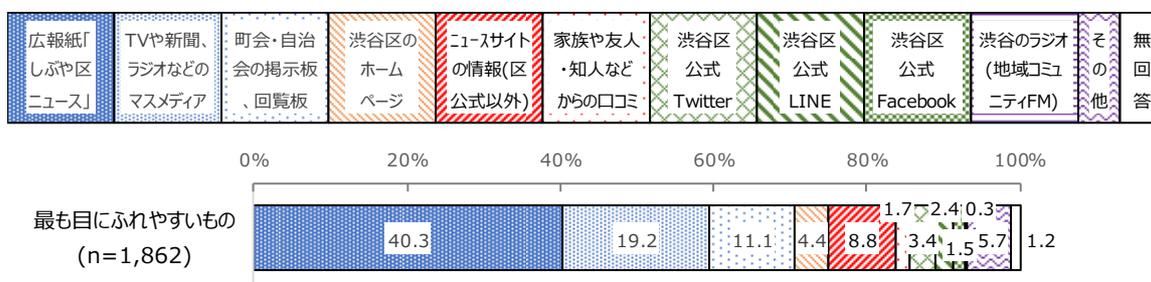
(3) 基本構想とスローガンの広報手段

問8 スローガン、基本構想がどのようなところで紹介されれば目にふれやすいと思いますか。最も目にふれやすいもの、次に目にふれやすいもの、三番目に目にふれやすいものを、それぞれ教えてください。(答はそれぞれ1つ)

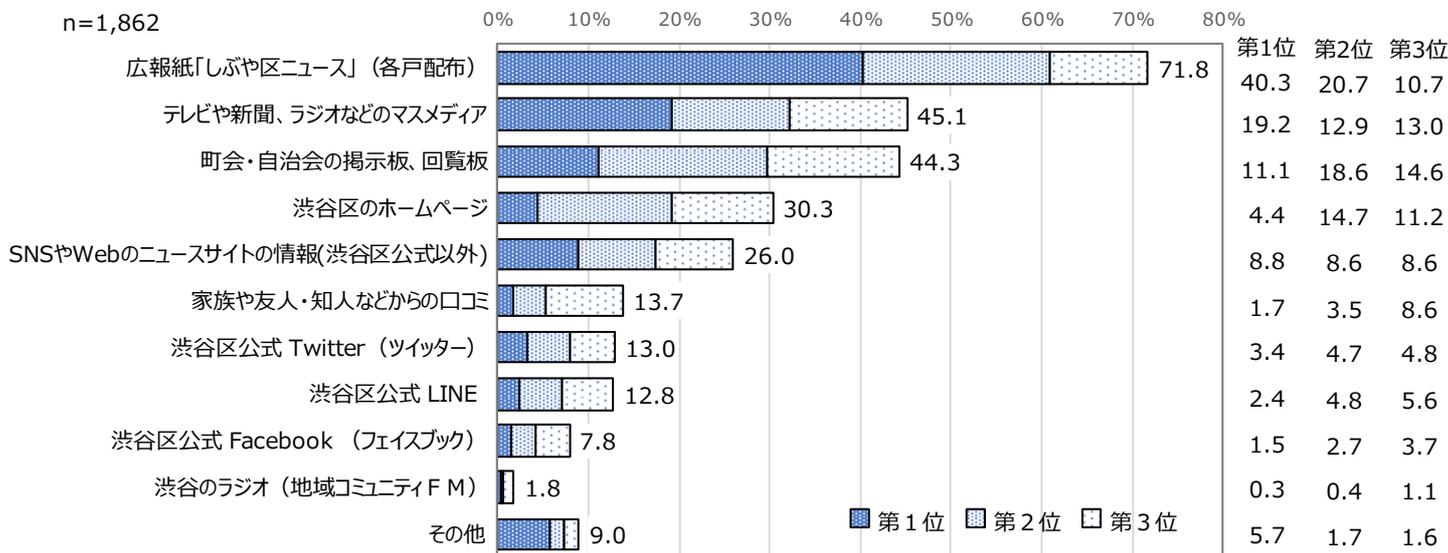
最も目にふれやすいものは「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」が 40.3%で最も高い。次いで、「テレビや新聞、ラジオなどのマスメディア」(19.2%)、「町会・自治会の掲示板、回覧板」(11.1%)が高い。

最も目にふれやすいものから三番目に目にふれやすいものまでを合わせると、「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」が 71.8%で最も高い。以下、「テレビや新聞、ラジオなどのマスメディア」(45.1%)、「町会・自治会の掲示板、回覧板」(44.3%)が4割を超え、「渋谷区のホームページ」(30.3%)がほぼ3割である。

図Ⅲ-3-5 基本構想とスローガンの広報手段(最も目にふれやすいもの)

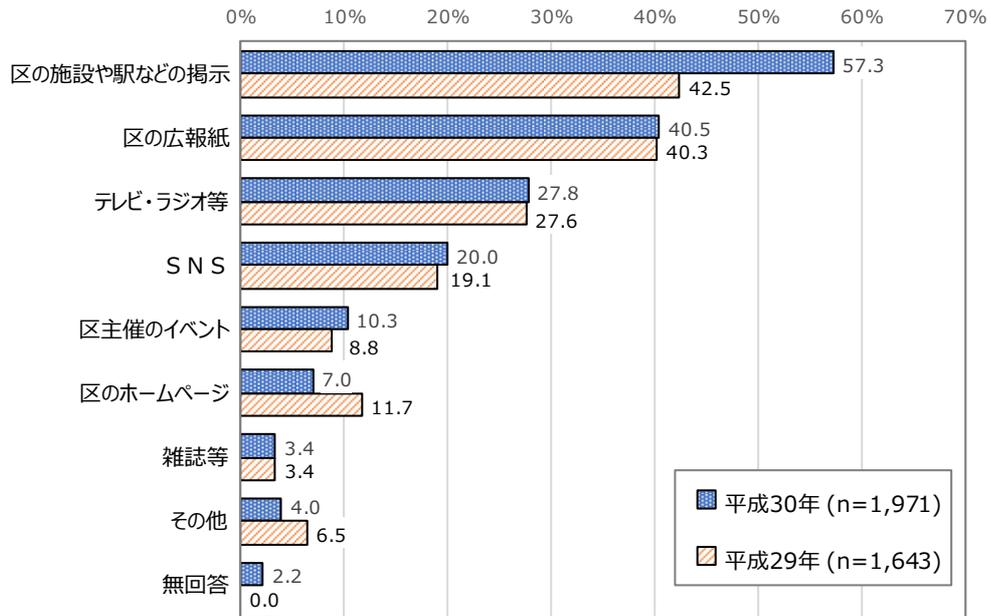


図Ⅲ-3-6 基本構想とスローガンの広報手段



【その他の回答】
 バス・電車等の交通機関の車内や外側／駅構内、商業施設・集客施設・コンビニ、街中の看板・ポスター、駅前・スクランブル交差点、街灯・電柱の旗、ポスター・看板、区役所・公共施設、学校・保育園／学校からの配布物、イベント、YouTube／インスタ／ネット広告、個別配布／区の封筒、区長・議員 など

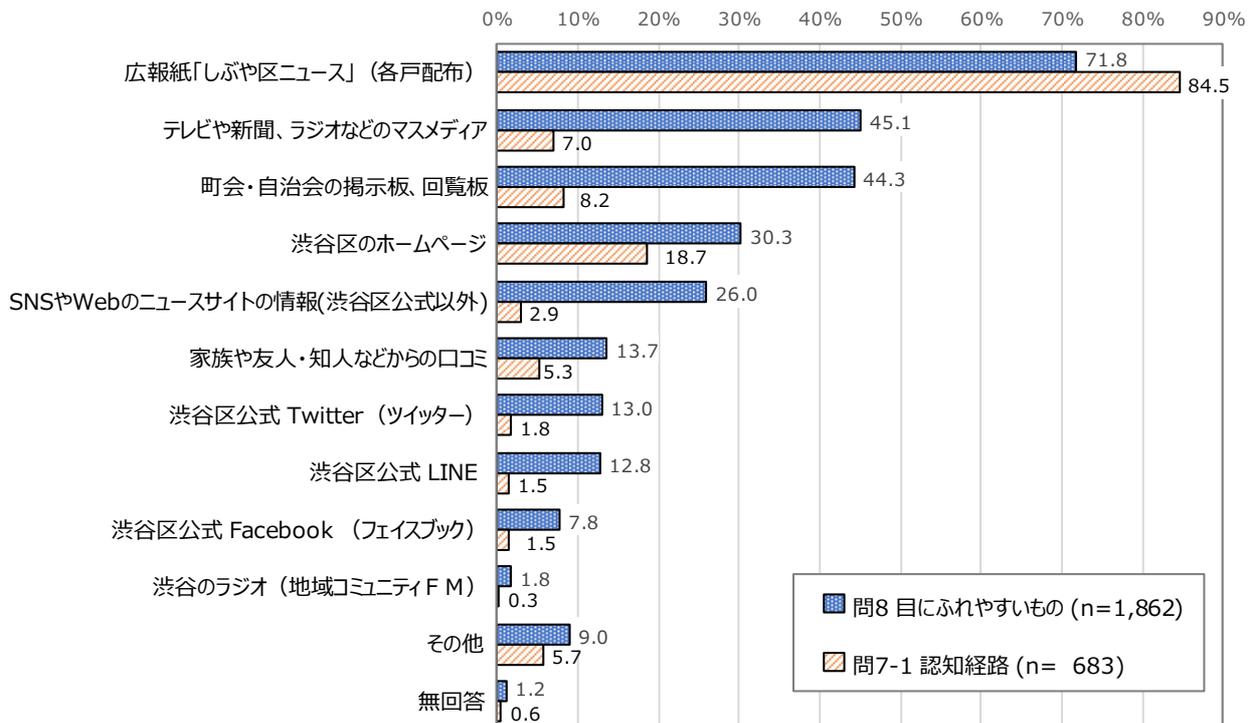
＜参考資料＞平成 29 年、平成 30 年調査 基本構想とスローガンの広報手段(答えは2つまで)



【認知経路との比較】

問7-1 基本構想とスローガンの認知経路と比較すると、1位はどちらも「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」である。「テレビや新聞、ラジオなどのマスメディア」と「町会・自治会の掲示板、回覧板」は4割半ばが目につれやすいものに挙げているが、現状の認知経路としては1割未満にとどまっている。

図Ⅲ-3-7 基本構想とスローガンの広報手段(認知経路との比較)



【年齢別】

「広報紙『しぶや区ニュース』(各戸配布)」は最も低い20代でも5割半ば、最も高い70歳以上では8割半ばに達する。「テレビや新聞、ラジオなどのマスメディア」は70歳以上が34.4%でやや低いものの、その他の年代はいずれも4割～5割程度である。「渋谷区のホームページ」は30代～60代が3割を超える。「SNSやWebのニュースサイトの情報(渋谷区公式以外)」「渋谷区公式 Twitter(ツイッター)」「渋谷区公式 LINE」はいずれも20代・30代が40代以上に比べ高い。一方、「町会・自治会の掲示板、回覧板」は40代以上が30代以下に比べ高い。

表Ⅲ-3-2 基本構想とスローガンの広報手段(年齢別)

(%)

	広報紙「しぶや区ニュース」(各戸配布)	渋谷区のホームページ	渋谷区公式 Twitter(ツイッター)	渋谷区公式 LINE	渋谷区公式 Facebook(フェイスブック)	渋谷のラジオ(地域コミュニティFM)	町会・自治会の掲示板、回覧板	テレビや新聞、ラジオなどのマスメディア	SNSやWebのニュースサイトの情報(渋谷区公式以外)	家族や友人・知人などからの口コミ	その他	無回答
全体(n=1,862)	71.8	30.3	13.0	12.8	7.8	1.8	44.3	45.1	26.0	13.7	9.0	1.2
18歳・19歳(n=14)	<u>57.1</u>	<u>14.3</u>	35.7	-	7.1	7.1	<u>14.3</u>	64.3	42.9	21.4	14.3	-
20代(n=146)	<u>55.5</u>	<u>21.2</u>	34.2	17.1	6.8	2.1	<u>34.9</u>	47.9	42.5	13.7	6.2	-
30代(n=328)	<u>63.1</u>	34.5	23.2	23.2	9.5	0.9	<u>34.5</u>	<u>39.6</u>	38.1	11.9	10.1	-
40代(n=395)	74.9	32.4	11.4	13.4	10.6	2.3	44.6	<u>39.2</u>	29.6	14.2	13.9	-
50代(n=460)	70.2	30.0	11.3	11.7	8.7	2.2	46.3	53.9	26.5	12.0	11.5	-
60代(n=327)	78.9	35.5	<u>4.0</u>	8.6	5.5	2.1	48.6	49.5	<u>14.7</u>	12.8	4.3	1.5
70歳以上(n=189)	85.2	<u>18.5</u>	<u>0.5</u>	<u>1.1</u>	<u>2.1</u>	-	57.7	<u>34.4</u>	<u>2.1</u>	21.7	<u>0.5</u>	8.5

注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

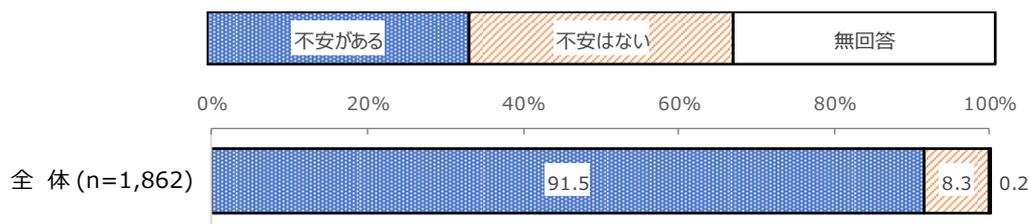
4. 高齢者施策について

(1) 介護に対する不安

問9 あなたご自身またはご家族に介護が必要となった場合、不安はありますか。すでに介護が必要な場合を含めてお答えください。(答は1つ)

「不安がある」が91.5%を占める。「不安はない」は8.3%である。

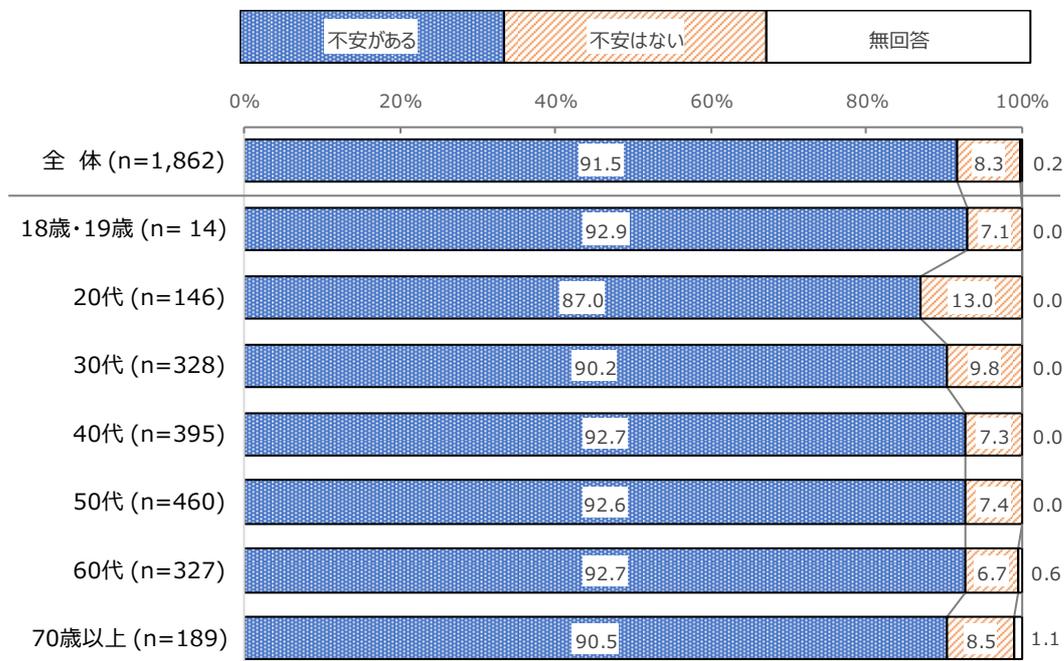
図Ⅲ-4-1 介護に対する不安



【年齢別】

「不安がある」は20代が87.0%で他の年代に比べやや低いものの、その他の年代はいずれも9割を超え、年齢に関わらず介護に対して不安を持っている人が多いことがわかる。

図Ⅲ-4-2 介護に対する不安(年齢別)

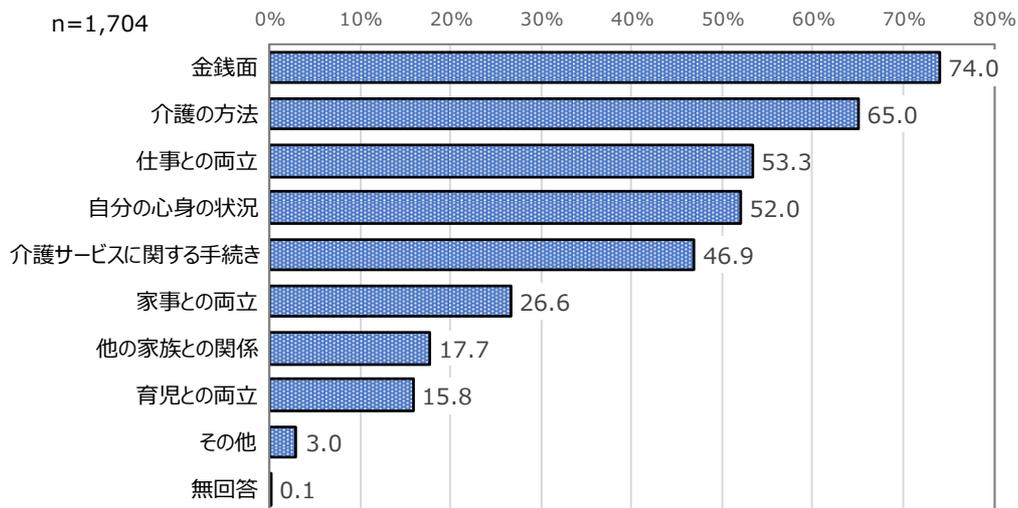


(2) 介護に対する不安の具体的な内容

問9-1 具体的にはどのような不安がありますか。(答はいくつでも) [問9で「不安がある」と回答した方対象]

「金銭面」が 74.0%で最も高く、次いで、「介護の方法」(65.0%)が高い。以下、「仕事との両立」(53.3%)、「自分の心身の状況」(52.0%)、「介護サービスに関する手続き」(46.9%)などが続く。

図Ⅲ-4-3 介護に対する不安の具体的な内容



【その他の回答】

介護サービス（内容、受け入れ枠、受け方）、施設（施設不足、空き状況、料金、情報）、介護職（不足・育成・待遇）、政策・制度や財政、介護者と被介護者の住居が遠い、住居、子供がいない、体力、病院の受け入れ、想像できない など

【年齢別】

全般に年代が下がるにつれ「金銭面」と「仕事との両立」が高くなる傾向にある。また、「家事との両立」や「育児との両立」も 20代～40代が高い。「介護の方法」は 20代以上のいずれの年代も6割を超えている。

表Ⅲ-4-1 介護に対する不安の具体的な内容(年齢別)

	金銭面	介護の方法	自分の心身の状況	仕事との両立	家事との両立	育児との両立	他の家族との関係	介護サービスに関する手続き	その他	無回答
全体 (n=1,704)	74.0	65.0	52.0	53.3	26.6	15.8	17.7	46.9	3.0	0.1
18歳・19歳 (n=13)	<u>61.5</u>	<u>38.5</u>	<u>46.2</u>	61.5	23.1	15.4	-	<u>23.1</u>	-	-
20代 (n=127)	85.0	63.8	49.6	79.5	32.3	22.8	21.3	<u>40.2</u>	-	-
30代 (n=296)	83.4	66.6	51.7	76.0	36.8	35.1	18.9	<u>40.5</u>	1.7	-
40代 (n=366)	81.7	61.5	53.6	67.2	35.5	29.5	19.1	44.8	2.2	-
50代 (n=426)	71.6	68.5	<u>46.2</u>	54.2	23.0	<u>5.4</u>	18.3	49.8	4.9	-
60代 (n=303)	<u>64.0</u>	64.7	57.8	<u>25.1</u>	<u>16.5</u>	<u>1.3</u>	15.5	54.5	4.0	0.3
70歳以上 (n=171)	<u>57.9</u>	64.9	55.6	<u>12.3</u>	<u>13.5</u>	-	13.5	48.5	2.9	-

注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

【世帯構成別・共働きの有無別】

世帯構成別にみると、「家事との両立」と「育児との両立」は二世世代家族や三世世代家族で高い。また、「他の家族との関係」は三世世代家族で高い。

共働きの有無別にみると、共働きは全体に比べ「仕事との両立」「家事との両立」「育児との両立」が高い。また、「金銭面」は共働きではないに比べると共働きの方が高いことがわかる。共働きではないは「介護の方法」が最も高い。

表Ⅲ-4-2 介護に対する不安の具体的な内容(世帯構成別・共働きの有無別)

	金銭面	介護の方法	自分の心身の状況	仕事との両立	家事との両立	育児との両立	他の家族との関係	介護サービスに関する手続き	その他	無回答	(%)
全 体 (n=1,704)	74.0	65.0	52.0	53.3	26.6	15.8	17.7	46.9	3.0	0.1	
一人暮らし (n=325)	74.2	<u>57.2</u>	51.7	57.5	<u>14.8</u>	<u>4.6</u>	<u>12.0</u>	46.8	2.5	-	
夫婦のみ (n=447)	<u>68.7</u>	69.8	55.5	<u>43.2</u>	22.8	<u>5.6</u>	14.8	48.5	2.9	0.2	
二世世代家族 (親と子ども) (n=763)	76.1	66.1	49.3	57.0	33.2	27.9	20.3	46.4	3.3	-	
三世世代家族 (親と子どもと孫) (n=81)	69.1	67.9	49.4	<u>46.9</u>	33.3	19.8	29.6	<u>38.3</u>	1.2	-	
パートナーなどとの共同生活 (n=42)	92.9	<u>57.1</u>	54.8	71.4	23.8	-	14.3	47.6	2.4	-	
その他 (n=45)	80.0	<u>60.0</u>	68.9	55.6	31.1	<u>2.2</u>	24.4	55.6	6.7	-	
共働き (n=609)	78.3	65.5	49.6	67.7	34.2	25.8	18.9	46.8	3.0	-	
共働きではない (n=513)	<u>66.9</u>	70.2	54.4	<u>29.0</u>	25.5	15.8	19.5	47.2	2.9	0.2	

注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

(3) 渋谷区が優先的に取り組むべき高齢者施策

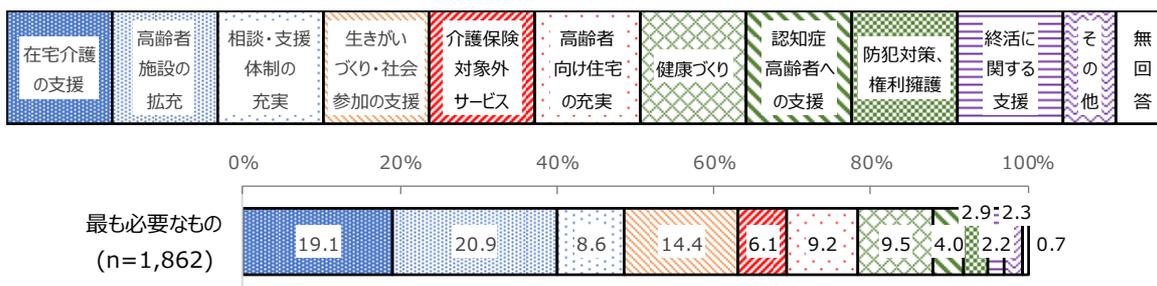
問 10 これからの高齢者施策で渋谷区が優先的に取り組む必要があるものは何ですか。最も必要なもの、次に必要なもの、三番目に必要なものを、それぞれ教えてください。(答はそれぞれ1つ)

最も必要なものは「高齢者施設の拡充(特別養護老人ホーム、通いで介護を受けられる(デイサービス等)施設の充実)」(20.9%)、「在宅介護の支援(在宅で生活が続けられる介護・医療サービス、家族介護者への支援)」(19.1%)が高い。

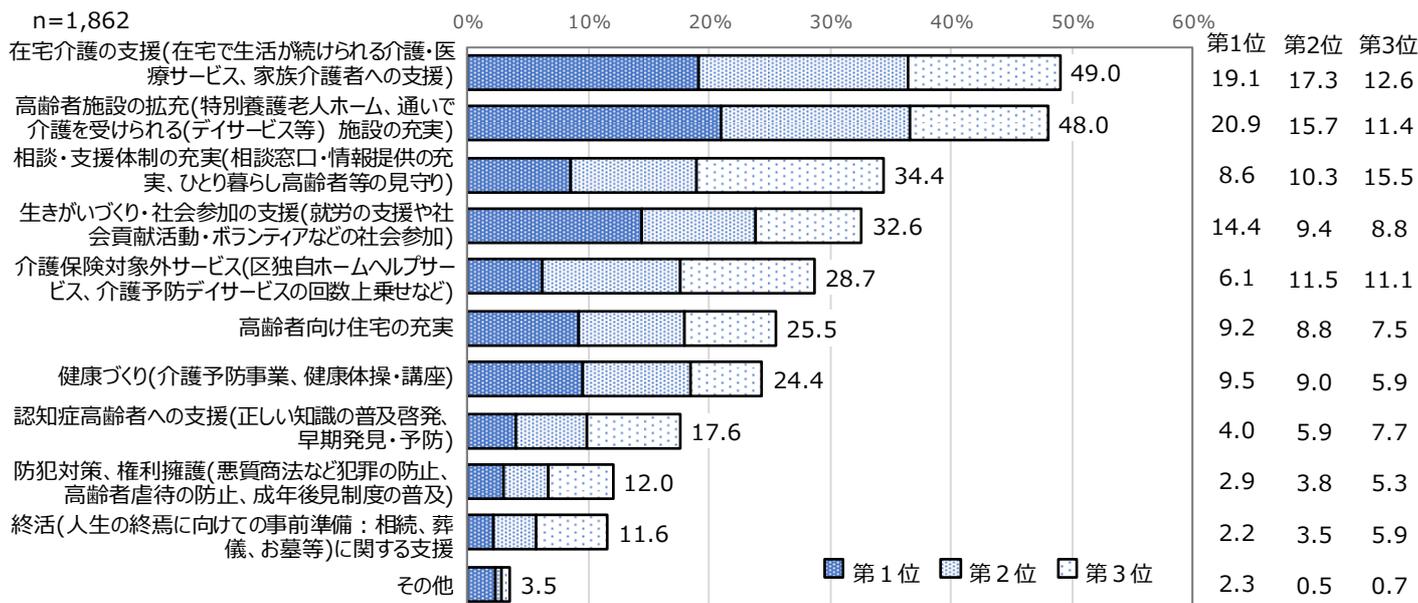
最も必要なものから三番目に必要なものまでを合わせると、「在宅介護の支援(在宅で生活が続けられる介護・医療サービス、家族介護者への支援)」(49.0%)と「高齢者施設の拡充(特別養護老人ホーム、通いで介護を受けられる(デイサービス等)施設の充実)」(48.0%)が高い。以下、「相談・支援体制の充実(相談窓口・情報提供の充実、ひとり暮らし高齢者等の見守り)」(34.4%)、「生きがいづくり・社会参加の支援(就労の支援や社会貢献活動・ボランティアなどの社会参加)」(32.6%)などが続く。

平成 29 年調査は選択肢が異なるなど直接的な比較はできないが、「在宅介護の支援」や「高齢者施設の充実」はどちらの年も上位に挙がっている。

図Ⅲ-4-4 渋谷区が優先的に取り組むべき高齢者施策(最も必要なもの)



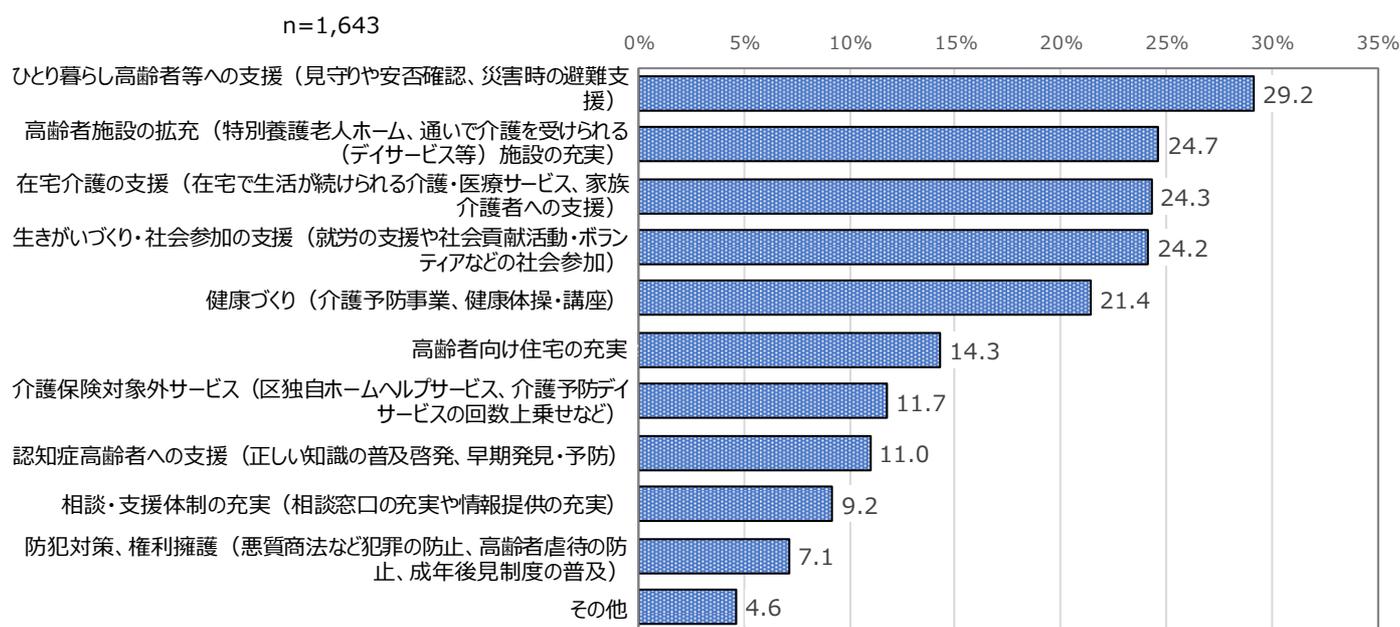
図Ⅲ-4-5 渋谷区が優先的に取り組むべき高齢者施策



[その他の回答]

金銭面の支援・減税、高齢者雇用の増加、介護従事者の待遇改善・介護事業者の質向上、居場所・交流の場作り、低家賃の住宅・シェアハウス、情報の発信、単身高齢者の支援、少子化対策、現役世代・若年層への支援 など

＜参考資料＞平成 29 年調査 渋谷区が優先的に取り組むべき高齢者施策(答えは2つまで)



【年齢別】

「在宅介護の支援」は年代が上がるにつれ高くなる傾向にあり、60代以上は5割を超える。「高齢者施設の充実」は40代以上が5割前後で、20代・30代より高い。「生きがいづくり・社会参加の支援」は20代～40代の若年層の方が高い。

表Ⅲ-4-3 渋谷区が優先的に取り組むべき高齢者施策(年齢別)

	生きがいづくり・社会参加の支援	健康づくり	在宅介護の支援	介護保険対象外サービス	認知症高齢者への支援	高齢者施設の拡充	高齢者向け住宅の充実	相談・支援体制の充実	防犯対策、権利擁護	終活に関する支援	その他	無回答
全体 (n=1,862)	32.6	24.4	49.0	28.7	17.6	48.0	25.5	34.4	12.0	11.6	3.5	0.7
18歳・19歳 (n=14)	35.7	21.4	50.0	<u>21.4</u>	14.3	50.0	<u>14.3</u>	<u>14.3</u>	35.7	21.4	7.1	-
20代 (n=146)	37.7	30.1	<u>41.1</u>	<u>21.9</u>	16.4	<u>39.0</u>	24.0	32.2	20.5	16.4	5.5	-
30代 (n=328)	43.9	24.4	<u>43.0</u>	27.1	17.1	<u>40.2</u>	25.9	35.7	12.8	13.7	4.6	0.3
40代 (n=395)	39.7	25.3	48.4	29.4	18.0	48.6	26.1	31.6	11.6	11.1	4.6	-
50代 (n=460)	28.7	22.2	48.9	29.1	17.4	52.4	30.7	38.7	11.7	12.0	3.7	-
60代 (n=327)	<u>25.1</u>	23.5	54.7	34.3	17.7	52.0	22.9	34.3	9.8	8.6	1.8	1.2
70歳以上 (n=189)	<u>15.9</u>	24.3	57.1	24.9	19.0	49.2	<u>18.0</u>	31.2	7.9	9.0	0.5	4.2

注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

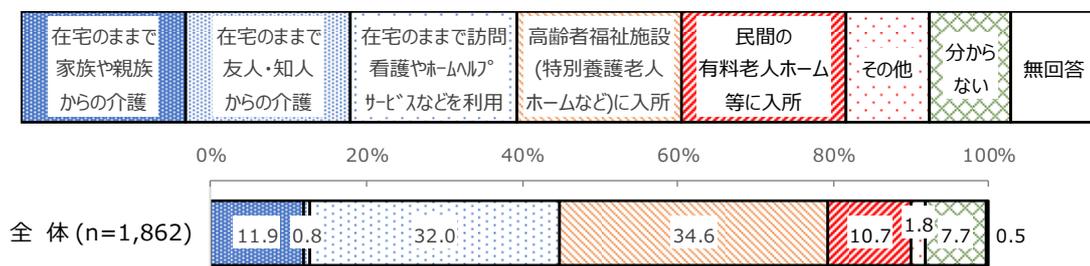
(4) 将来望む介護

問 11 あなたが将来介護を必要とする状況になった場合、どのような介護を最も望みますか。現在介護を受けている方も、最も望む介護をお選びください。(答は1つ)

「高齢者福祉施設(特別養護老人ホームなど)に入所」(34.6%)と「在宅のままで訪問看護やホームヘルプサービスなどを利用」(32.0%)が3割を超える。在宅のままの介護を希望する人と施設への入所を希望する人の割合は拮抗している。

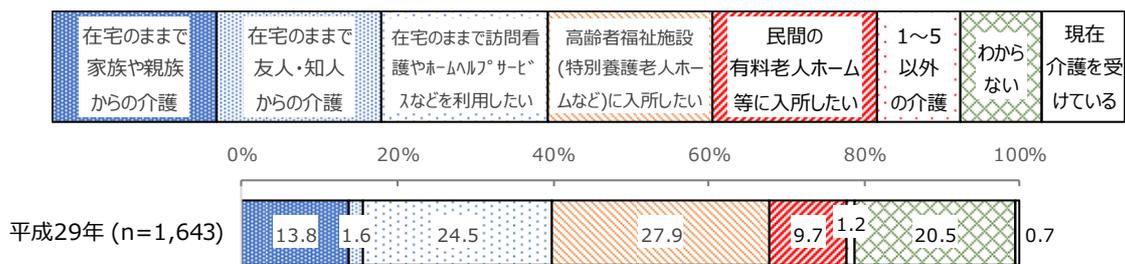
平成 29 年調査は選択肢が異なるため直接的な比較はできないが、傾向はほぼ同じである。

図Ⅲ-4-6 将来望む介護



【その他の回答】
安楽死・尊厳死、家族・周囲の負担にならない介護、夢のある老人ホーム/ペットと住める老人ホーム、状況による、グループホーム など

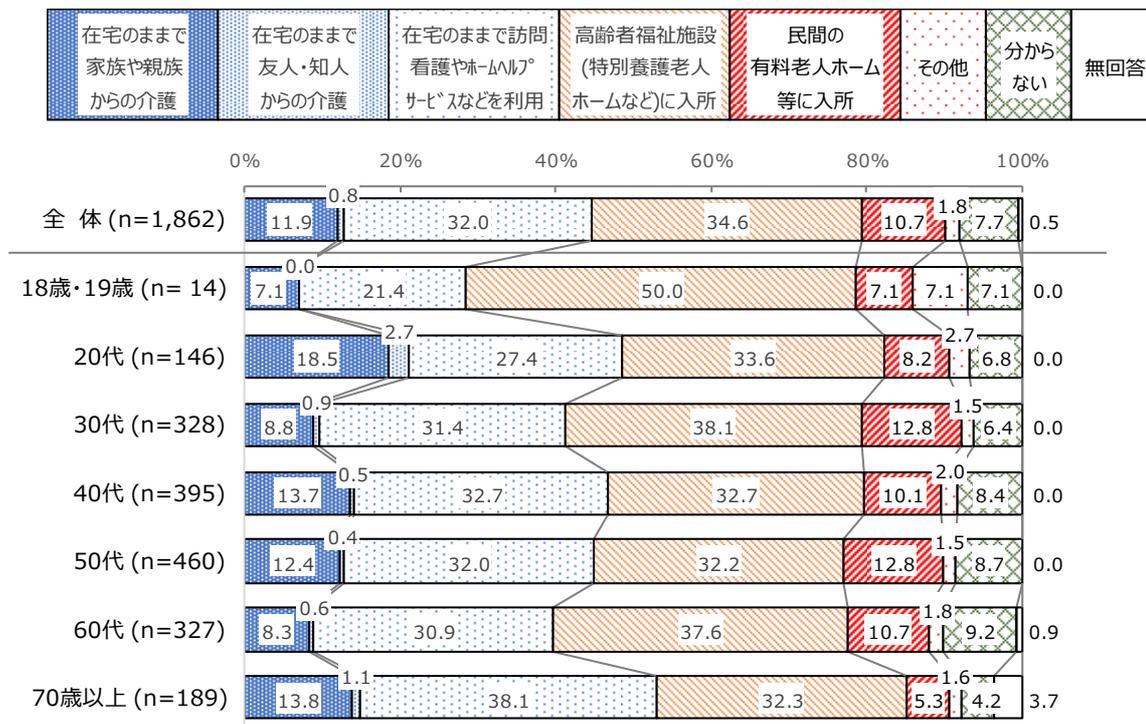
<参考資料>平成 29 年調査 将来望む介護



【年齢別】

いずれの年代も「高齢者福祉施設に入所」と「在宅のままで訪問看護やホームヘルプサービスなどを利用」の方が上位2位を占めるが、70歳以上は「在宅のままで訪問看護やホームヘルプサービスなどを利用」の方が割合が高く、20代・30代と60代は「高齢者福祉施設に入所」の方が高い。40代・50代は両者が拮抗している。

図Ⅲ-4-7 将来望む介護(年齢別)



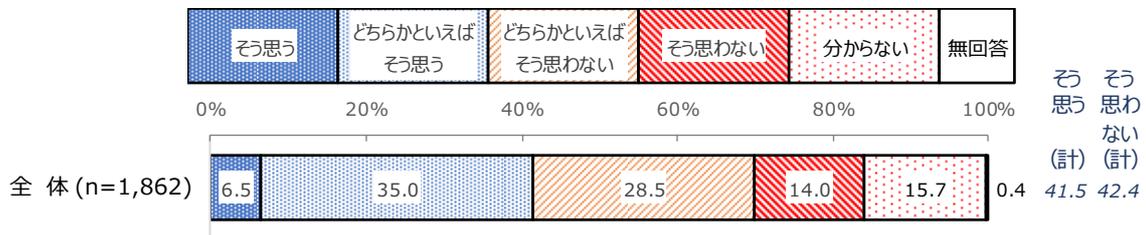
5. アクティブシニアについて

(1) 渋谷区に住む高齢者の社会との関わり

問 12 あなたは、渋谷区に住む高齢者が、地域の多様な活動や区主催の事業への参加などを通じて、社会と関わりを持ちながら生活を送っていると思いますか。若年層の方は、ご家族や近所の方など、身の回り的高齢者を想定してお答えください。(答は1つ)

「どちらかといえばそう思う」が35.0%で最も高い。「そう思う(計)」「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」は41.5%で、「そう思わない(計)」「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」の42.4%と拮抗している。

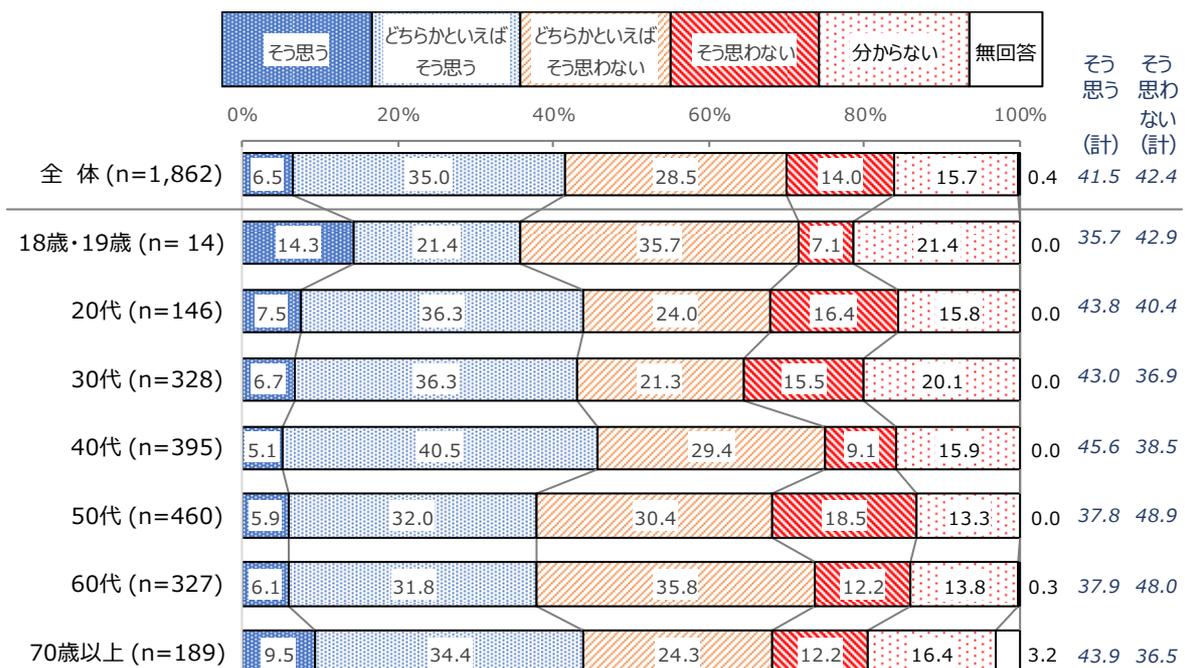
図Ⅲ-5-1 渋谷区に住む高齢者の社会との関わり



【年齢別】

20代～40代と70歳以上は「そう思う(計)」が4割を超えているが、50代と60代は「そう思わない(計)」が5割弱を占め、親が高齢者と思われる世代はやや認識が異なる傾向にある。

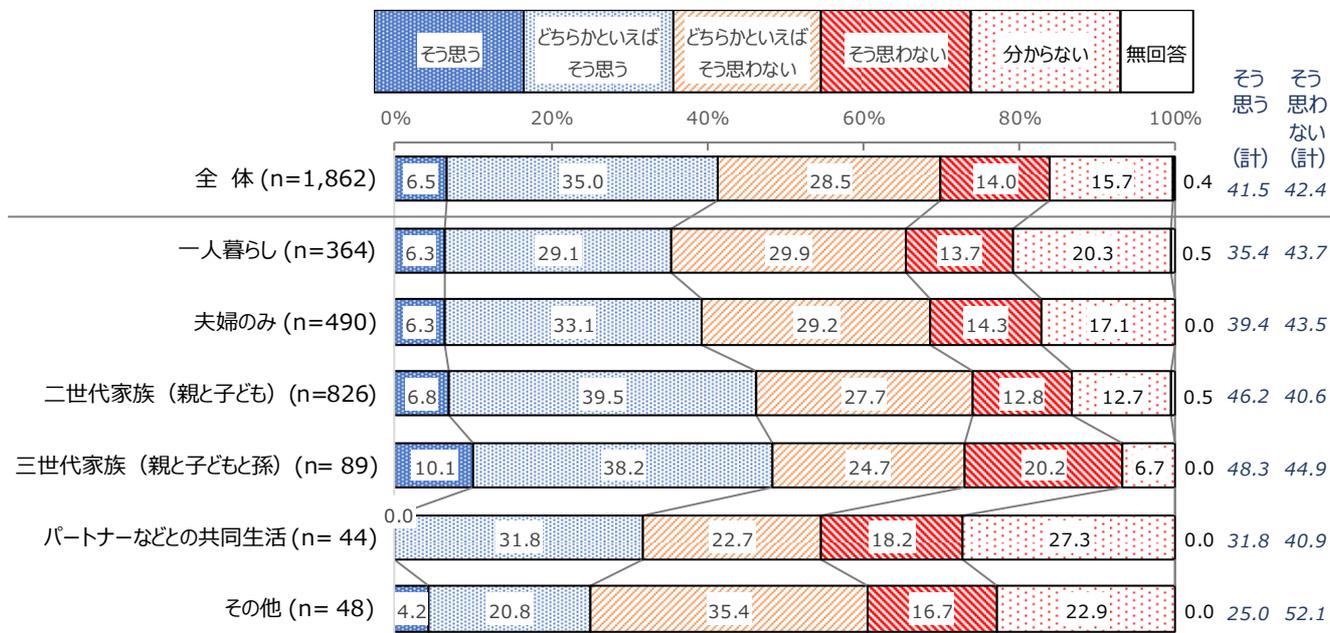
図Ⅲ-5-2 渋谷区に住む高齢者の社会との関わり(年齢別)



【世帯構成別】

「そう思わない(計)」はいずれの世帯も4割を超える。「そう思う(計)」は二世世代家族と三世世代家族が高く、4割台後半を占める。

図Ⅲ-5-3 渋谷区に住む高齢者の社会との関わり(世帯構成別)

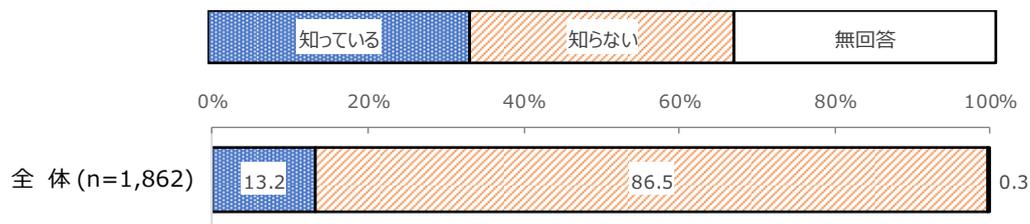


(2) 「渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ(通称:シブカツ)」認知度

問 13 プレシニア世代からアクティブシニア世代の方がいつまでも楽しく元気に活躍し続けられるように、皆様がお持ちの経験や能力を活かすことができる機会や新たな学びの場などを提供する「渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ(通称:シブカツ)」を、令和元年7月1日から渋谷ヒカリエ8階に開設しました。あなたは、このシブカツについて知っていますか。(答は1つ)

「知らない」が86.5%を占める。「知っている」は13.2%である。

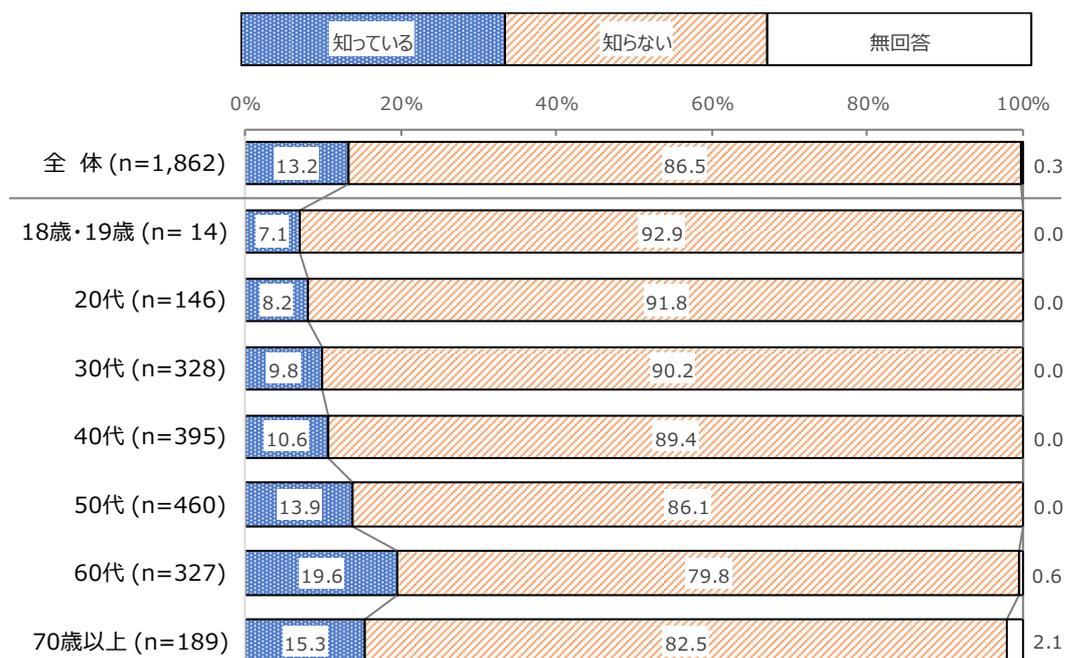
図Ⅲ-5-4 「渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ(通称:シブカツ)」認知度



【年齢別】

「知っている」が最も高いのは60代の19.6%、次いで70歳以上の15.3%である。40代・50代は1割台前半、30代以下は1割未満である。

図Ⅲ-5-5 「渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ(通称:シブカツ)」認知度(年齢別)

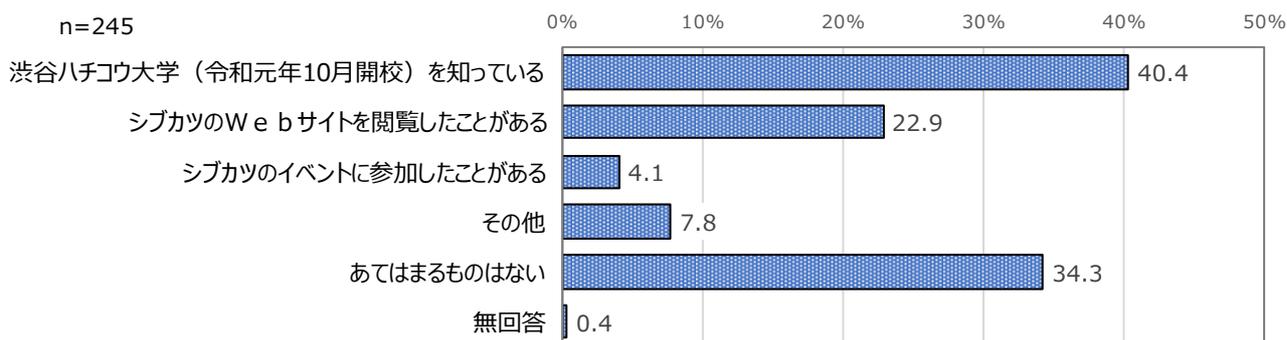


(3) シブカツ認知内容

問 13-1 シブカツについて、あなたにあてはまるものを全てお答えください。(答はいくつでも) [問 13 で「知っている」と回答した方対象]

「渋谷ハチコウ大学(令和元年 10 月開校)を知っている」が 40.4%で最も高い。「シブカツのWebサイトを閲覧したことがある」は 22.9%、「シブカツのイベントに参加したことがある」は 4.1%である。

図Ⅲ-5-6 シブカツ認知内容



【その他の回答】
ヒカリエで見かけた、広報紙で見た、渋谷ナビを読んだ、冊子・チラシを見た、リーフレットが送られてきた、口コミ、名称のみ知っている

【年齢別】

回答数が 30 以上の 30 代～60 代でみると、「渋谷ハチコウ大学(令和元年 10 月開校)を知っている」は 50 代が4割半ば、30 代・40 代と 60 代は3割半ば～4割弱である。「シブカツのWebサイトを閲覧したことがある」は 50 代と 60 代が高く、3割を超える。

表Ⅲ-5-1 シブカツ認知内容(年齢別)

	シブカツのイベントに参加したことがある	シブカツのWebサイトを閲覧したことがある	渋谷ハチコウ大学(令和元年10月開校)を知っている	その他	あてはまるものはない	無回答
全体 (n=245)	4.1	22.9	40.4	7.8	34.3	0.4
18歳・19歳 (n= 1)	-	-	100.0	-	-	-
20代 (n= 12)	8.3	25.0	<u>16.7</u>	16.7	50.0	-
30代 (n= 32)	-	<u>9.4</u>	37.5	3.1	50.0	-
40代 (n= 42)	-	<u>11.9</u>	38.1	9.5	42.9	-
50代 (n= 64)	1.6	34.4	45.3	6.3	<u>28.1</u>	-
60代 (n= 64)	4.7	31.3	35.9	10.9	<u>28.1</u>	-
70歳以上 (n= 29)	13.8	<u>10.3</u>	55.2	3.4	<u>27.6</u>	3.4

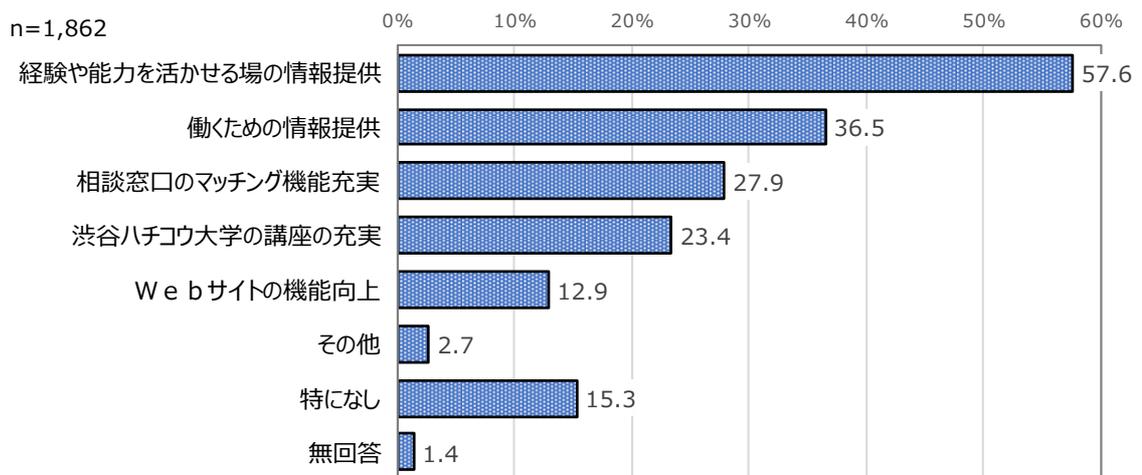
注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

(4) シブカツに今後期待すること

問 14 シブカツには今後どのようなことを期待しますか。(答はいくつでも)

「経験や能力を活かせる場の情報提供」が 57.6%で最も高い。次いで、「働くための情報提供」(36.5%)が高く、情報提供への期待が高い。以下、「相談窓口のマッチング機能充実」(27.9%)、「渋谷ハチコウ大学の講座の充実」(23.4%)などが続く。

図Ⅲ-5-7 シブカツに今後期待すること



【その他の回答】

移転/地域ごとに拠点を作る、幅広い情報発信/もっと存在をアピール、若者も参加し世代間交流を図る、人材の有効活用、居場所作り、婚活(若い人も含め)、起業支援、株式投資講座、参加者の感想を聞いてみたい など

【年齢別】

「経験や能力を活かせる場の情報提供」は20代~60代で5割を超え、特に40代と50代で6割を超える。「働くための情報提供」や「相談窓口のマッチング機能充実」も40代と50代が他の年代より高い。

表Ⅲ-5-2 シブカツに今後期待すること(年齢別)

	経験や能力を活かせる場の情報提供	Webサイトの機能向上	渋谷ハチコウ大学の講座の充実	働くための情報提供	相談窓口のマッチング機能充実	その他	特になし	無回答
全体 (n=1862)	57.6	12.9	23.4	36.5	27.9	2.7	15.3	1.4
18歳・19歳 (n=14)	50.0	-	14.3	14.3	7.1	-	50.0	-
20代 (n=146)	54.1	19.9	12.3	32.2	17.1	2.1	28.8	-
30代 (n=328)	55.8	14.9	19.5	37.8	23.8	2.1	19.5	-
40代 (n=395)	62.5	13.9	24.6	44.6	31.9	3.8	8.4	-
50代 (n=460)	63.7	13.3	26.1	46.1	35.7	3.5	10.4	-
60代 (n=327)	54.4	12.2	27.8	29.4	26.0	1.8	14.4	2.1
70歳以上 (n=189)	45.0	3.2	23.3	12.2	21.2	1.6	22.8	9.5

注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

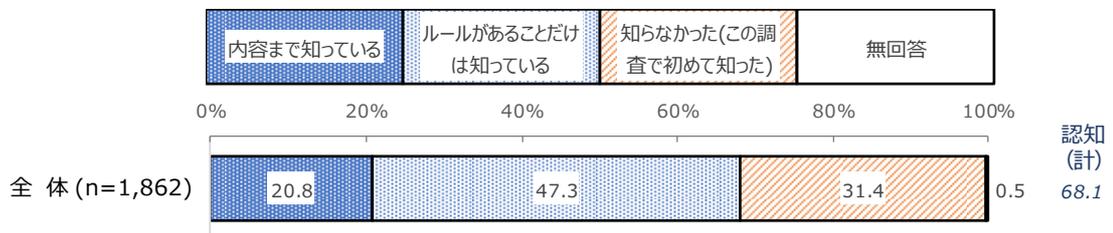
6. 渋谷区喫煙ルールについて

(1) 「渋谷区喫煙ルール」認知度

問 15 渋谷区では、「歩行喫煙はしない」「たばこは決められた場所で吸う」という『渋谷区分煙ルール』を平成15年8月に定め、喫煙者のモラルとマナーの向上を図ってきましたが、今年4月より『きれいなまち渋谷をみんなでつくる条例』改正に伴い、「屋外の公共の場所では喫煙しない」「たばこは決められた場所のみで吸うことができる」という『渋谷区喫煙ルール』を新たに定めました。あなたは、この『渋谷区喫煙ルール』を知っていますか。
(答は1つ)

「ルールがあることだけは知っている」が 47.3%で最も高い。認知率(「内容まで知っている」+「ルールがあることだけは知っている」)は 68.1%である。

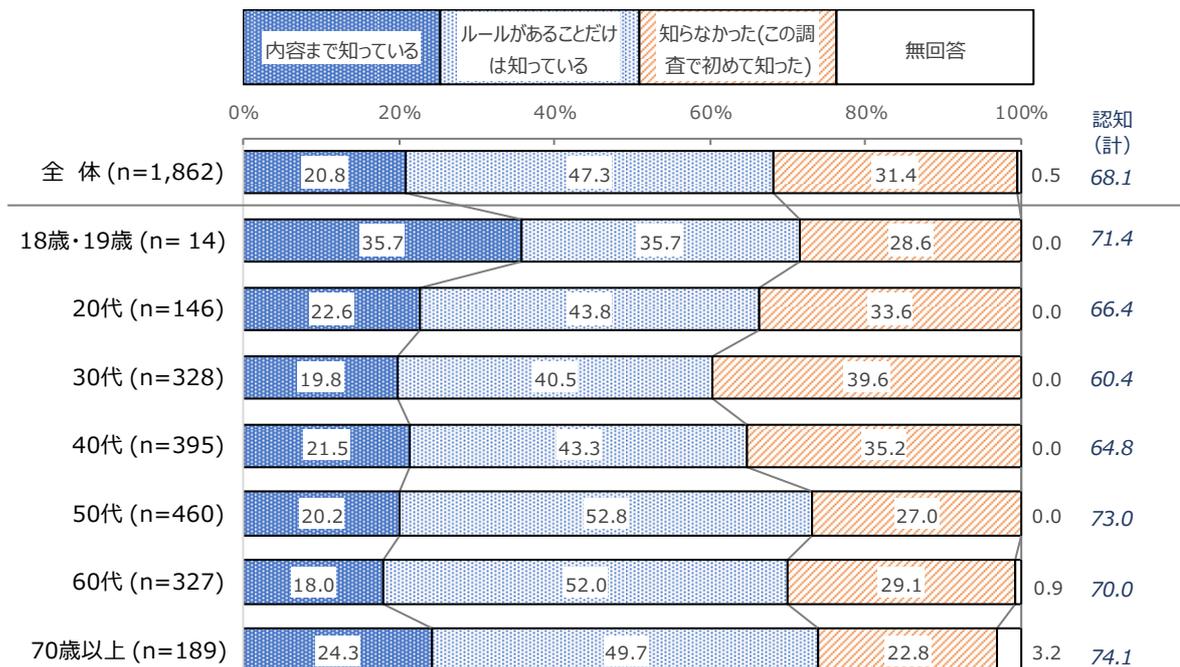
図Ⅲ-6-1 「渋谷区喫煙ルール」認知度



【年齢別】

認知率は50代以上が7割を超え、20代～40代は6割～6割半ばである。「内容まで知っている」は70歳以上がやや高いものの、いずれの年代も概ね2割前後である。

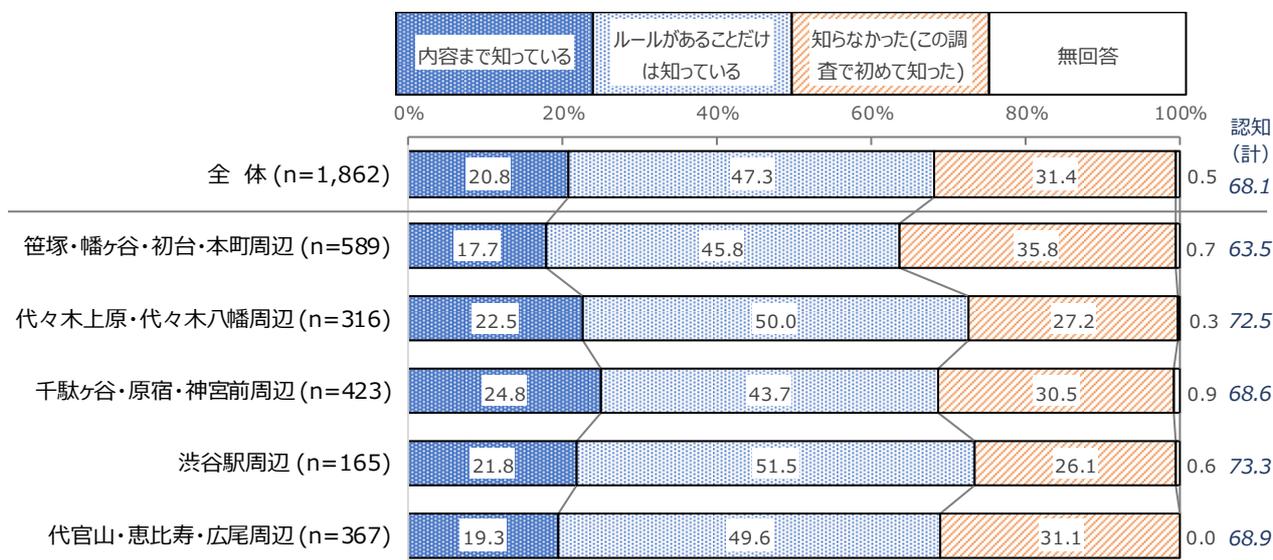
図Ⅲ-6-2 「渋谷区喫煙ルール」認知度(年齢別)



【地区別】

認知率は「笹塚・幡ヶ谷・初台・本町周辺」が 63.5%で他地域に比べやや低い。「千駄ヶ谷・原宿・神宮前周辺」は「内容まで知っている」が 24.8%で他地域より高いが、認知率は7割弱である。

図Ⅲ-6-3 「渋谷区喫煙ルール」認知度(地区別)

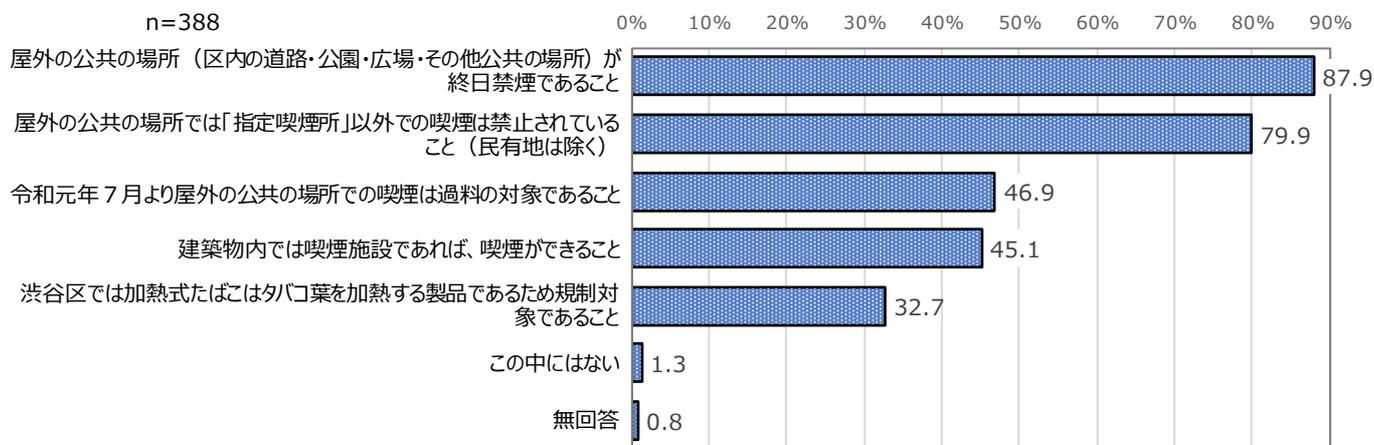


(2) 「渋谷区喫煙ルール」認知内容

問 15-1 このルールの内容について知っていることを全てお答えください。(答はいくつでも) [問 15 で「内容まで知っている」と回答した方対象]

「屋外の公共の場所(区内の道路・公園・広場・その他公共の場所)が終日禁煙であること」が 87.9%で最も高く、次いで、「屋外の公共の場所では『指定喫煙所』以外での喫煙は禁止されていること(民有地は除く)」(79.9%)が高い。以下、「令和元年7月より屋外の公共の場所での喫煙は過料の対象であること」(46.9%)、「建築物内では喫煙施設であれば、喫煙ができること」(45.1%)、「渋谷区では加熱式たばこはタバコ葉を加熱する製品であるため規制対象であること」(32.7%)が続く。

図Ⅲ-6-4 「渋谷区喫煙ルール」認知内容



【年齢別】

20代以上でみると、「屋外の公共の場所が終日禁煙であること」や「屋外の公共の場所では『指定喫煙所』以外での喫煙は禁止されていること」の認知率はいずれの年代も7割を超える。「令和元年7月より屋外の公共の場所での喫煙は過料の対象であること」は20代と60代で5割を超え、「建築物内では喫煙施設であれば、喫煙ができること」は20代、50代と60代で5割を超える。

表Ⅲ-6-1 「渋谷区喫煙ルール」認知内容(年齢別)

	(%)						
	屋外の公共の場所(区内の道路・公園・広場・その他公共の場所)が終日禁煙であること	令和元年7月より屋外の公共の場所での喫煙は過料の対象であること	渋谷区では加熱式たばこはタバコ葉を加熱する製品であるため規制対象であること	屋外の公共の場所では『指定喫煙所』以外での喫煙は禁止されていること(民有地は除く)	建築物内では喫煙施設であれば、喫煙ができること	この中にはない	無回答
全体(n=388)	87.9	46.9	32.7	79.9	45.1	1.3	0.8
18歳・19歳(n=5)	<u>40.0</u>	60.0	40.0	<u>60.0</u>	80.0	-	-
20代(n=33)	<u>75.8</u>	54.5	36.4	87.9	51.5	-	-
30代(n=65)	89.2	44.6	35.4	75.4	<u>36.9</u>	3.1	-
40代(n=85)	92.9	<u>41.2</u>	<u>24.7</u>	78.8	<u>36.5</u>	-	-
50代(n=93)	89.2	46.2	41.9	82.8	52.7	2.2	-
60代(n=59)	88.1	57.6	32.2	81.4	50.8	1.7	-
70歳以上(n=46)	87.0	<u>39.1</u>	<u>23.9</u>	78.3	<u>39.1</u>	-	6.5

注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

(3) 渋谷区に期待する喫煙ルール

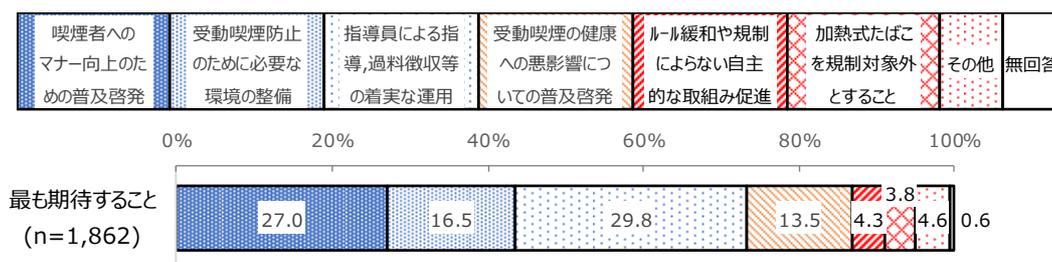
問 16 今後、喫煙ルールについて、渋谷区にどのようなことを期待しますか。最も期待すること、次に期待すること、三番目に期待することを、それぞれ教えてください。(答はそれぞれ1つ)

最も期待することは「指導員の巡回による指導、過料徴収などの着実な運用」が 29.8%で最も高く、次いで、「喫煙者へのマナー向上のための普及啓発」(27.0%)が高い。

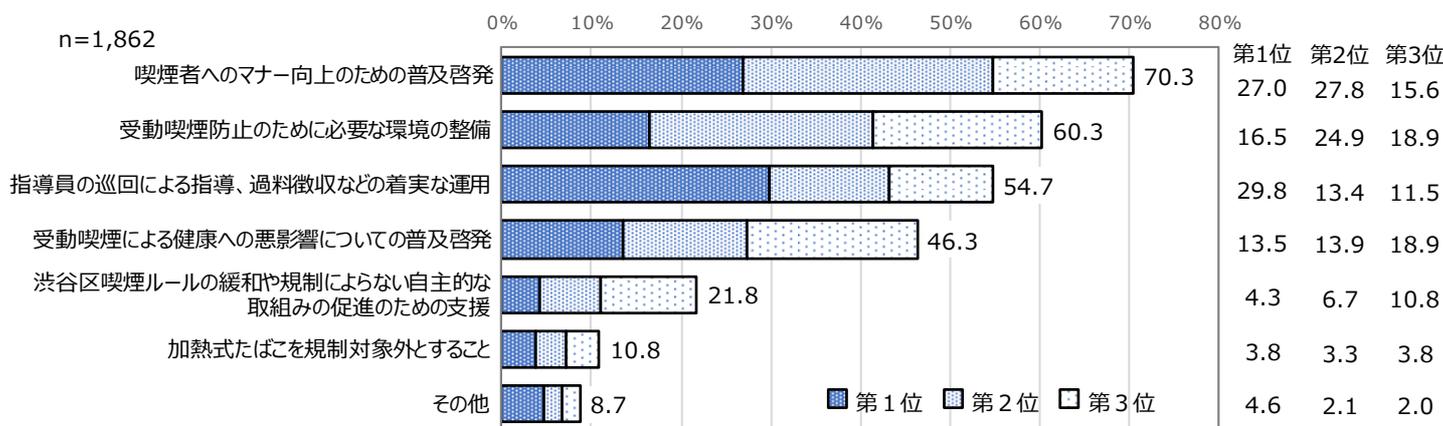
最も期待することから三番目に期待することまでを合わせると、「喫煙者へのマナー向上のための普及啓発」が 70.3%で最も高い。以下、「受動喫煙防止のために必要な環境の整備」(60.3%)、「指導員の巡回による指導、過料徴収などの着実な運用」(54.7%)、「受動喫煙による健康への悪影響についての普及啓発」(46.3%)などが続く。

「受動喫煙防止のために必要な環境の整備」は最も期待することでは上位2項目に比べるとやや低いが三番目までを合わせると「喫煙者へのマナー向上のための普及啓発」に次いで高い。また「指導員の巡回による指導、過料徴収などの着実な運用」は最も期待することでは1位だったが三番目までを合わせると3位となり、最も期待することと三番目までを合わせた結果では若干傾向に違いがみられる。

図Ⅲ-6-5 渋谷区に期待する喫煙ルール(最も期待すること)



図Ⅲ-6-6 渋谷区に期待する喫煙ルール



【その他の回答】
喫煙所の充実・整備・美化、全面禁煙／屋内禁煙、規制強化／厳罰化、取り締まり強化、規制しすぎない／喫煙者の権利保護、ルールの周知徹底、たばこの販売禁止・増税、分煙体制の強化、喫煙所の完全密閉式化、路上喫煙所の廃止／灰皿の撤去、歩きタバコとポイ捨て禁止、喫煙場所の周知、外国人への指導／ルールの多言語表記、禁煙支援 など

【年齢別】

「喫煙者へのマナー向上のための普及啓発」は年代が上がるにつれ、高くなる傾向にあり、40代以上は7割を超えており、喫煙者のマナーに対する不満が高いことがうかがえる。「指導員の巡回による指導、過料徴収などの着実な運用」は70歳以上が40.7%で他の年代より低く、30代が65.9%で他の年代より高い。「受動喫煙防止のために必要な環境の整備」は20代～60代で6割前後である。

表Ⅲ-6-2 渋谷区に期待する喫煙ルール(年齢別)

	(%)							
	受動喫煙による健康への悪影響についての普及啓発	喫煙者へのマナー向上のための普及啓発	指導員の巡回による指導、過料徴収などの着実な運用	受動喫煙防止のために必要な環境の整備	渋谷区喫煙ルールの緩和や規制によらない自主的な取組みの促進	加熱式たばこを規制対象外とすること	その他	無回答
全体 (n=1862)	46.3	70.3	54.7	60.3	21.8	10.8	8.7	0.6
18歳・19歳 (n=14)	71.4	<u>42.9</u>	50.0	<u>35.7</u>	42.9	7.1	21.4	-
20代 (n=146)	47.9	<u>64.4</u>	51.4	63.0	25.3	15.1	8.2	-
30代 (n=328)	42.7	66.2	65.9	60.1	25.0	12.8	7.9	-
40代 (n=395)	44.6	70.4	55.4	60.8	22.3	12.9	10.1	-
50代 (n=460)	44.1	70.7	55.7	63.0	22.2	12.4	12.2	-
60代 (n=327)	50.2	74.6	51.7	59.9	20.5	7.0	6.1	0.9
70歳以上 (n=189)	51.3	75.7	<u>40.7</u>	<u>54.0</u>	<u>12.7</u>	<u>2.6</u>	<u>2.6</u>	3.7

注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

【地区別】

「指導員の巡回による指導、過料徴収などの着実な運用」は「笹塚・幡ヶ谷・初台・本町周辺」が49.6%で他地域より低く、「渋谷駅周辺」が64.8%で他地域より高い。「受動喫煙による健康への悪影響についての普及啓発」は「渋谷駅周辺」と「千駄ヶ谷・原宿・神宮前周辺」が4割前後で他地域より低い。

表Ⅲ-6-3 渋谷区に期待する喫煙ルール(地区別)

	(%)							
	受動喫煙による健康への悪影響についての普及啓発	喫煙者へのマナー向上のための普及啓発	指導員の巡回による指導、過料徴収などの着実な運用	受動喫煙防止のために必要な環境の整備	渋谷区喫煙ルールの緩和や規制によらない自主的な取組みの促進	加熱式たばこを規制対象外とすること	その他	無回答
全体 (n=1862)	46.3	70.3	54.7	60.3	21.8	10.8	8.7	0.6
笹塚・幡ヶ谷・初台・本町周辺 (n=589)	49.7	72.5	<u>49.6</u>	58.2	23.6	12.6	7.3	0.3
代々木上原・代々木八幡周辺 (n=316)	47.2	71.2	56.3	60.8	22.8	9.8	9.5	-
千駄ヶ谷・原宿・神宮前周辺 (n=423)	<u>40.9</u>	68.8	58.9	62.6	21.5	7.8	8.0	0.9
渋谷駅周辺 (n=165)	<u>38.2</u>	67.3	64.8	61.2	18.8	12.1	12.7	0.6
代官山・恵比寿・広尾周辺 (n=367)	49.9	69.2	52.6	60.5	19.9	11.7	9.3	0.8

注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

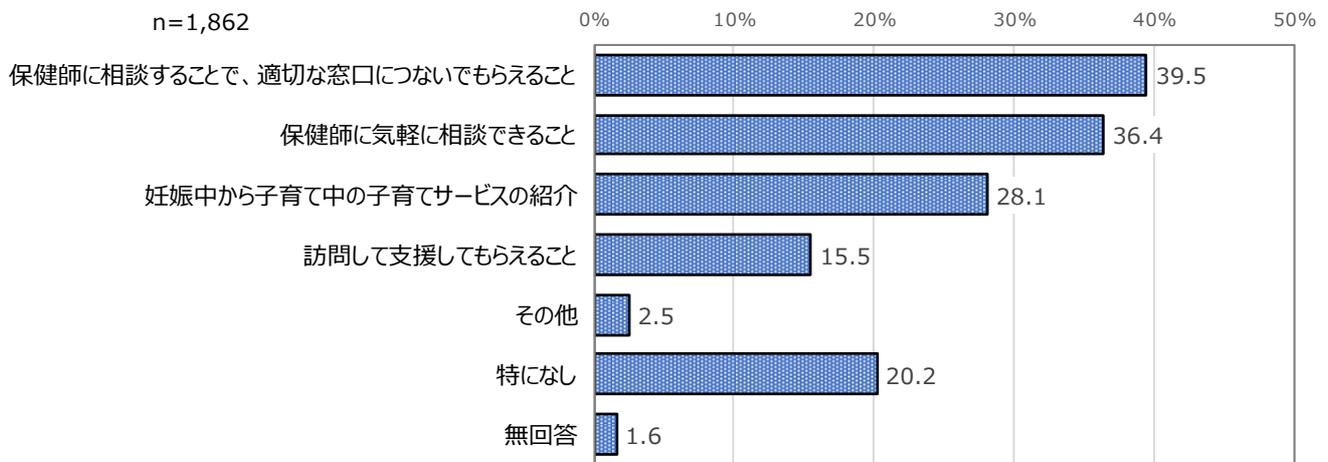
7. ネウボラについて

(1) 「渋谷区子育てネウボラ」に期待すること

問 17 保健師があらゆる相談の窓口になって、妊娠中から子どもが18歳になるまで支援する「渋谷区子育てネウボラ」についてどのようなことを期待しますか。(答は2つまで)

「保健師に相談することで、適切な窓口につないでもらえること」(39.5%)と「保健師に気軽に相談できること」(36.4%)が高く、相談に関する期待が高い。以下、「妊娠中から子育て中の子育てサービスの紹介」(28.1%)、「訪問して支援してもらえること」(15.5%)などが続く。

図Ⅲ-7-1 「渋谷区子育てネウボラ」に期待すること



【その他の回答】

保健師のレベルアップ、広報・情報発信／区のHPの充実、リタイアした産婦人科医や保育士・歯科衛生士の参加、民間による支援の充実、託児／ベビーホテル等の斡旋、親しみやすい名前へ変更 など

【年齢別】

20代・30代は「妊娠中から子育て中の子育てサービスの紹介」が4割前後で他の年代より高く、30代は項目の中で1位、20代は僅差で2位に挙げられており、子育て当事者やこれから当事者になる世代はサービスの情報提供を求めていることがわかる。

表Ⅲ-7-1 「渋谷区子育てネウボラ」に期待すること(年齢別)

	(%)						
	保健師に気軽に相談できること	保健師に相談することで、適切な窓口につないでもらえること	訪問して支援してもらえること	妊娠中から子育て中の子育てサービスの紹介	その他	特になし	無回答
全体 (n=1862)	36.4	39.5	15.5	28.1	2.5	20.2	1.6
18歳・19歳 (n=14)	<u>21.4</u>	<u>21.4</u>	-	28.6	-	57.1	-
20代 (n=146)	39.7	35.6	14.4	39.0	2.1	<u>13.0</u>	-
30代 (n=328)	35.7	36.6	17.7	42.4	2.1	<u>12.8</u>	-
40代 (n=395)	39.5	39.0	15.9	27.6	3.0	18.0	-
50代 (n=460)	35.0	40.4	14.3	<u>22.4</u>	2.4	25.9	-
60代 (n=327)	33.9	37.9	14.7	<u>22.9</u>	3.1	26.9	2.1
70歳以上 (n=189)	37.0	50.8	16.9	<u>19.6</u>	1.6	15.3	11.1

注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、 は全体より5ポイント以上低いことを示す。

【子どもの有無別・長子の年齢別】

子どもの有無別にみると、子どもが「いる」層は4割半ばが「保健師に相談することで、適切な窓口につながってもらえること」を挙げている。

長子の年齢別にみると、「保健師に気軽に相談できること」は「4歳未満」～「高校生・高専生」で4割半ば～5割強と要望が高い。「妊娠中から子育て中の子育てサービスの紹介」は「4歳未満」～「中学生」が高く、特に「4歳未満」は46.6%で1位に挙げられている。

表Ⅲ-7-2 「渋谷区子育てネウボラ」に期待すること(子どもの有無別・長子の年齢別)

		(%)						
		保健師に気軽に相談できること	保健師に相談することで、適切な窓口につながってもらえること	訪問して支援してもらえ	妊娠中から子育て中の子育てサービスの紹介	その他	特になし	無回答
全 体 (n=1862)		36.4	39.5	15.5	28.1	2.5	20.2	1.6
子ども有無	いる (n=1020)	39.1	44.5	17.8	30.1	2.7	<u>12.5</u>	2.5
	いない (n=842)	33.0	<u>33.5</u>	12.6	25.8	2.1	29.6	0.6
長子の年齢	4歳未満 (n=118)	44.1	35.6	23.7	46.6	3.4	<u>6.8</u>	-
	4歳～小学校就学前 (n=70)	45.7	47.1	15.7	37.1	2.9	<u>4.3</u>	-
	小学生 (n=134)	44.0	44.0	18.7	36.6	3.7	<u>6.7</u>	-
	中学生 (n=50)	46.0	<u>24.0</u>	20.0	34.0	6.0	<u>8.0</u>	-
	高校生・高専生 (n=62)	51.6	48.4	21.0	<u>22.6</u>	1.6	<u>6.5</u>	-
	大学生・短大生・専門学校生・大学院生(n=87)	39.1	44.8	17.2	25.3	1.1	19.5	-
	社会人 (n=477)	33.5	48.2	16.8	24.9	2.3	16.4	4.8
	その他 (n=21)	33.3	42.9	-	23.8	4.8	19.0	4.8

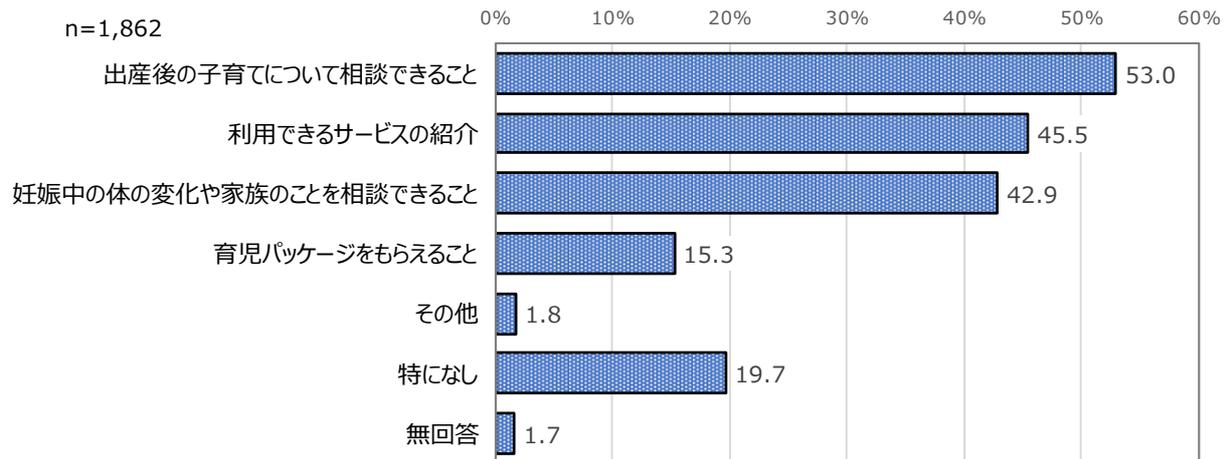
注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

(2) 「妊婦面接」に期待すること

問 18 今年度からすべての妊婦の方を対象とした保健師による面接を始めています。「妊婦面接」にどのようなことを期待しますか。(答はいくつでも)

「出産後の子育てについて相談できること」が 53.0%で最も高い。次いで、「利用できるサービスの紹介」(45.5%)、「妊娠中の体の変化や家族のことを相談できること」(42.9%)が高い。

図Ⅲ-7-2 「妊婦面接」に期待すること



【その他の回答】

妊婦だけでなく家族との面接／男性に向けた指導、虐待防止対策（情報収集、相談窓口、児童相談所等との連携）、LINE 等で相談、経験者による面接、サポートの充実、体だけでなく環境も配慮、経済的な面やその他必要な情報の提供 など

【年齢別】

20代・30代はいずれの項目も高いが、特に「出産後の子育てについて相談できること」はどちらの年代も6割前後で1位に挙げられている。次いで、20代は「妊娠中の体の変化や家族のことを相談できること」が5割強、30代は「利用できるサービスの紹介」が5割半ばである。

表Ⅲ-7-3 「妊婦面接」に期待すること(年齢別)

	妊娠中の体の 変化や家族のこ とを相談できるこ と	出産後の子育 てについて相談 できること	利用できるサー ビスの紹介	育児パッケージ をもらえること	その他	特になし	無回答
全 体 (n=1862)	42.9	53.0	45.5	15.3	1.8	19.7	1.7
18歳・19歳 (n=14)	<u>28.6</u>	<u>35.7</u>	<u>7.1</u>	<u>7.1</u>	-	50.0	-
20代 (n=146)	51.4	58.9	41.1	20.5	1.4	<u>10.3</u>	-
30代 (n=328)	45.4	60.4	54.3	24.1	2.4	<u>10.7</u>	-
40代 (n=395)	43.8	54.2	46.8	19.0	1.8	18.5	-
50代 (n=460)	39.8	48.3	42.2	12.6	2.2	25.9	-
60代 (n=327)	41.9	<u>47.7</u>	42.2	<u>9.2</u>	0.6	26.6	2.1
70歳以上 (n=189)	40.2	55.0	47.6	<u>6.3</u>	2.1	15.9	11.6

注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、 は全体より5ポイント以上低いことを示す。

【子どもの有無別・長子の年齢別】

子どもの有無別にみると、子どもが「いる」層は「出産後の子育てについて相談できること」が6割弱、「利用できるサービスの紹介」がほぼ5割である。

長子の年齢別にみると、「出産後の子育てについて相談できること」はその他を除く全ての層で5割を超え、特に「4歳未満」と「4歳～小学校就学前」は7割前後に達する。「利用できるサービスの紹介」も「4歳未満」と「4歳～小学校就学前」が6割弱と高い。「育児パッケージをもらえること」は「4歳未満」～「小学生」が高いが、特に「4歳未満」が他層に比べ顕著に高い。

表Ⅲ-7-4 「妊婦面接」に期待すること(子どもの有無別・長子の年齢別)

		(%)						
		妊娠中の体 の変化や家 族のことを相 談できること	出産後の子 育てについて 相談できるこ と	利用できる サービスの紹 介	育児パッケー ジをもらえる こと	その他	特になし	無回答
全 体 (n=1862)		42.9	53.0	45.5	15.3	1.8	19.7	1.7
子ども 有無	いる (n=1020)	44.9	58.7	49.8	16.5	2.4	<u>12.2</u>	2.6
	いない (n=842)	40.4	<u>46.0</u>	<u>40.3</u>	13.9	1.1	28.7	0.5
長 子 の 年 齢	4歳未満 (n=118)	50.8	68.6	58.5	36.4	3.4	<u>3.4</u>	-
	4歳～小学校就学前 (n=70)	<u>37.1</u>	71.4	57.1	27.1	1.4	<u>4.3</u>	-
	小学生 (n=134)	50.7	66.4	52.2	23.1	3.7	<u>6.0</u>	-
	中学生 (n=50)	46.0	54.0	42.0	12.0	2.0	<u>6.0</u>	-
	高校生・高専生 (n=62)	53.2	66.1	45.2	16.1	3.2	<u>6.5</u>	-
	大学生・短大生・専門学校生・大学院生(n=87)	44.8	52.9	41.4	<u>8.0</u>	3.4	18.4	-
	社会人 (n=477)	41.9	53.5	48.4	<u>9.9</u>	1.7	16.8	5.2
	その他 (n=21)	42.9	<u>47.6</u>	61.9	23.8	-	28.6	4.8

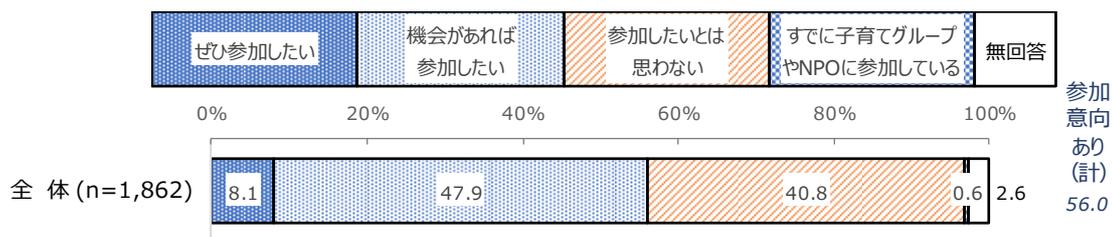
注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

(3) 地域の子育てへの参加意向

問 19 「渋谷区子育てネウボラ」では、「妊娠から出産、子育てを通じて家族みんながいつでも相談できる場をつくる。子育てを通じて、出会う、集う、語る、つながる。そして地域みんなで子どもを育てる。」ことを目指しています。あなたも地域の子育てに参加したいと思いますか。(答は1つ)

「機会があれば参加したい」が 47.9%で最も高い。「参加意向あり(計)」「ぜひ参加したい」+「機会があれば参加したい」)は 56.0%である。一方、「参加したいとは思わない」は 40.8%である。

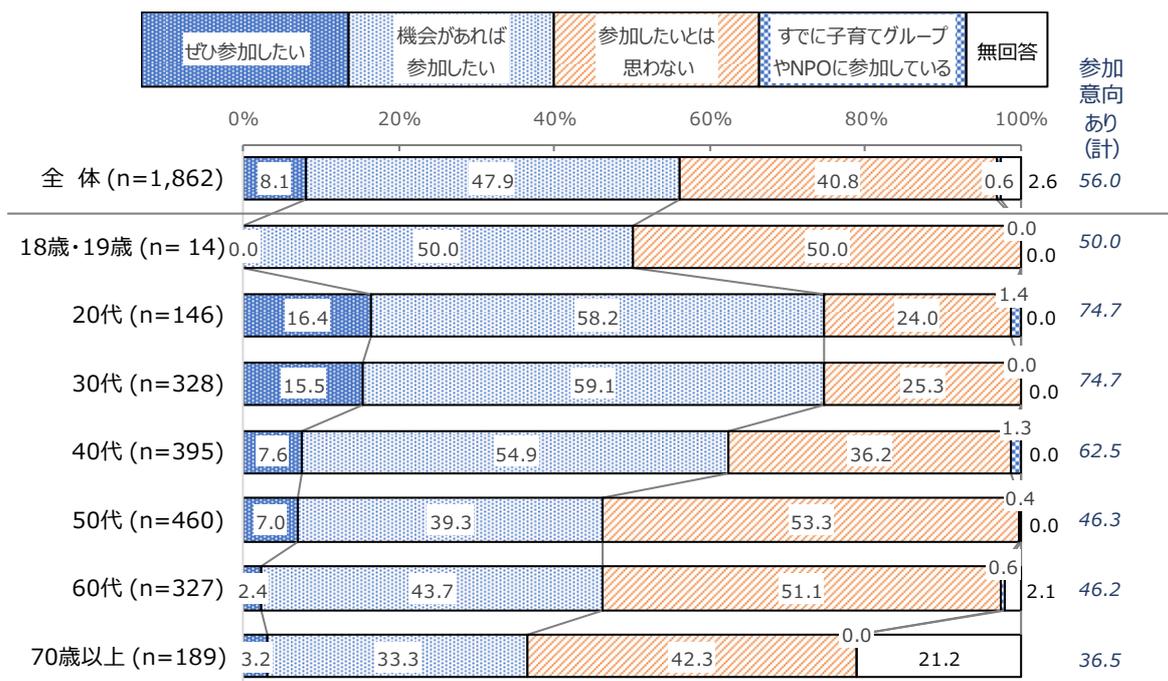
図Ⅲ-7-3 地域の子育てへの参加意向



【年齢別】

18・19歳を除くと、年代が下がるにつれ、参加意向は高くなる傾向にあり、「参加意向あり(計)」は40代で6割を超え、20代・30代は7割半ばを占める。

図Ⅲ-7-4 地域の子育てへの参加意向(年齢別)

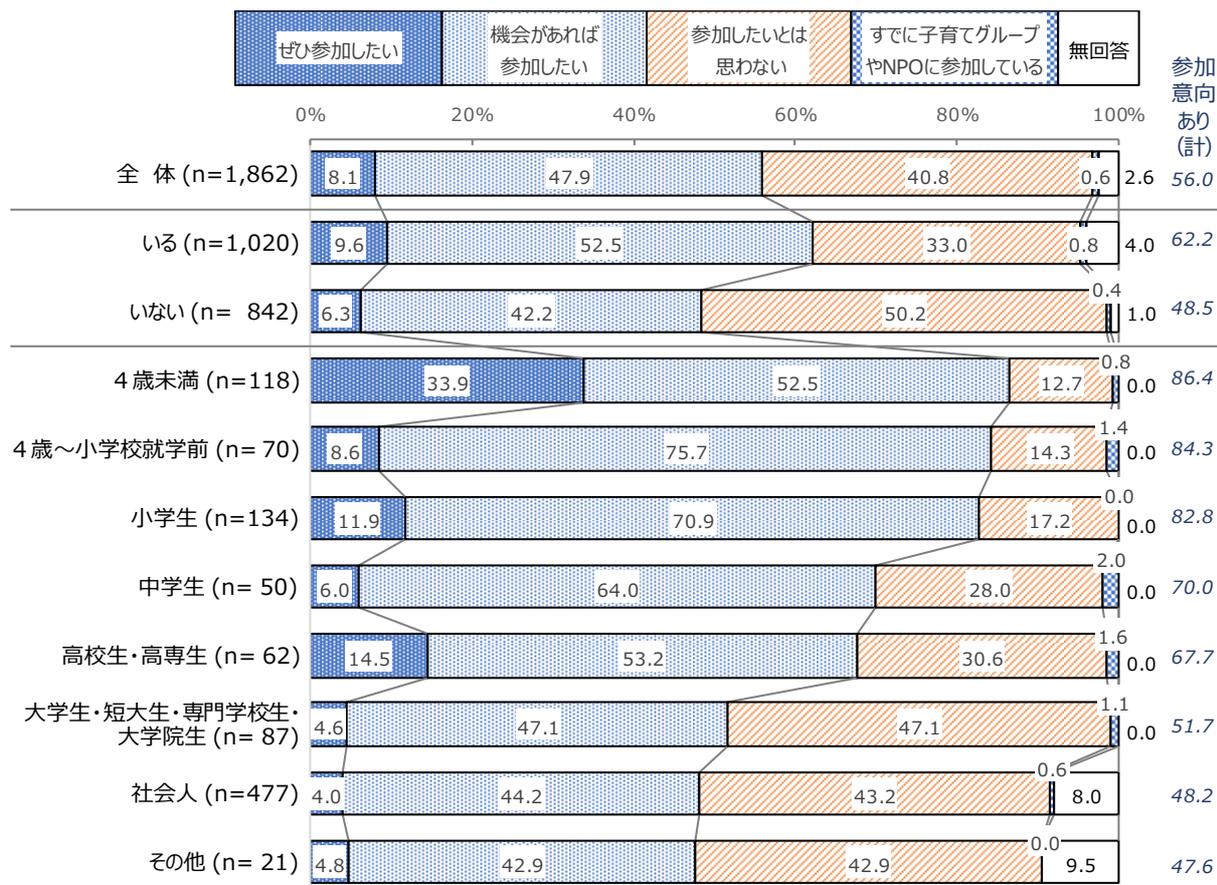


【子どもの有無別・長子の年齢別】

子どもの有無別にみると、子どもが「いる」層の「参加意向あり(計)」は6割を超えるが、「いない」層は5割弱にとどまっている。

長子の年齢別にみると、長子の年齢が低いほど「参加意向あり(計)」は高くなる傾向にあり、「小学生」以下は8割を超える。「4歳未満」は「ぜひ参加したい」も3割を超えており、参加意向が非常に高い。

図Ⅲ-7-5 地域の子育てへの参加意向(子どもの有無別・長子の年齢別)



8. 町会・自治会について

(1) 近所付き合いの望ましい姿

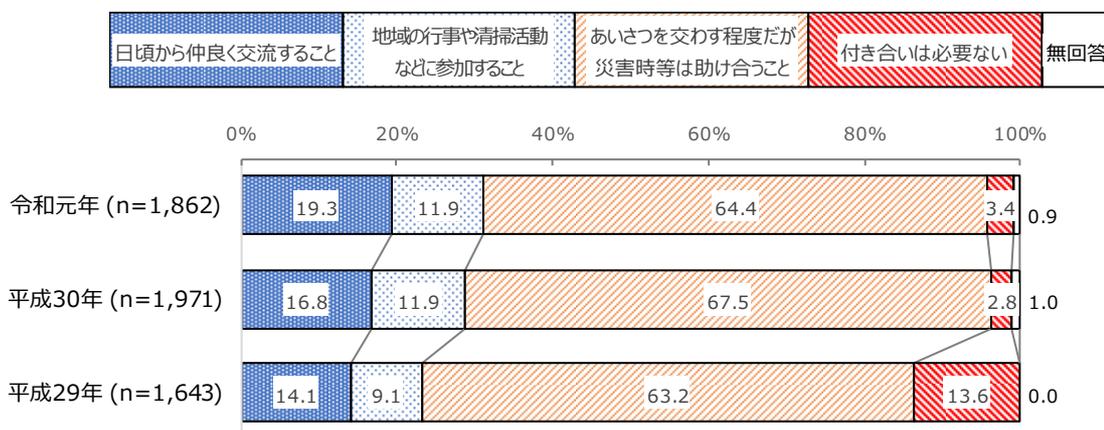
問 20 あなたの考える近所付き合いはどのようなものですか。(答は1つ)

※あてはまるものが無い人も、選択肢の中から比較して最もお気持ちに近いものをお選びください。

「あいさつを交わす程度だが災害時等は助け合うこと」が 64.4%で最も高い。次いで、「日頃から仲良く交流すること」(19.3%)、「地域の行事や清掃活動などに参加すること」(11.9%)である。「付き合いは必要ない」はわずか 3.4%である。

平成 29 年及び 30 年調査と比較すると、「日頃から仲良く交流すること」はわずかではあるが年々高くなる傾向がみられる。

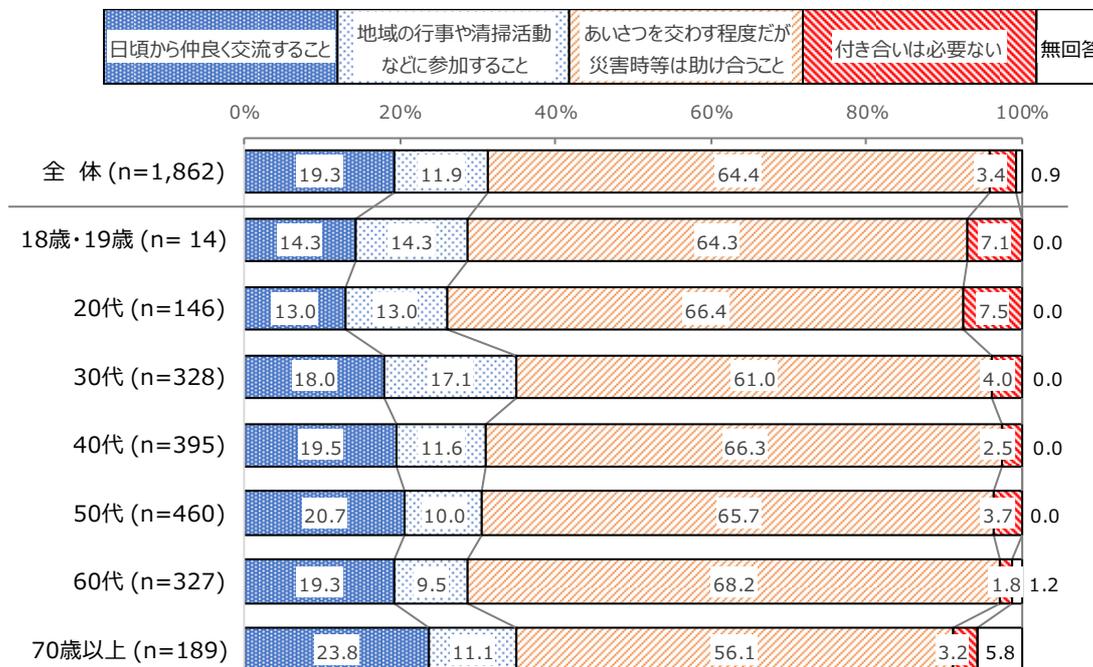
図Ⅲ-8-1 近所付き合いの望ましい姿



【年齢別】

30代以上に比べると20代は「日頃から仲良く交流すること」が13.0%でやや低く、「付き合いは必要ない」が7.5%でやや高く、密な近所付き合いはあまり望んでいないことがうかがえる。

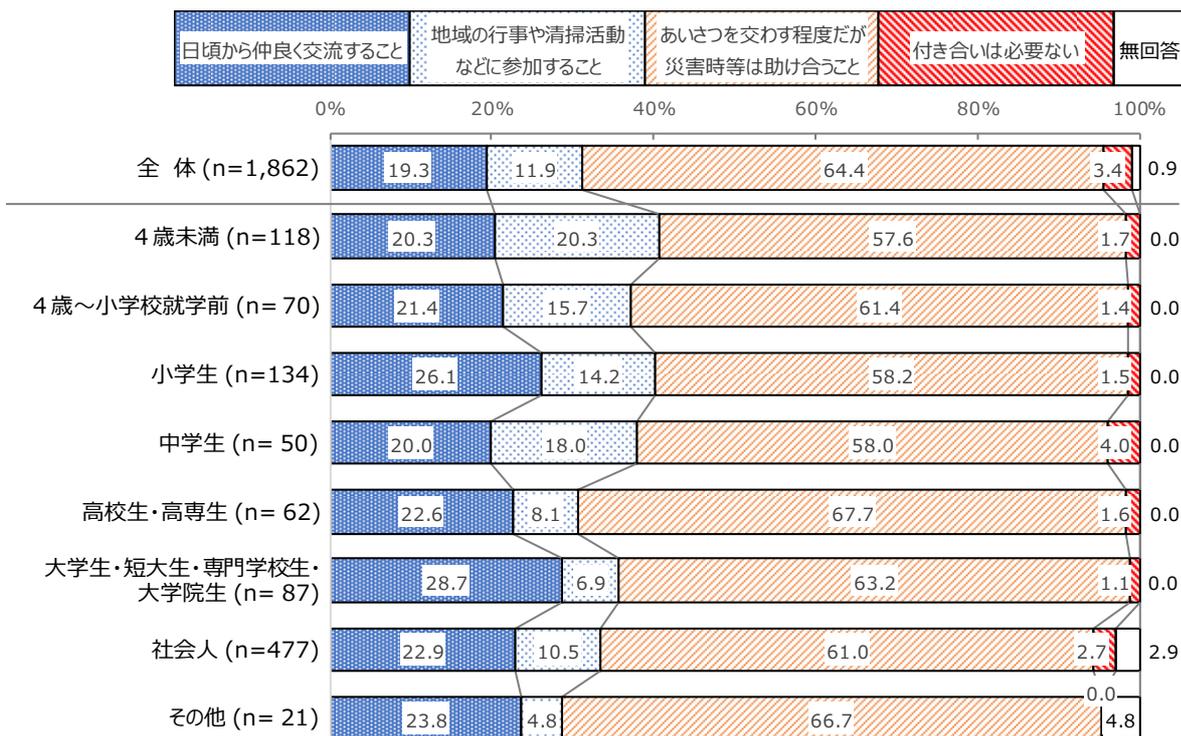
図Ⅲ-8-2 近所付き合いの望ましい姿(年齢別)



【長子年齢別】

「日頃から仲良く交流すること」はいずれの層も2割を超えている。「地域の行事や清掃活動などに参加すること」は「4歳未満」～「中学生」でやや高く、1割半ば～約2割を占める。

図Ⅲ-8-3 近所付き合いの望ましい姿(長子年齢別)

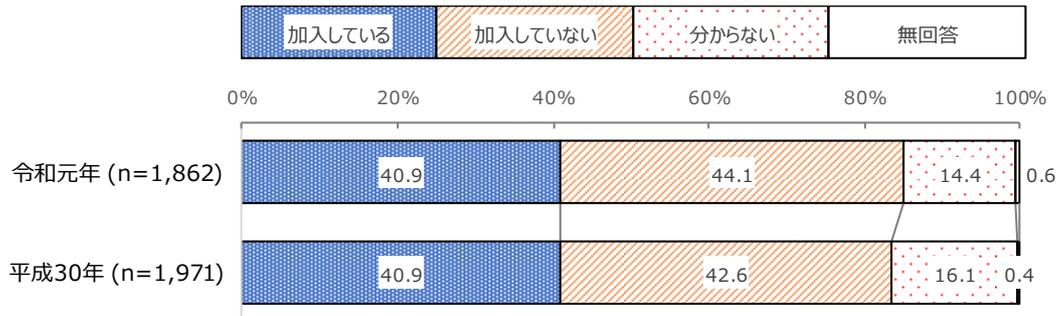


(2) 町会・自治会の加入状況

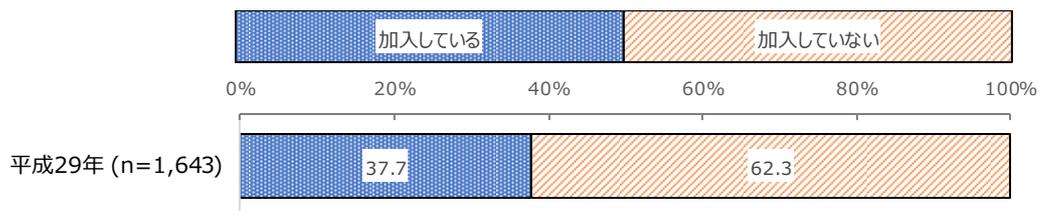
問 21 あなたは、町会・自治会に加入していますか。(答は1つ)

「加入していない」が44.1%、「加入している」が40.9%、「分からない」が14.4%である。
平成30年調査と比較すると、傾向はほぼ同じである。

図Ⅲ-8-4 町会・自治会の加入状況



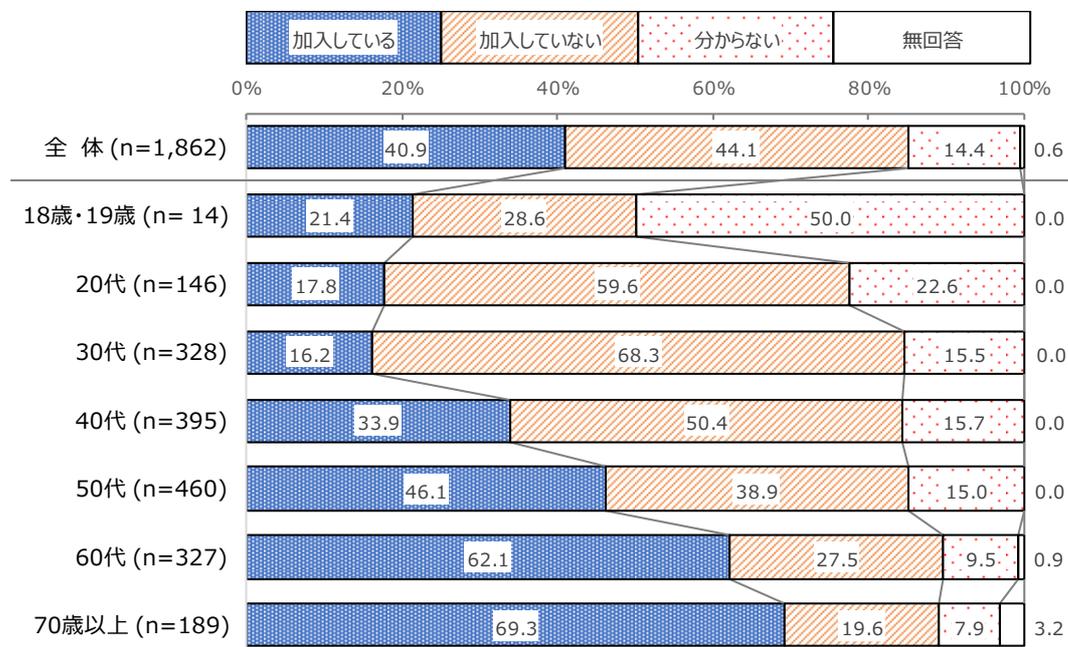
<参考資料>平成29年調査 町会・自治会の加入状況



【年齢別】

30代以降は、年代が上がるにつれ加入率は高くなっている。20代・30代は2割未満にとどまり、60代以上は6割を超える。

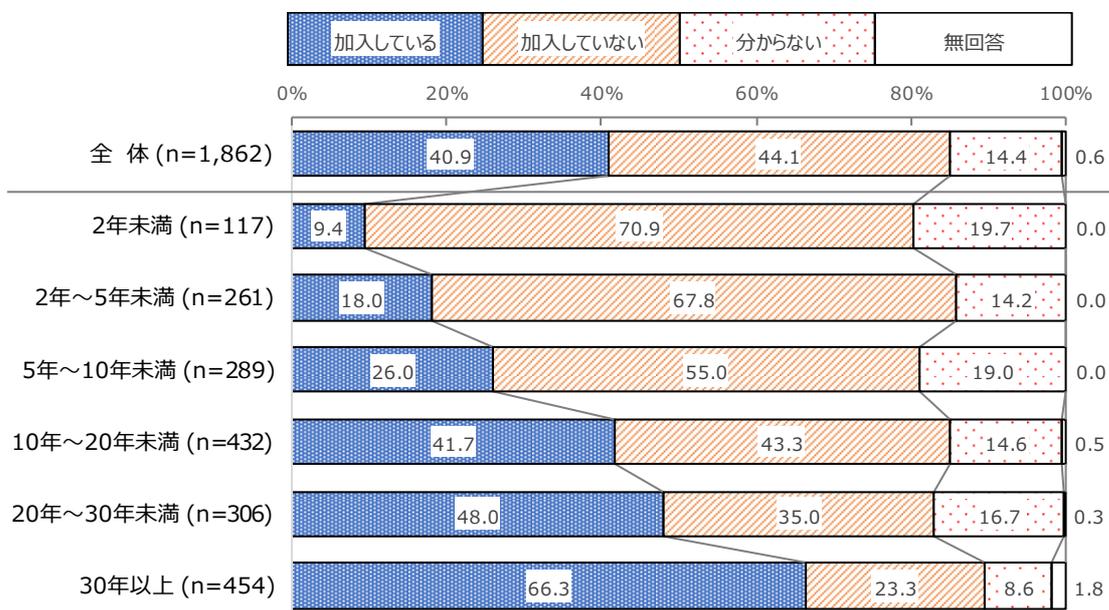
図Ⅲ-8-5 町会・自治会の加入状況(年齢別)



【居住年数別】

居住年数が長くなるにつれ、加入率は高くなっている。居住年数「2年未満」の加入率はわずか9.4%であるのに対し、「30年以上」は66.3%に達する。

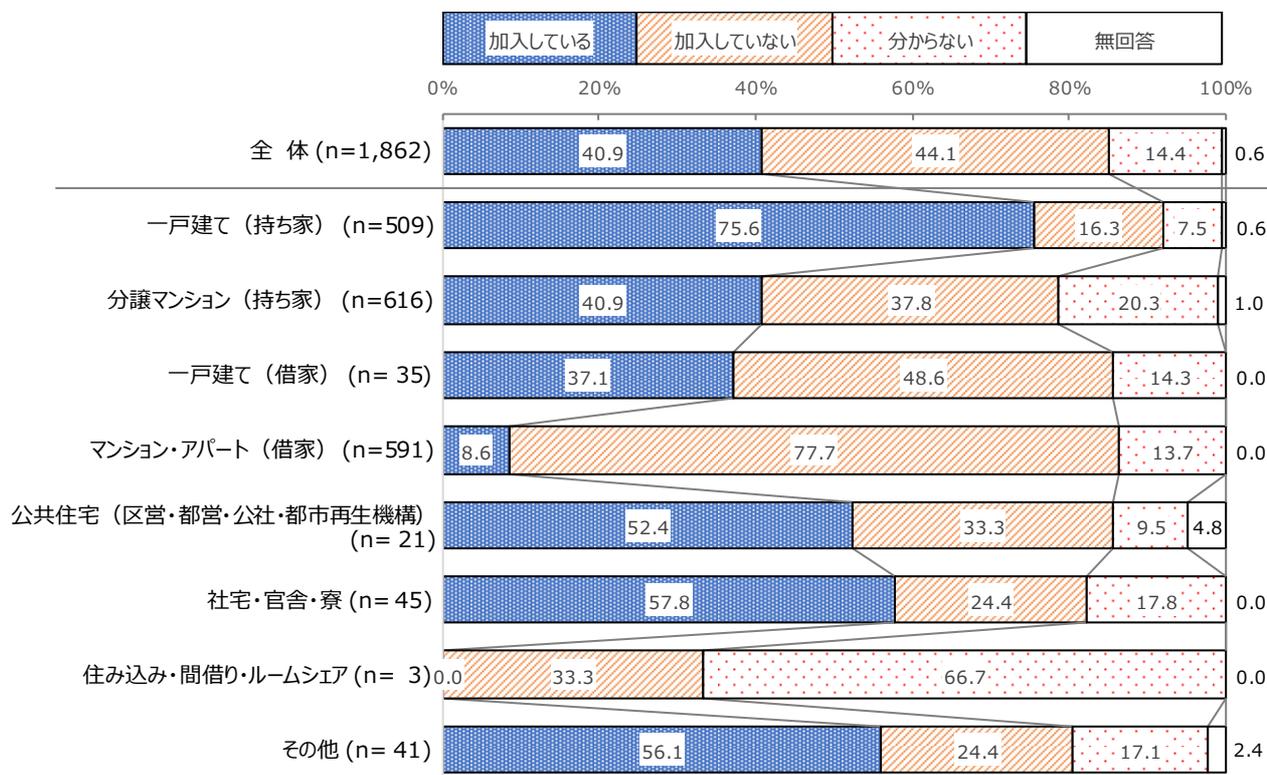
図Ⅲ-8-6 町会・自治会の加入状況(居住年数別)



【住居形態別】

加入率が最も高いのは「一戸建て(持ち家)」の75.6%である。「分譲マンション(持ち家)」と「一戸建て(借家)」の加入率は4割前後で、「一戸建て(持ち家)」の半数程度である。「マンション・アパート(借家)」の加入率はわずか8.6%である。

図Ⅲ-8-7 町会・自治会の加入状況(住居形態別)



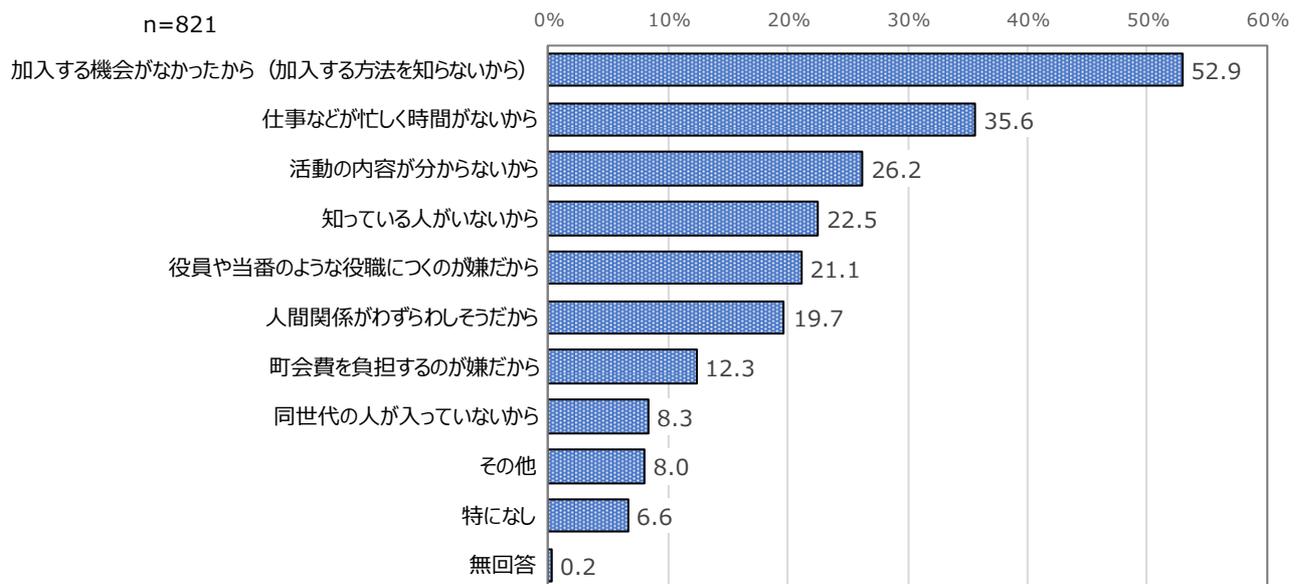
(3) 町会・自治会の未加入理由

問 21-1 加入していない理由は何ですか。(答はいくつでも) [問 21 で「加入していない」と回答した方対象]

「加入する機会がなかったから(加入する方法を知らないから)」が 52.9%で最も高い。以下、「仕事などが忙しく時間がないから」(35.6%)、「活動の内容が分からないから」(26.2%)などが続く。

平成 30 年調査は最大回答数が異なるが、上位2位は同じである。

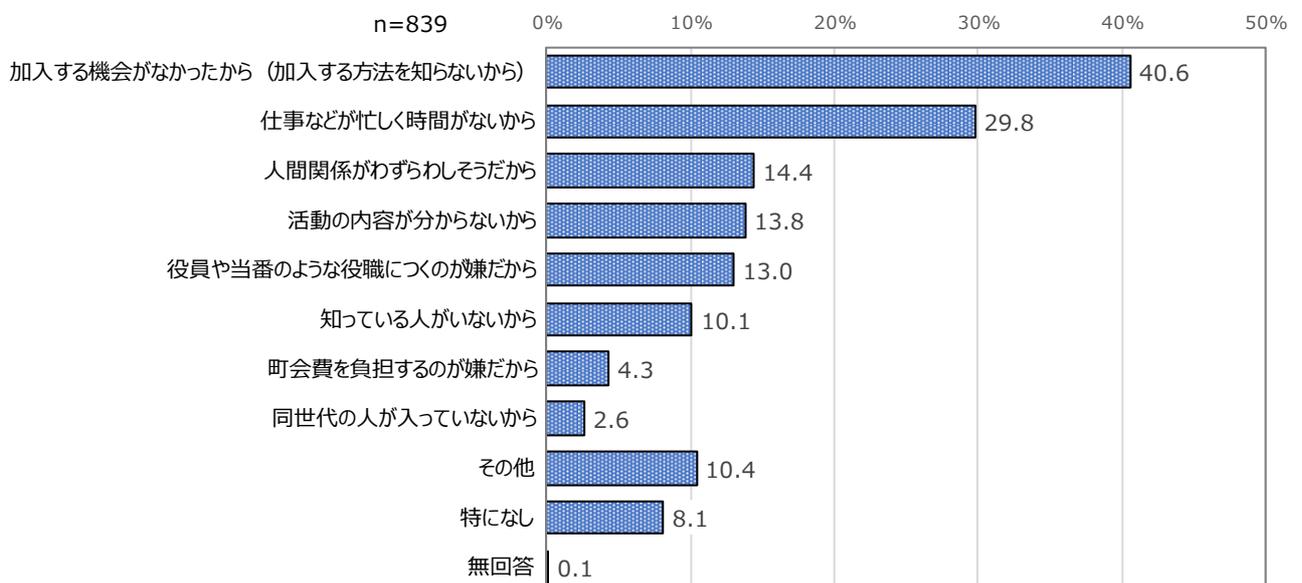
図Ⅲ-8-8 町会・自治会の未加入理由



[その他の回答]

マンション・賃貸だから、必要性を感じない、町会費の使途が公開されていない、家族・親族が加入している、存在を知らない、転居予定があるため、賃貸なので、興味がない、意味がない、時代に即していない など

<参考資料>平成 30 年調査 町会・自治会の未加入理由(答は2つまで)



【年齢別】

「加入する機会がなかったから(加入する方法を知らないから)」は20～50代が5割を超えており、特に30代と40代は6割前後と高い。「仕事などが忙しく時間がないから」は20～60代の各年代とも3割半ばである。「知っている人がいないから」は年代が下がるにつれ高くなっており、20代はほぼ3割である。「同世代の人が入っていないから」も20代は23.0%で、他の年代より倍以上高い。

表Ⅲ-8-1 町会・自治会の未加入理由(年齢別)

	仕事などが忙しく時間がないから	知っている人がいないから	同世代の人が入っていないから	人間関係がわづらわしうだから	活動の内容が分からないから	役員や当番のような役職につくのが嫌だから	町会費を負担するのが嫌だから	加入する機会がなかったから(加入する方法を知らないから)	その他	特になし	無回答
全体 (n=821)	35.6	22.5	8.3	19.7	26.2	21.1	12.3	52.9	8.0	6.6	0.2
18歳・19歳 (n= 4)	<u>25.0</u>	-	-	-	-	-	-	<u>25.0</u>	25.0	25.0	-
20代 (n= 87)	35.6	29.9	23.0	23.0	25.3	23.0	17.2	54.0	4.6	9.2	-
30代 (n=224)	37.1	27.2	9.8	19.2	31.3	26.8	18.8	59.4	4.0	5.8	-
40代 (n=199)	36.7	23.1	7.0	20.1	28.6	20.6	14.1	60.8	7.0	4.0	-
50代 (n=179)	37.4	17.9	5.6	20.7	22.9	19.0	<u>7.3</u>	52.5	8.4	7.3	-
60代 (n= 90)	35.6	<u>16.7</u>	<u>2.2</u>	16.7	22.2	20.0	<u>3.3</u>	<u>23.3</u>	16.7	8.9	-
70歳以上 (n= 37)	<u>13.5</u>	<u>10.8</u>	-	18.9	<u>10.8</u>	-	-	<u>45.9</u>	21.6	8.1	5.4

注) 表中の **■** は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

【居住年数別】

「加入する機会がなかったから(加入する方法を知らないから)」は居住年数「20年～30年未満」と「30年以上」が低く、「2～5年未満」と「5年～10年未満」が6割前後と高い。「30年以上」は「仕事などが忙しく時間がないから」(43.4%)が未加入理由の第1位である。「知っている人がいないから」は居住年数が短いほど高くなる傾向にあり、「2～5年未満」と「2年未満」は3割前後である。

表Ⅲ-8-2 町会・自治会の未加入理由(居住年数別)

	仕事などが忙しく時間がないから	知っている人がいないから	同世代の人が入っていないから	人間関係がわづらわしうだから	活動の内容が分からないから	役員や当番のような役職につくのが嫌だから	町会費を負担するのが嫌だから	加入する機会がなかったから(加入する方法を知らないから)	その他	特になし	無回答
全体 (n=821)	35.6	22.5	8.3	19.7	26.2	21.1	12.3	52.9	8.0	6.6	0.2
2年未満 (n= 83)	37.3	31.3	9.6	21.7	26.5	18.1	18.1	55.4	4.8	2.4	-
2年～5年未満 (n=177)	33.9	27.7	10.7	19.2	26.0	23.7	14.7	58.2	5.6	5.6	-
5年～10年未満 (n=159)	35.8	21.4	9.4	17.6	30.8	23.3	10.7	60.4	3.8	4.4	-
10年～20年未満 (n=187)	34.2	21.4	8.6	16.6	26.7	20.9	13.9	56.7	7.5	8.0	-
20年～30年未満 (n=107)	31.8	17.8	5.6	20.6	21.5	20.6	7.5	<u>45.8</u>	11.2	12.1	1.9
30年以上 (n=106)	43.4	<u>16.0</u>	3.8	26.4	23.6	<u>16.0</u>	8.5	<u>32.1</u>	17.9	6.6	-

注) 表中の **■** は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

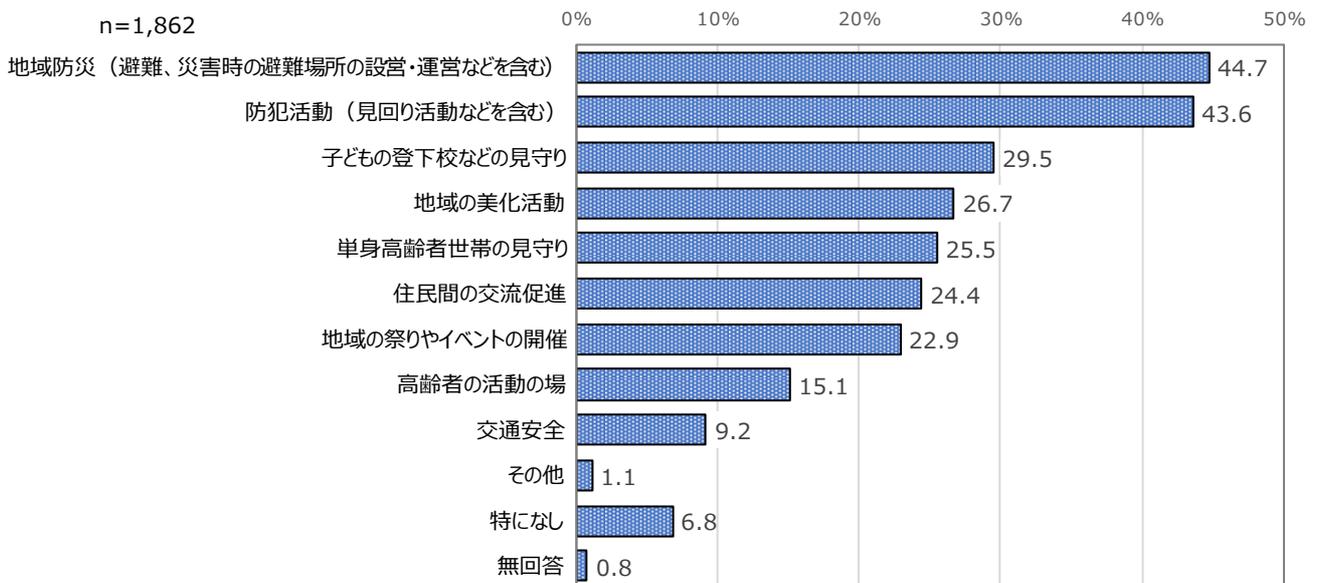
(4) 町会・自治会へ期待する役割

問 22 町会・自治会の役割としてどのようなことを期待しますか。(答は3つまで)

「地域防災(避難、災害時の避難場所の設営・運営などを含む)」(44.7%)や「防犯活動(見回り活動などを含む)」(43.6%)が高く、防災・防犯への期待が高いことがわかる。

平成 30 年調査は最大回答数が異なるが、傾向は概ね同じであり、上位2位は今年と同じである。

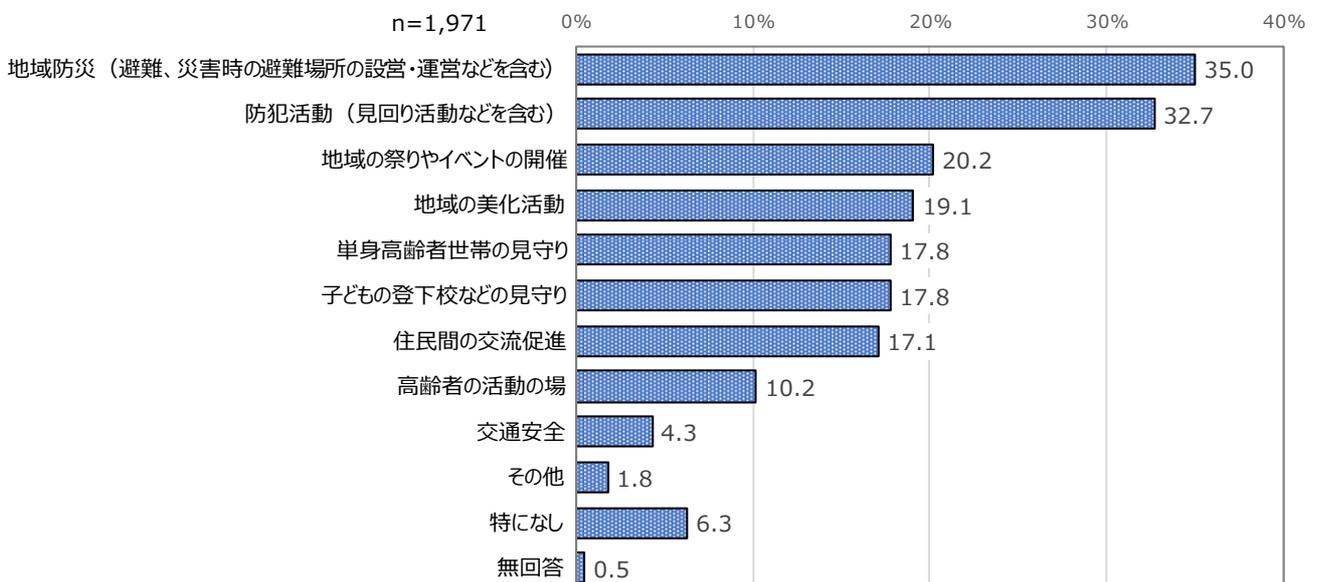
図Ⅲ-8-9 町会・自治会へ期待する役割



[その他の回答]

交流の場 (高齢者と子ども、子ども同士、若者だけ)、障がい者支援、情報提供、透明化、差別をなくす、住環境・騒音対策 など

<参考資料>平成 30 年調査 町会・自治会へ期待する役割(答は2つまで)



【年齢別】

「地域防災」は60代と70歳以上が5割前後で、若年層より中高年層の方が比較的高い。「単身高齢者世帯の見守り」も同様に中高年層が高くなっている。「子どもの登下校などの見守り」は20～40代が高く、子どもを持つ世代の要望が高い。「防犯活動」は30～60代が高く、4割半ばである。

表Ⅲ-8-3 町会・自治会へ期待する役割(年齢別)

(%)

	高齢者の活動の場	住民間の交流促進	単身高齢者世帯の見守り	防犯活動	子どもの登下校などの見守り	地域の美化活動	地域防災	交通安全	地域の祭りやイベントの開催	その他	特になし	無回答
全体 (n=1,862)	15.1	24.4	25.5	43.6	29.5	26.7	44.7	9.2	22.9	1.1	6.8	0.8
18歳・19歳 (n=14)	<u>7.1</u>	21.4	21.4	50.0	28.6	35.7	50.0	21.4	21.4	-	7.1	-
20代 (n=146)	13.0	26.0	<u>13.0</u>	<u>34.2</u>	36.3	29.5	<u>35.6</u>	19.2	21.9	1.4	8.9	-
30代 (n=328)	10.7	20.4	<u>18.6</u>	44.5	43.6	25.3	<u>38.4</u>	10.4	29.3	0.6	9.8	-
40代 (n=395)	14.2	24.8	21.5	43.8	33.9	24.6	44.3	11.4	25.8	1.8	6.8	-
50代 (n=460)	19.3	24.1	31.7	45.4	<u>23.7</u>	29.1	43.9	<u>3.9</u>	22.8	1.5	4.6	-
60代 (n=327)	15.6	24.2	30.3	47.7	<u>21.4</u>	25.4	53.8	7.3	19.6	0.6	5.8	1.5
70歳以上 (n=189)	15.9	30.7	32.3	<u>37.0</u>	<u>19.0</u>	27.5	49.7	10.1	<u>12.7</u>	0.5	7.4	3.7

注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

【居住年数別】

「地域防災」は居住年数10年未満と10年以上で差があり、10年以上では4割半ば～約5割に達する。「防犯活動」は各居住年数とも4割を超える。「子どもの登下校などの見守り」は10年未満が比較的高く、特に「5年～10年未満」は4割を超える。

表Ⅲ-8-4 町会・自治会へ期待する役割(居住年数別)

(%)

	高齢者の活動の場	住民間の交流促進	単身高齢者世帯の見守り	防犯活動	子どもの登下校などの見守り	地域の美化活動	地域防災	交通安全	地域の祭りやイベントの開催	その他	特になし	無回答
全体 (n=1,862)	15.1	24.4	25.5	43.6	29.5	26.7	44.7	9.2	22.9	1.1	6.8	0.8
2年未満 (n=117)	12.8	27.4	<u>15.4</u>	42.7	30.8	23.9	41.9	12.0	25.6	-	7.7	-
2年～5年未満 (n=261)	13.0	24.9	<u>18.4</u>	40.6	31.0	28.4	<u>36.8</u>	11.5	24.5	0.4	10.3	-
5年～10年未満 (n=289)	11.1	25.6	21.8	41.2	42.9	25.3	41.9	8.7	25.6	1.0	5.5	-
10年～20年未満 (n=432)	14.8	<u>19.2</u>	28.0	43.3	26.9	26.9	45.1	8.8	25.2	2.1	7.2	0.5
20年～30年未満 (n=306)	18.6	25.8	29.4	45.8	26.8	30.1	46.7	5.2	19.6	1.3	5.6	1.0
30年以上 (n=454)	17.6	26.4	29.7	45.6	<u>24.2</u>	24.9	49.8	10.6	19.8	0.9	5.7	2.0

注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

【町会・自治会加入有無別】

「加入している」層は第1位が「地域防災」(50.0%)、第2位が「防犯活動」(45.5%)、第3位が「住民間の交流促進」(29.7%)、第4位が「子どもの登下校などの見守り」(28.5%)であり、「地域防災」と「住民間の交流促進」は「加入していない／分からない」層との差が大きい。「加入していない／分からない」層は第1位が「防犯活動」(41.0%)、第2位が「地域防災」(38.1%)、第3位が「子どもの登下校などの見守り」(31.8%)、第4位が「地域の美化活動」(27.2%)である。

表Ⅲ-8-5 町会・自治会へ期待する役割(町会・自治会加入有無別)

	(%)											
	高齢者の活動の場	住民間の交流促進	単身高齢者世帯の見守り	防犯活動	子どもの登下校などの見守り	地域の美化活動	地域防災	交通安全	地域の祭りやイベントの開催	その他	特になし	無回答
全 体 (n=1,862)	15.1	24.4	25.5	43.6	29.5	26.7	44.7	9.2	22.9	1.1	6.8	0.8
加入している (n= 762)	14.6	29.7	26.6	45.5	28.5	24.9	50.0	7.5	24.3	1.7	4.3	0.3
加入していない/分からない (n= 821)	16.6	21.0	23.3	41.0	31.8	27.2	<u>38.1</u>	11.4	22.4	0.7	8.9	0.4

注) 表中の ■ は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

9. 広報紙「しぶや区ニュース」について

(1) 広報紙「しぶや区ニュース」の閲読状況

問 23 あなたは、広報紙「しぶや区ニュース」を読んでいますか。(答は1つ)

「ときどき読む」が 47.0%、「毎号読む」が 43.8%、「読まない」が 8.7%である。「読む(計)」「(「毎号読む」+「ときどき読む」)は 90.8%を占める。

平成 29 年及び 30 年調査と比較すると、閲読率(「読む(計)」)は平成 30 年よりわずかに上がっており、年々高くなる傾向がみられる。

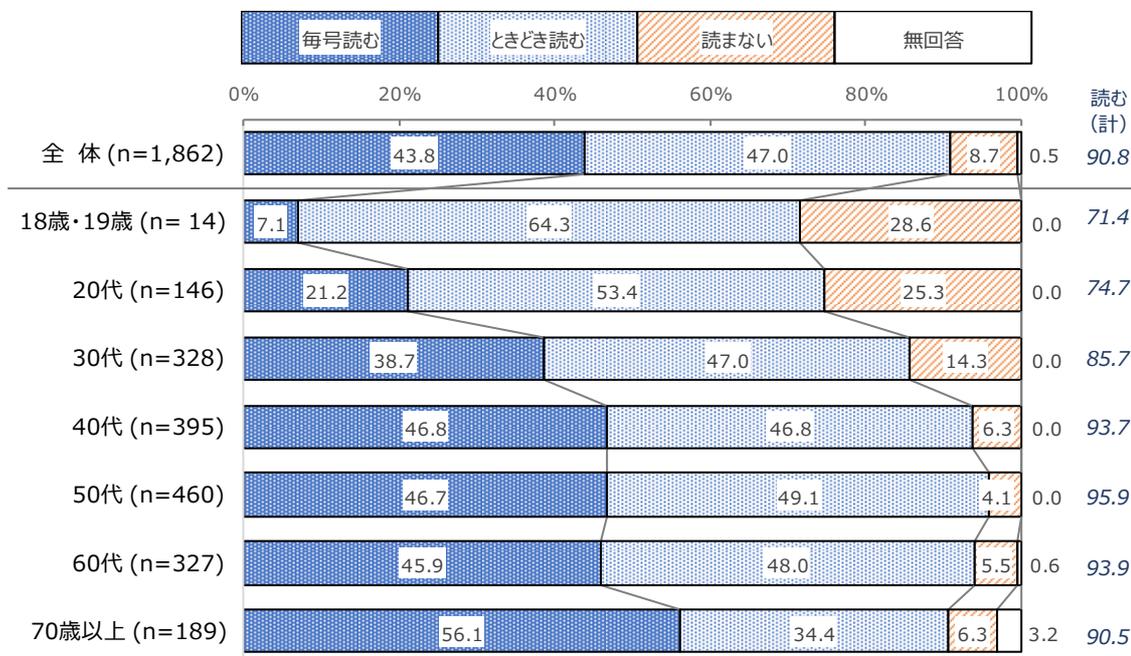
図Ⅲ-9-1 広報紙「しぶや区ニュース」の閲読状況



【年齢別】

30代以上は「毎号読む」が4割弱～5割半ばを占め、閲読率も8割半ば～9割半ばを占める。20代の閲読率は7割半ばで、「毎号読む」は21.2%にとどまっている。

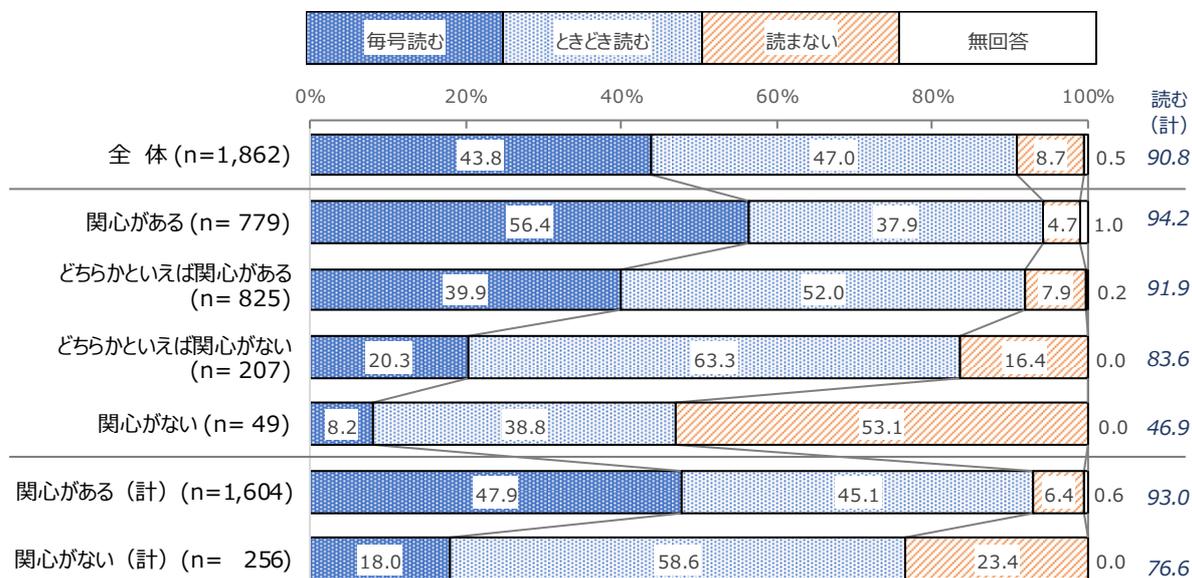
図Ⅲ-9-2 広報紙「しづや区ニュース」の閲読状況(年齢別)



【区政への関心度別】

区政に対する関心度が高いほど閲読率は高くなっている。「関心がある(計)」は「毎号読む」が47.9%と5割弱を占め、閲読率も93.0%に達するが、「関心がない(計)」は「毎号読む」が18.0%、閲読率は76.6%である。

図Ⅲ-9-3 広報紙「しづや区ニュース」の閲読状況(区政への関心度別)



(2) 広報紙「しぶや区ニュース」の評価

問 23-1 「しぶや区ニュース」をお読みになった感想を教えてください。(答はそれぞれ1つ) [問 23 で「毎号読む」「ときどき読む」と回答した方対象]

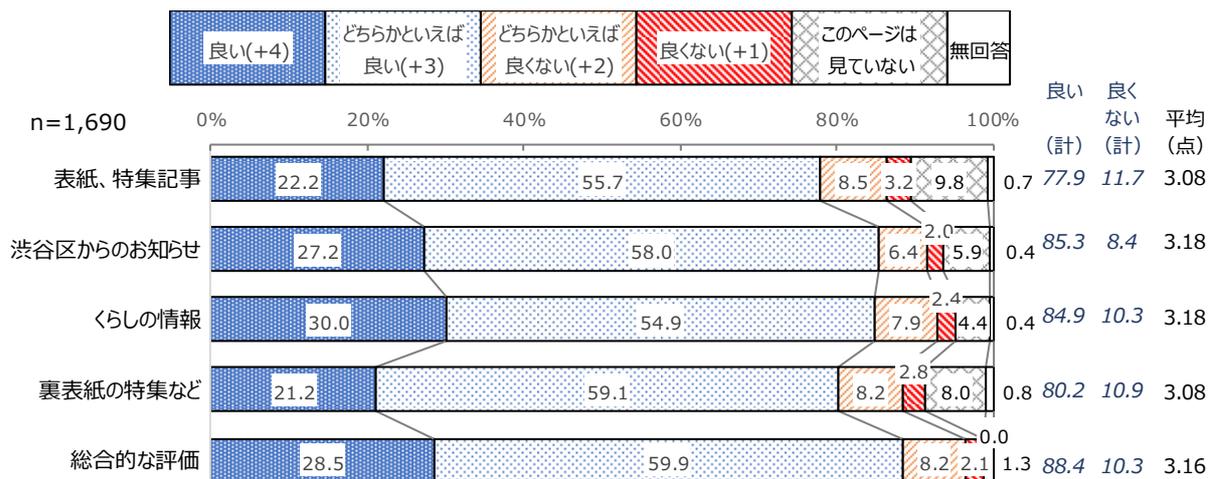
いずれの項目も「良い(計)」「良い」+「どちらかといえば良い」は8割弱～9割弱を占め、評価は非常に高い。総合的な評価の「良い(計)」は88.4%である。

各回答について以下のような点数を設定して平均点を算出したところ、「渋谷区からのお知らせ」と「くらしの情報」が3.18点で最も高い。

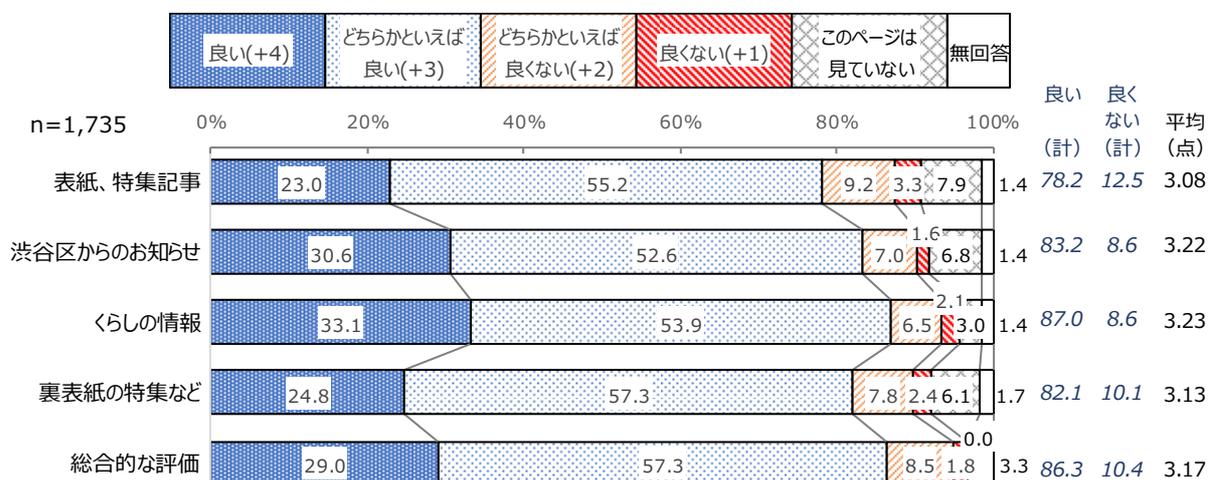
良い:4点	どちらかといえば良い:3点
どちらかといえば良くない:2点	良くない:1点

平成30年調査と比較すると、「くらしの情報」はわずかに評価が下がっているようにも見えるが大きな差はなく、総合的な評価はほぼ同じである。

図Ⅲ-9-4 広報紙「しぶや区ニュース」の評価



図Ⅲ-9-5 平成30年調査 広報紙「しぶや区ニュース」の評価

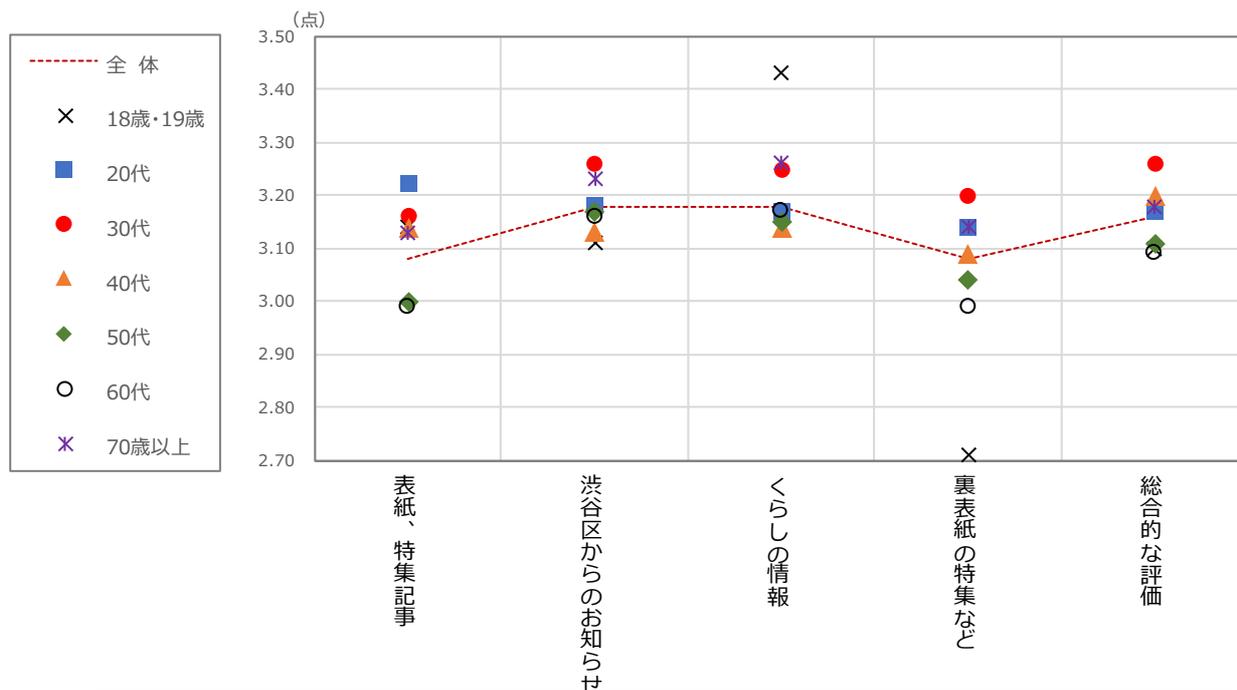


【年齢別】

各回答について前ページと同様の手法で平均点を算出した。

30代はいずれの項目も全体より明らかに評価が高い。20代は「表紙・特集記事」が3.22点で、他の年代より高い。「渋谷区からのお知らせ」と「くらしの情報」は30代と70歳以上の評価が高い。総合的な評価は30代が3.26点で最も高く、次に40代の3.20点である。

図Ⅲ-9-6 広報紙「しぶや区ニュース」の評価(年齢別)



全 体 (n=1,690)	3.08	3.18	3.18	3.08	3.16
18歳・19歳 (n=10)	3.14	3.11	3.43	2.71	3.10
20代 (n=109)	3.22	3.18	3.17	3.14	3.17
30代 (n=281)	3.16	3.26	3.25	3.20	3.26
40代 (n=370)	3.14	3.13	3.14	3.09	3.20
50代 (n=441)	3.00	3.17	3.15	3.04	3.11
60代 (n=307)	2.99	3.16	3.17	2.99	3.09
70歳以上 (n=171)	3.13	3.23	3.26	3.14	3.18

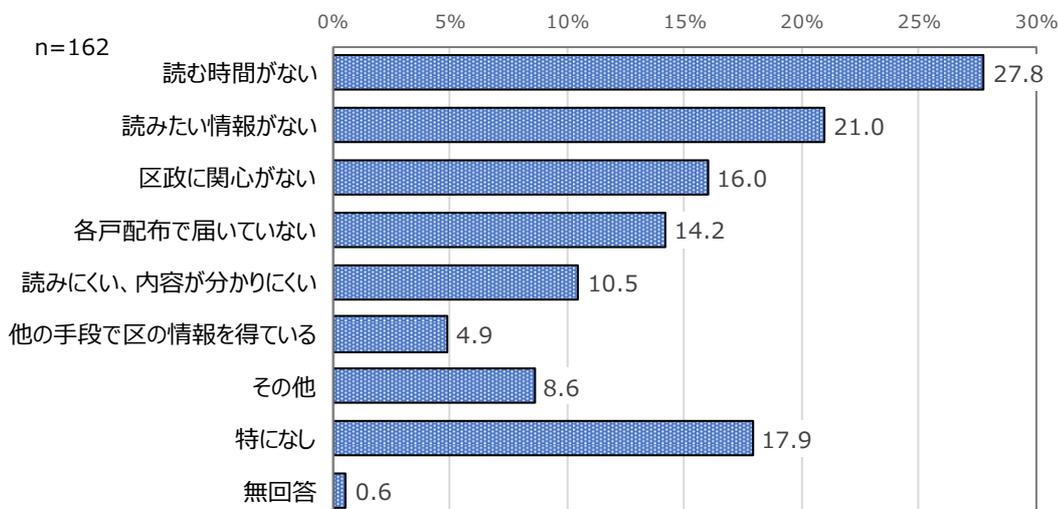
(3) 広報紙「しぶや区ニュース」の非閲読理由

問 23-2 「しぶや区ニュース」を読まない理由は何ですか。(答はいくつでも) [問 23 で「読まない」と回答した方対象]

「読む時間がない」が 27.8%で最も高く、以下、「読みたい情報がない」(21.0%)、「区政に関心がない」(16.0%)、「各戸配布で届いていない」(14.2%)などが続く。

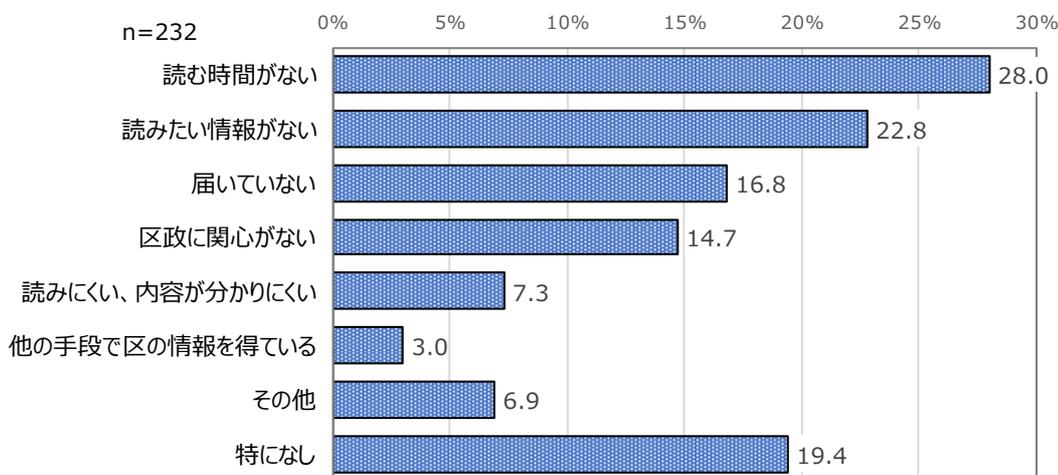
平成 30 年調査は選択肢が一部異なるなど直接的な比較は難しいが、傾向はほとんど同じである。

図Ⅲ-9-7 広報紙「しぶや区ニュース」の非閲読理由



[その他の回答]
紙の配布は無駄・煩わしい、オンラインが良い、紙は読む気がしない、日本語を読むのが難しい、目が悪くて読めない、知的障害者、家族に処分されている、気付かず捨てている、どこで配布されているかわからない、発行頻度が多すぎる

<参考資料> 平成 30 年調査 広報紙「しぶや区ニュース」の非閲読理由(答は2つまで)



【年齢別】

回答数が30以上の20代と30代についてみると、20代は「読む時間がない」が56.8%と高い。30代は「区政に関心がない」が1位で21.3%である。

表Ⅲ-9-1 広報紙「しぶや区ニュース」の非閲読理由(年齢別)

	各戸配布で届いていない	読みたい情報がない	読む時間がない	区政に関心がない	読みにくい、内容が分かりにくい	他の手段で区の情報を得ている	その他	特になし	無回答
全体 (n=162)	14.2	21.0	27.8	16.0	10.5	4.9	8.6	17.9	0.6
18歳・19歳 (n= 4)	25.0	-	75.0	25.0	-	-	-	25.0	-
20代 (n= 37)	<u>5.4</u>	21.6	56.8	18.9	10.8	2.7	<u>2.7</u>	18.9	-
30代 (n= 47)	17.0	19.1	<u>17.0</u>	21.3	10.6	6.4	10.6	17.0	-
40代 (n= 25)	16.0	28.0	24.0	<u>8.0</u>	8.0	8.0	8.0	<u>8.0</u>	-
50代 (n= 19)	<u>5.3</u>	<u>15.8</u>	<u>15.8</u>	-	10.5	-	15.8	36.8	-
60代 (n= 18)	16.7	27.8	<u>16.7</u>	22.2	16.7	5.6	16.7	<u>11.1</u>	-
70歳以上 (n= 12)	33.3	16.7	<u>8.3</u>	16.7	8.3	8.3	-	16.7	8.3

注) 表中の は全体より5ポイント以上高い、下線は全体より5ポイント以上低いことを示す。

10. コミュニティFM・SNSについて

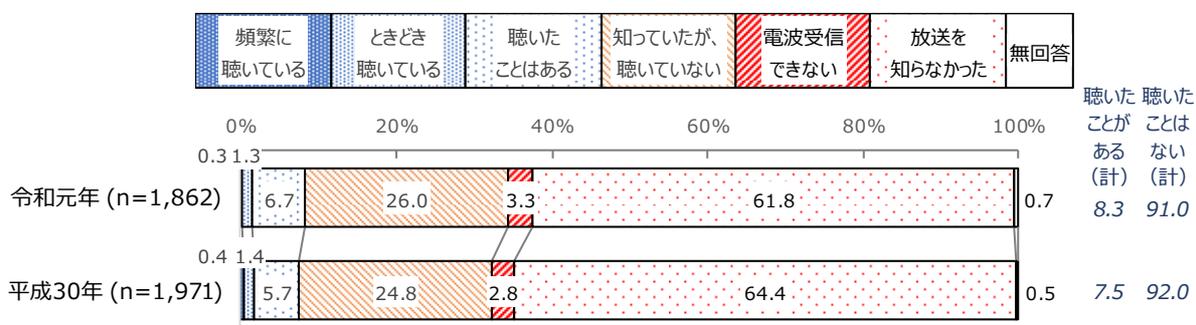
(1) 地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」の聴取状況

問 24 渋谷区内では、平成28年4月から地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」(87.6MHz)が放送を開始しましたが、聞いたことがありますか。(答は1つ)

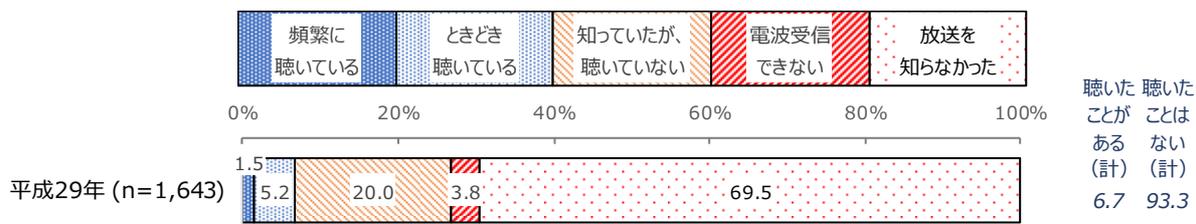
「放送を知らなかった」が61.8%で最も高い。「知っていたが、聴いていない」は26.0%である。一方、「聞いたことがある(計)」「頻繁に聴いている」+「ときどき聴いている」+「聴いたことはある」は8.3%である。

平成30年調査と比較すると、「放送を知らなかった」は平成30年に比べやや減っているが、全体の傾向はほとんど変わらない。

図Ⅲ-10-1 地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」の聴取状況



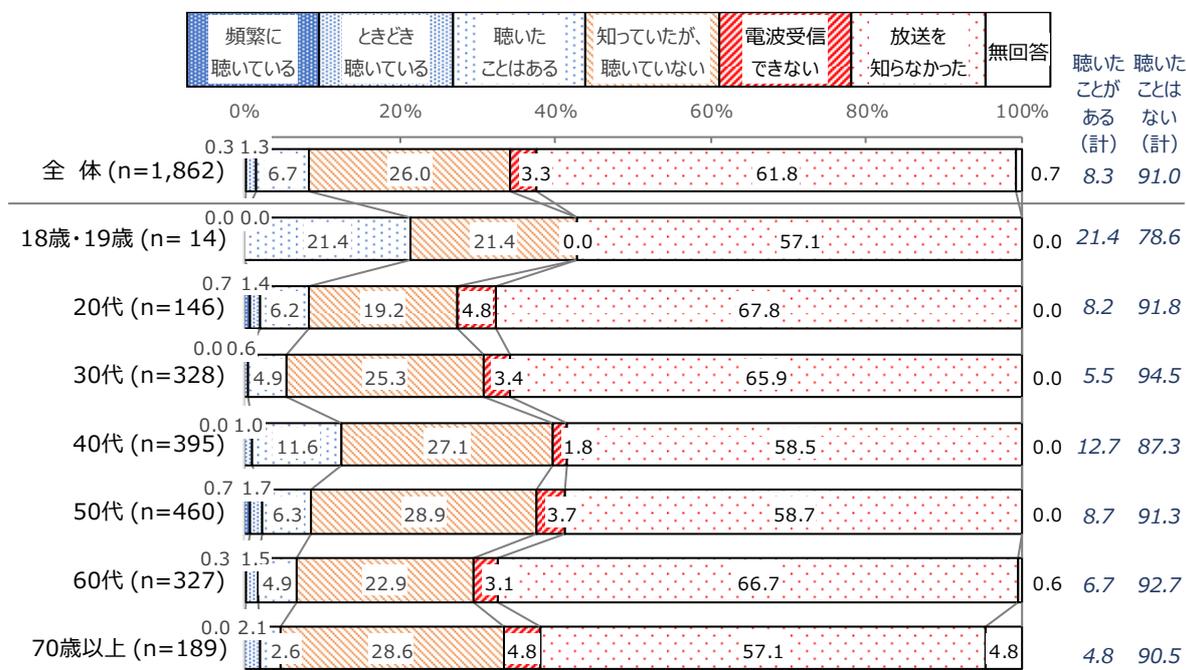
<参考資料>平成29年調査 地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」の聴取状況



【年齢別】

各年代とも「放送を知らなかった」が最も高く、6割弱～7割弱を占める。40代は「聞いたことがある(計)」が12.7%で、18・19歳を除くと、最も高い。

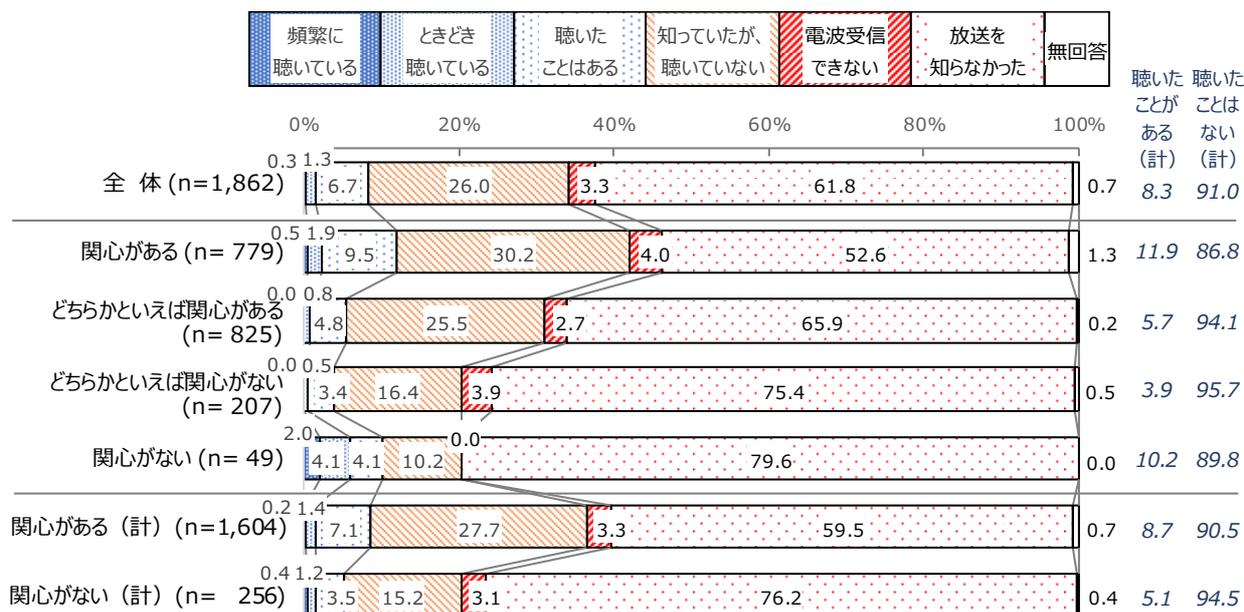
図Ⅲ-10-2 地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」の聴取状況(年齢別)



【区政への関心度別】

「知っていたが、聴いていない」は区政に対する関心度が高いほど高くなっている。

図Ⅲ-10-3 地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」の聴取状況(区政への関心度別)

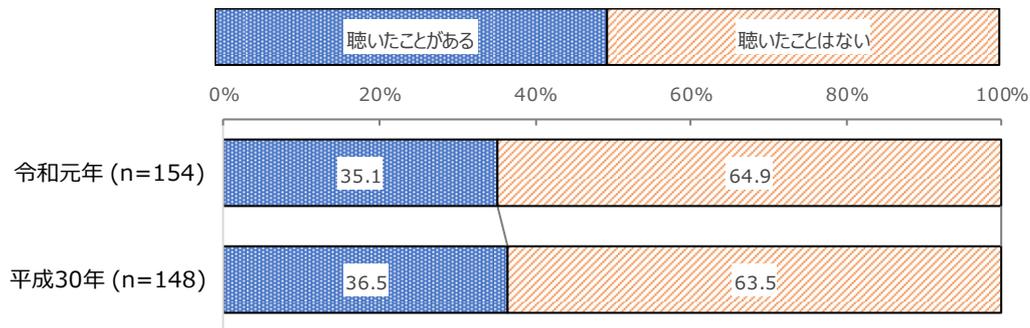


(2) 「渋谷のラジオ」による区の広報番組の聴取経験

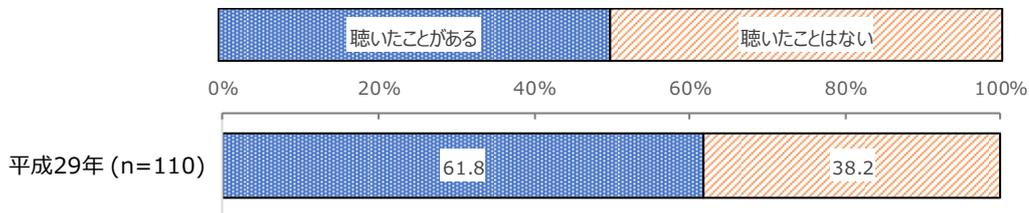
問 24-1 「渋谷のラジオ」を活用した区の広報番組を聞いたことがありますか。(答は1つ) [問 24 で「頻繁に聴いている」「ときどき聴いている」「聞いたことはある」と回答した方対象]

「聞いたことはない」が 64.9%、「聞いたことがある」が 35.1%である。
平成 30 年調査と比較すると、傾向はほとんど同じである。

図Ⅲ-10-4 「渋谷のラジオ」による区の広報番組の聴取経験



<参考資料>平成 29 年調査 「渋谷のラジオ」による区の広報番組の聴取経験



注) 平成 29 年調査の回答対象者は前問で「頻繁に聴いている」または「ときどき聴いている」と回答した方

(3) 区の広報番組の評価

問 24-2 区の広報番組をお聴きになった感想を教えてください。(答はそれぞれ1つ) [問 24-1で「聴いたことがある」と回答した方対象]

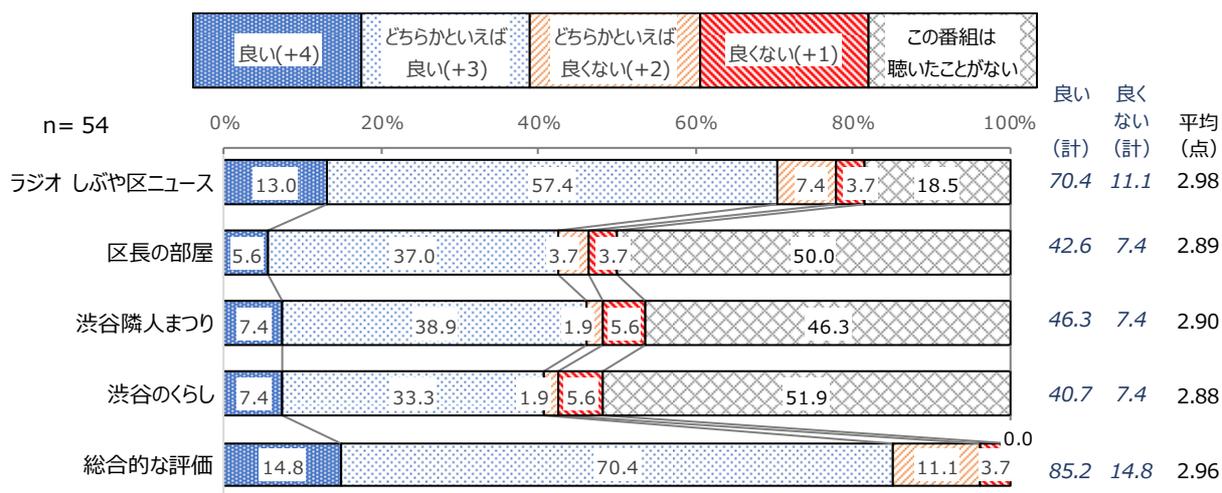
「総合的な評価」は「良い(計)」(「良い」+「どちらかといえば良い」)が85.2%を占める。「区長の部屋」「渋谷隣人まつり」「渋谷のくらし」は「この番組は聴いたことがない」が4割半ばから5割強を占め、「ラジオ しぶや区ニュース」(18.5%)より聴取経験が低い。

各回答について以下のような点数を設定して平均点を算出したところ、平均点は 2.88～2.98 点である。

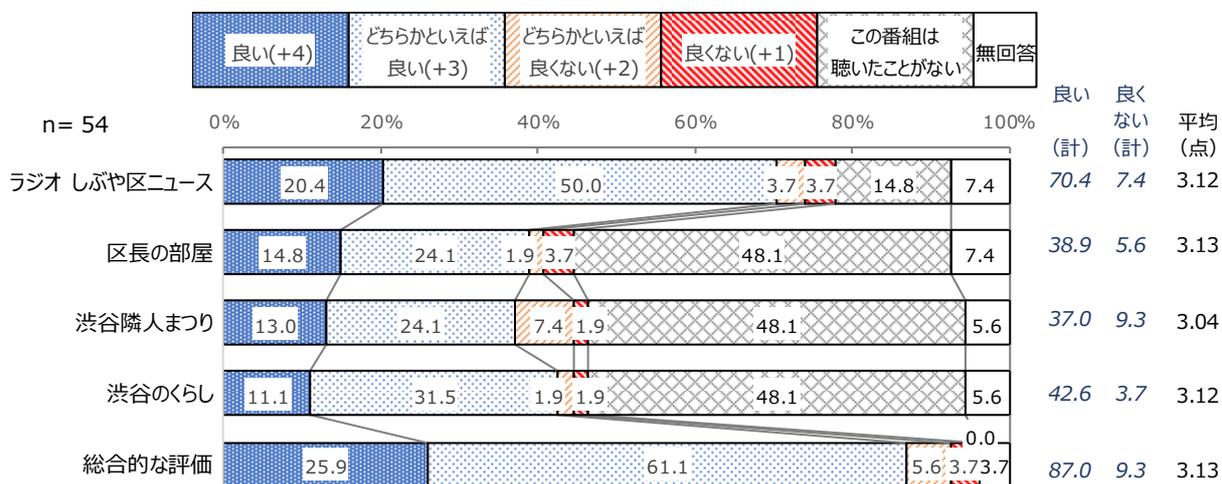
良い:4点	どちらかといえば良い:3点
どちらかといえば良くない:2点	良くない:1点

平成 30 年調査と比較すると、今年はいずれの番組も「良い」の割合が下がっているが、「良い(計)」はあまり変わっておらず、「渋谷隣人まつり」「区長の部屋」は今年の方が高い。

図Ⅲ-10-5 区の広報番組の評価



図Ⅲ-10-6 平成 30 年調査 区の広報番組の評価



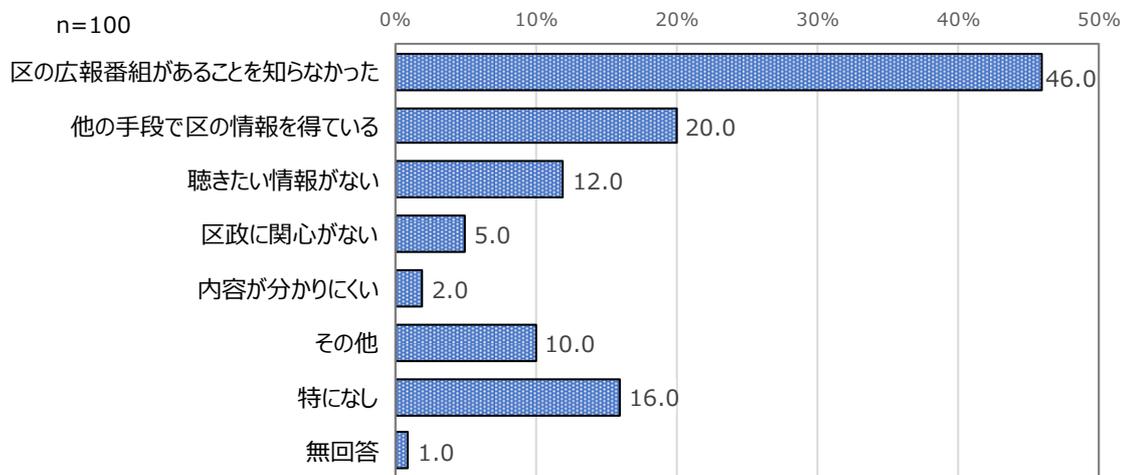
(4) 区の広報番組の非聴取理由

問 24-3 区の広報番組を聴いていない理由は何ですか。(答はいくつでも) [問 24-1で「聴いたことはない」と回答した方対象]

「区の広報番組があることを知らなかった」(46.0%)が半数近くに達する。以下、「他の手段で区の情報を得ている」(20.0%)、「聴きたい情報がない」(12.0%)などが続く。

平成 30 年調査は最大回答数が異なるが、どちらの年も半数近くが「区の広報番組があることを知らなかった」を挙げており、「他の手段で区の情報を得ている」「聴きたい情報がない」が順位は違うが2位、3位に挙げられている。

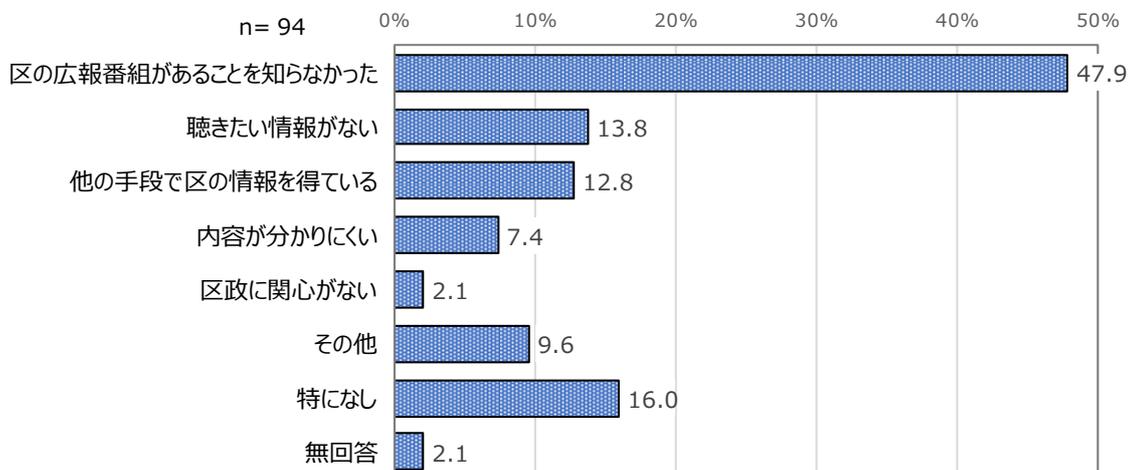
図Ⅲ-10-7 区の広報番組の非聴取理由



[その他の回答]

いつやっているか分からない、リアルタイム放送を視聴する習慣がない、時間通りに聞くのが無理、時間をつくれないのでどこかにアップしてほしい、ラジオアプリで聴けない、聴く方法が難しい、電波が悪い、ラジオはあまり聴かない、コンテンツがまだ貧弱

＜参考資料＞平成 30 年調査 区の広報番組の非聴取理由(答は2つまで)



(5) 渋谷区 SNS の認知・利用度

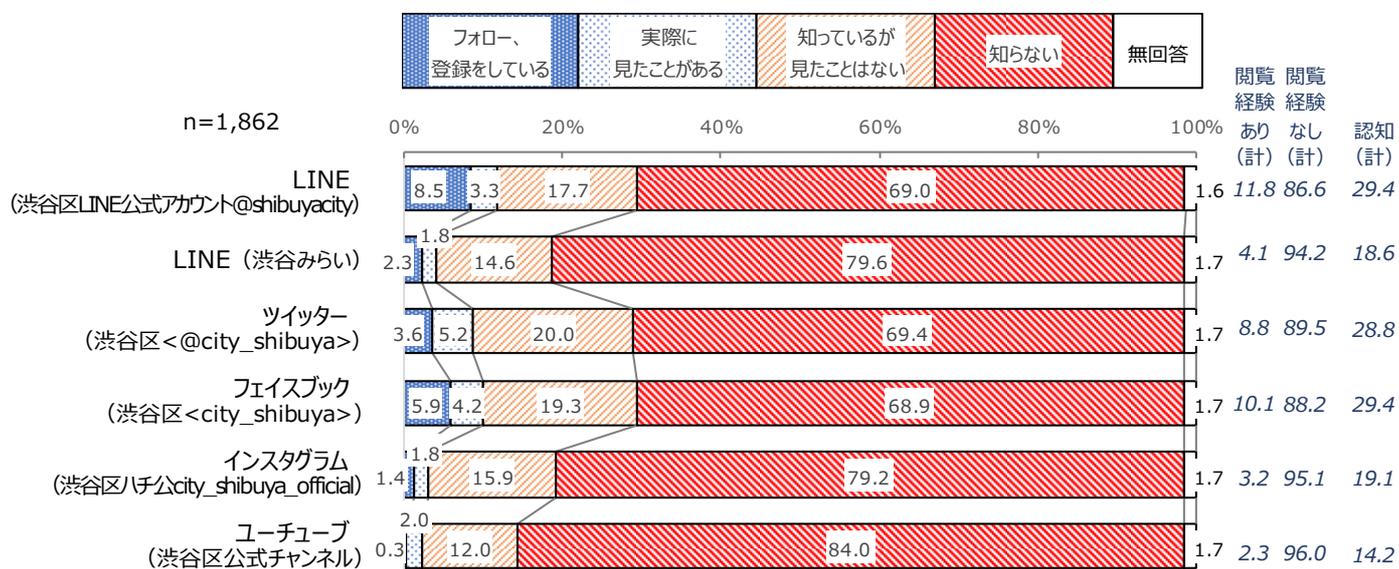
問 25 渋谷区では、LINE、Twitterなどソーシャルメディアを通じて情報を発信しています。あなたの利用状況を教えてください。(答はそれぞれ1つ)

「認知(計)」(「フォロー、登録をしている」+「実際に見たことがある」+「知っているが見たことはない」)は、「LINE(渋谷区 LINE 公式アカウント@shibuyacity)」(29.4%)、「フェイスブック(渋谷区<city_shibuya>)」(29.4%)、「ツイッター(渋谷区<@city_shibuya>)」(28.8%)が高く、3割弱である。

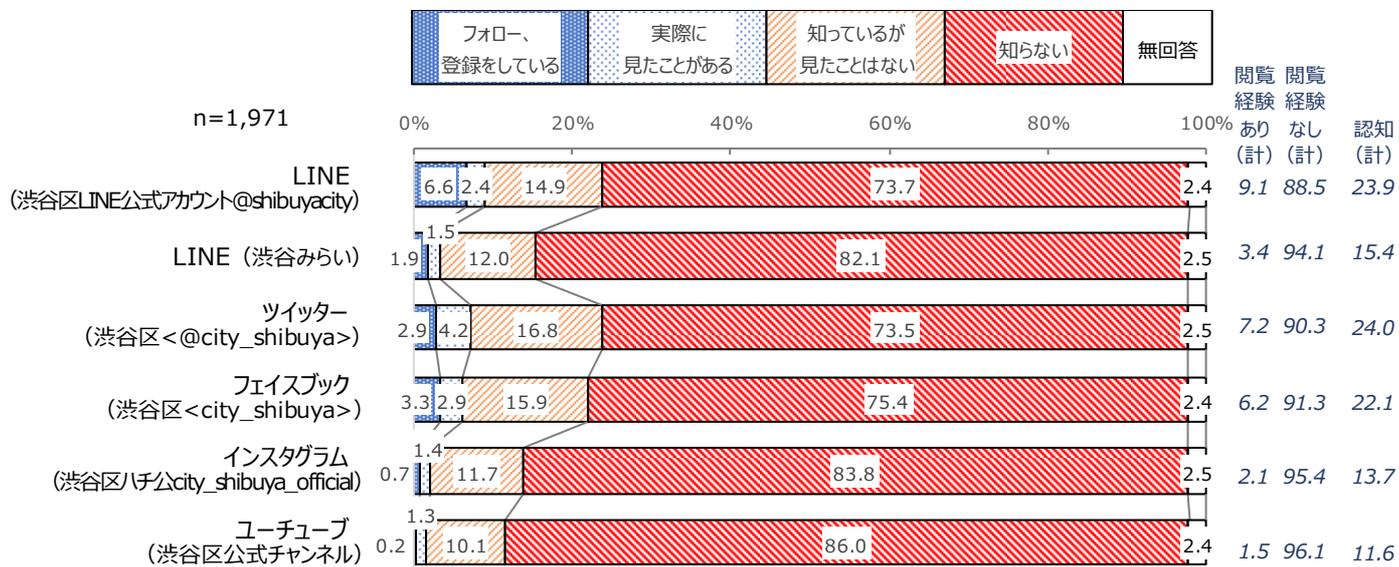
「閲覧経験あり(計)」(「フォロー、登録をしている」+「実際に見たことがある」)は、「LINE(渋谷区 LINE 公式アカウント@shibuyacity)」(11.8%)と「フェイスブック(渋谷区<city_shibuya>)」(10.1%)がほぼ1割である。

平成 30 年調査と比較すると、「認知(計)」「閲覧経験あり(計)」ともにいずれの媒体も今年の方が高くなっている。

図Ⅲ-10-8 渋谷区 SNS の認知・利用度



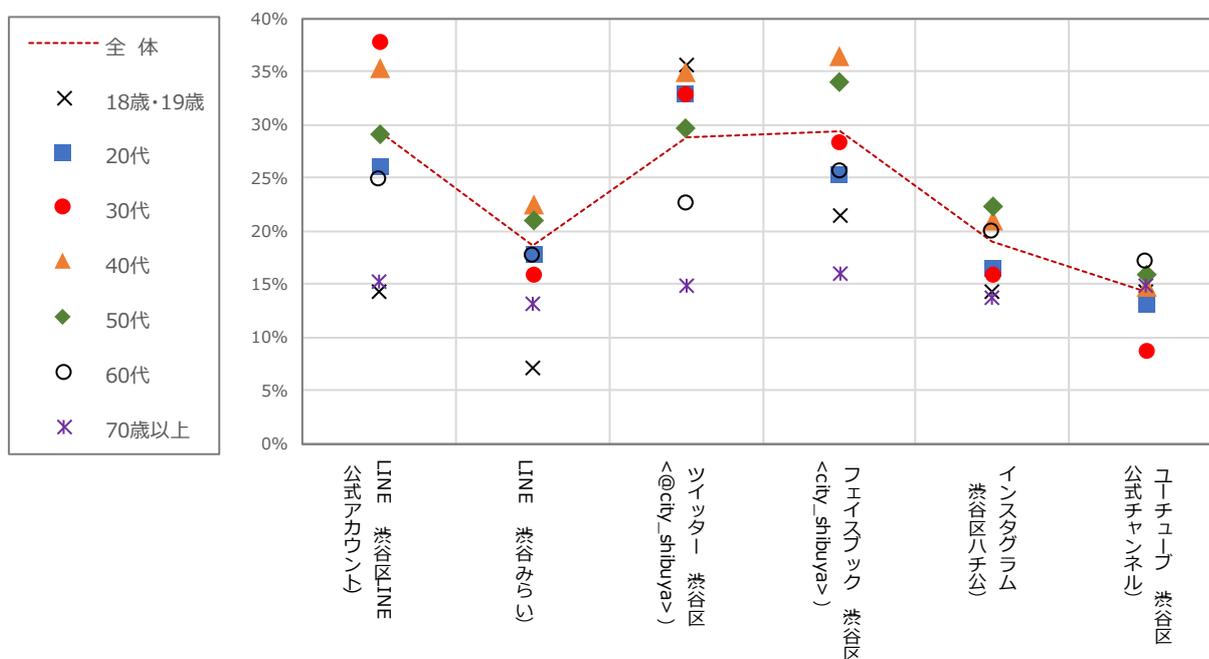
図Ⅲ-10-9 平成 30 年調査 渋谷区 SNS の認知・利用度



【年齢別の認知率】

「LINE(渋谷区 LINE 公式アカウント)」の「認知(計)」は30代(37.8%)と40代(35.4%)が高い。「ツイッター(渋谷区<@city_shibuya>)」は40代以下が3割を超え、50代も約3割と、幅広い年代で認知率が高い。「フェイスブック(渋谷区<city_shibuya>)」は40代(36.5%)と50代(34.1%)が高い。

図Ⅲ-10-10 渋谷区 SNS の認知・利用度(年齢別の認知率)

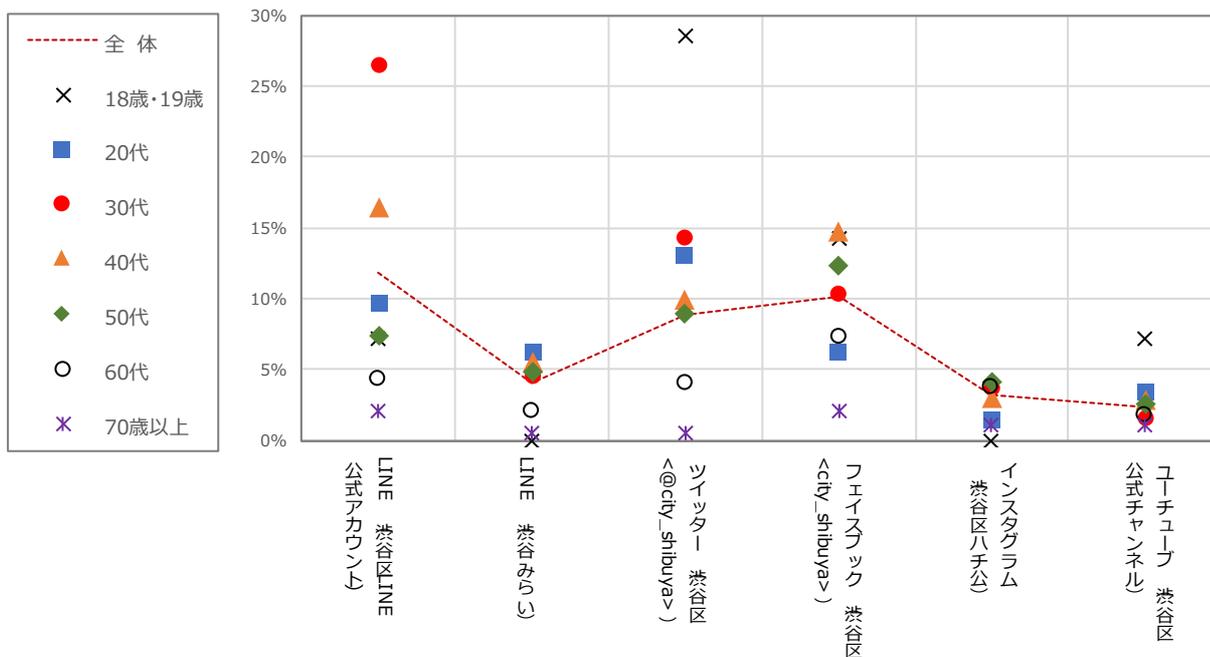


全 体 (n=1,862)	29.4	18.6	28.8	29.4	19.1	14.2
18歳・19歳 (n=14)	14.3	7.1	35.7	21.4	14.3	14.3
20代 (n=146)	26.0	17.8	32.9	25.3	16.4	13.0
30代 (n=328)	37.8	15.9	32.9	28.4	15.9	8.8
40代 (n=395)	35.4	22.5	34.9	36.5	21.0	14.7
50代 (n=460)	29.1	20.9	29.6	34.1	22.4	15.9
60代 (n=327)	24.8	17.7	22.6	25.7	19.9	17.1
70歳以上 (n=189)	15.3	13.2	14.8	15.9	13.8	14.8

【年齢別の閲覧率】

「LINE(渋谷区 LINE 公式アカウント)」の「閲覧経験あり(計)」は30代が26.5%で、全体より倍以上高い。40代も16.5%と他の年代より高い。「ツイッター(渋谷区<@city_shibuya>)」は20代と30代が1割を超え、「フェイスブック(渋谷区<city_shibuya>)」は30～50代が1割を超えている。

図Ⅲ-10-11 渋谷区 SNS の認知・利用度(年齢別の閲覧率)



全体 (n=1,862)	11.8	4.1	8.8	10.1	3.2	2.3
18歳・19歳 (n=14)	7.1	-	28.6	14.3	-	7.1
20代 (n=146)	9.6	6.2	13.0	6.2	1.4	3.4
30代 (n=328)	26.5	4.6	14.3	10.4	3.7	1.5
40代 (n=395)	16.5	5.6	9.9	14.7	3.0	2.8
50代 (n=460)	7.4	4.8	8.9	12.4	4.1	2.6
60代 (n=327)	4.3	2.1	4.0	7.3	3.7	1.8
70歳以上 (n=189)	2.1	0.5	0.5	2.1	1.1	1.1

令和元年度 渋谷区区民意識調査 ご協力のお願い

日頃から、渋谷区政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本区では、基本構想の未来像「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」を実現していくため、昨年に引き続き意識調査を実施いたします。

意識調査は無記名式です。個人のお名前やご住所が特定されることはありませんので、安心してお答えください。意識調査の結果は、今後の区政運営のための基礎資料として活用させていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、渋谷区のより良い発展のために、区民の皆さまどうかご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年8月

渋谷区長 **長谷部 健**

※本調査に関するお問い合わせがございましたら、下記までご連絡ください。

渋谷区 経営企画部 広報コミュニケーション課 広聴相談係
〒150-8010 渋谷区宇田川町1番1号
電話:03-3463-1211(代表) FAX:03-5458-4920
E-mail: sec-kocho@shibuya.tokyo

ご回答にあたってのお願い

回答は「郵送」または「インターネット」のいずれかの方法で行うことができます。

郵送で回答する方へ

- 1 この用紙の2ページ目より回答をお願いいたします。
- 2 回答は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いいたします。
- 3 回答は、あてはまる”番号”に○印をつけてください。(一部、番号を記入する質問もあります。)
「その他()」を選ばれた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 回答していただく方が限られる質問がありますので、()内の指示に従ってお答えください。
- 5 質問によって、答えの数を(1つ)(2つまで)などと指定しておりますので、その範囲内でお答えください。

インターネットで回答する方へ

- 1 パソコン、スマートフォン、携帯電話から回答できます。
(※携帯電話の機種によっては回答できない場合がありますのでご了承ください。)
- 2 右のQRコードを読み取るか、下のURLを入力してください。
- 3 アンケート画面が表示されますので、画面の指示に従ってご回答ください。

QRコード



URL : https://www.city.shibuya.tokyo.jp/2019_survey.html

パスワード : shibuya2019

令和元年9月19日(木)までにご回答ください。

定住性について

(全員の方に)

問1 あなたは、渋谷区に住んで何年になりますか。(答は1つ)

※直近の居住年数についてお答えください。過去の居住については含みません。

1 2年未満	4 10年～20年未満
2 2年～5年未満	5 20年～30年未満
3 5年～10年未満	6 30年以上

(全員の方に)

問2 お住まいの地域はどちらですか。(答は1つ) ※番号に○をつけてください。

笹塚・幡ヶ谷・ 初台・本町周辺	1 初台	2 本町	3 笹塚	4 幡ヶ谷
代々木上原・ 代々木八幡周辺	5 代々木神園町	6 上原	7 富ヶ谷	8 西原
	9 元代々木町	10 大山町		
千駄ヶ谷・原宿・ 神宮前周辺	11 代々木	12 千駄ヶ谷	13 神宮前	
渋谷駅周辺	14 鉢山町	15 鶯谷町	16 渋谷	17 桜丘町
	18 南平台町	19 道玄坂	20 円山町	21 神泉町
	22 松濤	23 神山町	24 宇田川町	25 神南
代官山・恵比寿・ 広尾周辺	26 恵比寿	27 広尾	28 東	29 恵比寿南
	30 恵比寿西	31 代官山町	32 猿樂町	

(全員の方に)

問3 これからも渋谷区に住みつづけたいと思いますか。(答は1つ)

1 ずっと住み続けたい	→問4へ
2 できれば住み続けたい	
3 できたら区外に転出したい	→問3-1へ
4 すぐにでも転出したい	

(問3で「3」か「4」と答えた方に)

問3-1 あなたが区外に転出したい理由は何ですか。

一番大きな理由、次に大きな理由、三番目に大きな理由を、それぞれ教えてください。

※下の枠内にあてはまる番号を記入してください。

(答はそれぞれ1つ)

1 現在の住宅が狭いから	8 買い物が不便だから(近くに商店がない、物価が高いなど)
2 家賃、地代が高いから	
3 固定資産税、相続税が高いから	9 他の区市町村に住んでいる親族と同居するため
4 住まい周辺の環境が悪くなってきたから	10 転勤、就職、通学のため
5 震災対策が不安だから	11 社宅だから
6 近隣の住民(友人・知人)が減り生活が不安だから	
7 子どもの教育環境が悪いから	12 その他 ()



上記の中から、あてはまる番号を1つ下の枠内に記入してください。

一番大きな理由

次に大きな理由

三番目に大きな理由

※一番目は必ずご記入ください。二番目以降はあてはまるものがある場合のみご記入ください。

区政について

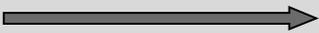
(全員の方に)

問4 あなたは、渋谷区政に関心がありますか。(答は1つ)

1 関心がある
2 どちらかといえば関心がある
3 どちらかといえば関心がない
4 関心がない

(全員の方に)

問5 あなたは、渋谷区の以下の施策について充実していると思いますか。(答はそれぞれ1つ)

	充実している	どちらかといえ ば	どちらかといえ ば	充実していない
(記入例) A 学校教育 	1	②	3	4
A 学校教育	1	2	3	4
B 子育て支援	1	2	3	4
C 高齢者施策	1	2	3	4
D 障害者支援	1	2	3	4
E 健康(健康・医療・運動不足解消など)のための支援	1	2	3	4
F 防災対策・避難場所	1	2	3	4
G 防犯・風紀対策	1	2	3	4
H まちの美化	1	2	3	4
I まちのバリアフリー化	1	2	3	4
J 広場や公園	1	2	3	4
K 路上喫煙・タバコ対策	1	2	3	4
L ごみ減量・リサイクルの推進	1	2	3	4
M 街の景観	1	2	3	4
N 駐輪場・自転車対策・シェアサイクルなど 多様な交通手段の利用	1	2	3	4

(全員の方に)

問6 あなたは日頃、区政に関する情報をどのような方法で入手していますか。(答はいくつでも)

1 広報紙「しぶや区ニュース」(各戸配布)	7 町会・自治会の掲示板、回覧板
2 渋谷区のホームページ	8 テレビや新聞、ラジオなどのマスメディア
3 渋谷区公式 Twitter(ツイッター)	9 SNS やWebのニュースサイトの情報 (渋谷区公式以外)
4 渋谷区公式 LINE	
5 渋谷区公式 Facebook(フェイスブック)	10 家族や友人・知人などからの口コミ
6 渋谷のラジオ(地域コミュニティFM)	11 その他()

渋谷区基本構想について

(全員の方に)

問7 渋谷区では平成28年10月に渋谷区の未来像として、「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」というスローガンを掲げる新しい基本構想を策定しました。この基本構想またはスローガンをご存知ですか。

※このアンケートに答える前の事についてお答えください。 (答は1つ)

1 スローガンも基本構想の内容も知っている	
2 スローガンは知っているが、基本構想は知らない	→問7-1へ
3 スローガンは知らないが、基本構想は知っている	
4 両方とも知らない	→問8へ

(問7で「1」か「2」か「3」と答えた方に)

問7-1 スローガンまたは基本構想を何からお知りになりましたか。(答はいくつでも)

1 広報紙「しぶや区ニュース」(各戸配布)	7 町会・自治会の掲示板、回覧板
2 渋谷区のホームページ	8 テレビや新聞、ラジオなどのマスメディア
3 渋谷区公式 Twitter(ツイッター)	9 SNS やWebのニュースサイトの情報 (渋谷区公式以外)
4 渋谷区公式 LINE	10 家族や友人・知人などからの口コミ
5 渋谷区公式 Facebook(フェイスブック)	11 その他()
6 渋谷のラジオ(地域コミュニティFM)	

(全員の方に)

問8 スローガン、基本構想がどのようなところで紹介されれば目にふれやすいと思いますか。最も目にふれやすいもの、次に目にふれやすいもの、三番目に目にふれやすいものを、それぞれ教えてください。(答はそれぞれ1つ)

※下の枠内にあてはまる番号を記入してください。

1 広報紙「しぶや区ニュース」(各戸配布)	7 町会・自治会の掲示板、回覧板
2 渋谷区のホームページ	8 テレビや新聞、ラジオなどのマスメディア
3 渋谷区公式 Twitter(ツイッター)	9 SNS やWebのニュースサイトの情報 (渋谷区公式以外)
4 渋谷区公式 LINE	10 家族や友人・知人などからの口コミ
5 渋谷区公式 Facebook(フェイスブック)	11 その他()
6 渋谷のラジオ(地域コミュニティFM)	

上記の中から、あてはまる番号を1つ下の枠内に記入してください。

↓

最も 目にふれやすいもの

次に 目にふれやすいもの

三番目に 目にふれやすいもの

※一番目は必ずご記入ください。二番目以降はあてはまるものがある場合のみご記入ください。

高齢者施策について

(全員の方に)

問9 あなたご自身またはご家族に介護が必要となった場合、不安はありますか。

すでに介護が必要な場合を含めてお答えください。(答は1つ)

1 不安がある	→問9-1へ
2 不安はない	→問10へ

(問9で「1」と答えた方に)

問9-1 具体的にはどのような不安がありますか。(答はいくつでも)

1 金銭面	6 育児との両立
2 介護の方法	7 他の家族との関係
3 自分の心身の状況	8 介護サービスに関する手続き
4 仕事との両立	9 その他()
5 家事との両立	

(全員の方に)

問10 これからの高齢者施策で渋谷区が優先的に取り組む必要があるものは何ですか。

最も必要なもの、次に必要なもの、三番目に必要なものを、それぞれ教えてください。

※下の枠内にあてはまる番号を記入してください。

(答はそれぞれ1つ)

1 生きがいづくり・社会参加の支援(就労の支援や社会貢献活動・ボランティアなどの社会参加)
2 健康づくり(介護予防事業、健康体操・講座)
3 在宅介護の支援(在宅で生活が続けられる介護・医療サービス、家族介護者への支援)
4 介護保険対象外サービス (区独自ホームヘルプサービス、介護予防デイサービスの回数上乘せなど)
5 認知症高齢者への支援(正しい知識の普及啓発、早期発見・予防)
6 高齢者施設の拡充 (特別養護老人ホーム、通いで介護を受けられる(デイサービス等) 施設の充実)
7 高齢者向け住宅の充実
8 相談・支援体制の充実(相談窓口・情報提供の充実、ひとり暮らし高齢者等の見守り)
9 防犯対策、権利擁護(悪質商法など犯罪の防止、高齢者虐待の防止、成年後見制度の普及)
10 終活(人生の終焉に向けての事前準備:相続、葬儀、お墓等)に関する支援
11 その他()



上記の中から、あてはまる番号を1つ下の枠内に記入してください。

最も必要なもの

次に必要なもの

三番目に必要なもの

※一番目は必ずご記入ください。二番目以降はあてはまるものがある場合のみご記入ください。

(全員の方に)

問11 あなたが将来介護を必要とする状況になった場合、どのような介護を最も望みますか。

現在介護を受けている方も、最も望む介護をお選びください。(答は1つ)

- 1 在宅のままで家族や親族からの介護
- 2 在宅のままで友人・知人からの介護
- 3 在宅のままで訪問看護やホームヘルプサービスなどを利用
- 4 高齢者福祉施設(特別養護老人ホームなど)に入所
- 5 民間の有料老人ホーム等に入所
- 6 その他()
- 7 分からない

アクティブシニアについて

(全員の方に)

問12 あなたは、渋谷区に住む高齢者が、地域の多様な活動や区主催の事業への参加などを通じて、社会と関わりを持ちながら生活を送っていると思いますか。

若年層の方は、ご家族や近所の方など、身の回り的高齢者を想定してお答えください。(答は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない |
| | 5 分からない |

(全員の方に)

問13 プレシニア世代からアクティブシニア世代の方がいつまでも楽しく元気に活躍し続けられるように、皆様がお持ちの経験や能力を活かすことができる機会や新たな学びの場などを提供する「渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ(通称:シブカツ)」を、令和元年7月1日から渋谷ヒカリエ8階に開設しました。あなたは、このシブカツについて知っていますか。(答は1つ)

- | | |
|---------|---------|
| 1 知っている | →問13-1へ |
| 2 知らない | →問14へ |

(問13で「1」と答えた方に)

問13-1 シブカツについて、あなたにあてはまるものを全てお答えください。(答はいくつでも)

- 1 シブカツのイベントに参加したことがある
- 2 シブカツのWebサイトを閲覧したことがある
- 3 渋谷ハチコウ大学(令和元年10月開校)を知っている
- 4 その他()
- 5 あてはまるものはない

(全員の方に)

問14 シブカツには今後どのようなことを期待しますか。(答はいくつでも)

- 1 経験や能力を活かせる場の情報提供
- 2 Webサイトの機能向上
- 3 渋谷ハチコウ大学^{注)}の講座の充実
- 4 働くための情報提供
- 5 相談窓口のマッチング機能充実
- 6 その他()
- 7 特になし

注)渋谷ハチコウ大学とは、自らの生涯現役を考える・探すきっかけとして区内大学や企業と連携し、新たな学びの機会を提供する区民大学です。学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。

渋谷区喫煙ルールについて

(全員の方に)

問15 渋谷区では、「歩行喫煙はしない」「たばこは決められた場所で吸う」という『渋谷区分煙ルール』を平成15年8月に定め、喫煙者のモラルとマナーの向上を図ってきましたが、今年4月より『きれいなまち渋谷をみんなでつくる条例』改正に伴い、「屋外の公共の場所では喫煙しない」「たばこは決められた場所のみで吸うことができる」という『渋谷区喫煙ルール』を新たに決めました。あなたは、この『渋谷区喫煙ルール』を知っていますか。(答は1つ)

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1 内容まで知っている | →問15-1へ |
| 2 ルールがあることだけは知っている | →問16へ |
| 3 知らなかった(この調査で初めて知った) | |

(問15で「1」と答えた方に)

問15-1 このルールの内容について知っていることを全てお答えください。(答はいくつでも)

- 1 屋外の公共の場所(区内の道路・公園・広場・その他公共の場所)が終日禁煙であること
- 2 令和元年7月より屋外の公共の場所での喫煙は過料の対象であること
- 3 渋谷区では加熱式たばこはタバコ葉を加熱する製品であるため規制対象であること
- 4 屋外の公共の場所では「指定喫煙所」以外での喫煙は禁止されていること(私有地は除く)
- 5 建築物内では喫煙施設であれば、喫煙ができること
- 6 この中にはない

(全員の方に)

問16 今後、喫煙ルールについて、渋谷区にどのようなことを期待しますか。

最も期待すること、次に期待すること、三番目に期待することを、それぞれ教えてください。

※下の枠内にあてはまる番号を記入してください。

(答はそれぞれ1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 受動喫煙による健康への悪影響についての普及啓発 |
| 2 喫煙者へのマナー向上のための普及啓発 |
| 3 指導員の巡回による指導、過料徴収などの着実な運用 |
| 4 受動喫煙防止のために必要な環境の整備 |
| 5 渋谷区喫煙ルールの緩和や規制によらない自主的な取り組みの促進 |
| 6 加熱式たばこを規制対象外とすること |
| 7 その他() |



上記の中から、あてはまる番号を1つ下の枠内に記入してください。

最も期待すること

次に期待すること

三番目に期待すること

※一番目は必ずご記入ください。二番目以降はあてはまるものがある場合のみご記入ください。

ネウボラについて

(全員の方に)

問17 保健師があらゆる相談の窓口になって、妊娠中から子どもが18歳になるまで支援する「渋谷区子育てネウボラ」についてどのようなことを期待しますか。(答は2つまで)

- 1 保健師に気軽に相談できること
- 2 保健師に相談することで、適切な窓口につないでもらえること
- 3 訪問して支援してもらえること
- 4 妊娠中から子育て中の子育てサービスの紹介
- 5 その他()
- 6 特になし

(全員の方に)

問18 今年度からすべての妊婦の方を対象とした保健師による面接を始めています。「妊婦面接」にどのようなことを期待しますか。(答はいくつでも)

- 1 妊娠中の体の変化や家族のことを相談できること
- 2 出産後の子育てについて相談できること
- 3 利用できるサービスの紹介
- 4 育児パッケージをもらえること
- 5 その他()
- 6 特になし

(全員の方に)

問19 「渋谷区子育てネウボラ」では、「妊娠から出産、子育てを通じて家族みんながいつでも相談できる場をつくる。子育てを通じて、出会う、集う、語る、つながる。そして地域みんなが子どもを育てる。」ことを目指しています。

あなたも地域の子育てに参加したいと思いますか。(答は1つ)

- 1 ぜひ参加したい
- 2 機会があれば参加したい
- 3 参加したいとは思わない
- 4 すでに子育てグループやNPOに参加している

町会・自治会について

(全員の方に)

問20 あなたの考える近所付き合いはどのようなものですか。(答は1つ)

※あてはまるものが無い人も、選択肢の中から比較して最もお気持ちに近いものをお選びください。

- 1 日頃から仲良く交流すること
- 2 地域の行事や清掃活動などに参加すること
- 3 あいさつを交わす程度だが災害時等は助け合うこと
- 4 付き合いは必要ない

(全員の方に)

問21 あなたは、町会・自治会に加入していますか。(答は1つ)

- | | |
|-----------|---------|
| 1 加入している | →問22へ |
| 2 加入していない | →問21-1へ |
| 3 分からない | →問22へ |

(問21で「2」と答えた方に)

問21-1 加入していない理由は何ですか。(答はいくつでも)

- 1 仕事などが忙しく時間がないから
- 2 知っている人がいないから
- 3 同世代の人が入っていないから
- 4 人間関係がわずらわしそうだから
- 5 活動の内容が分からないから
- 6 役員や当番のような役職につくのが嫌だから
- 7 町会費を負担するのが嫌だから
- 8 加入する機会がなかったから(加入する方法を知らないから)
- 9 その他()
- 10 特になし

(全員の方に)

問22 町会・自治会の役割としてどのようなことを期待しますか。(答は3つまで)

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| 1 高齢者の活動の場 | 7 地域防災(避難、災害時の避難場所の設営・運営などを含む) |
| 2 住民間の交流促進 | 8 交通安全 |
| 3 単身高齢者世帯の見守り | 9 地域の祭りやイベントの開催 |
| 4 防犯活動(見回り活動などを含む) | 10 その他() |
| 5 子どもの登下校などの見守り | 11 特になし |
| 6 地域の美化活動 | |

広報紙「しづや区ニュース」について

(全員の方に)

問23 あなたは、広報紙「しづや区ニュース」を読んでいますか。(答は1つ)

1 毎号読む	→問23-1へ
2 とときどき読む	
3 読まない	→問23-2へ

(問23で「1」か「2」と答えた方に)

問23-1 「しづや区ニュース」をお読みになった感想を教えてください。(答はそれぞれ1つ)

	良 い	良 ど ち ら か と い え ば	良 ど ち ら か と い え ば	良 く な い	見 て い な い ジ は
(記入例) A 表紙、特集記事	1	②	3	4	5
表紙、特集記事 A (地域で活躍する方へのインタビュー :1~3ページ)	1	2	3	4	5
渋谷区からのお知らせ B (新しい事業・届け出などに関する記事 :4~7ページ)	1	2	3	4	5
くらしの情報 C (保健、催し物、講座・教室、 スポーツなどの記事:8~11ページ)	1	2	3	4	5
裏表紙の特集など D (区内で実施された催し物などの紹介 :12ページ)	1	2	3	4	5
E 総合的な評価	1	2	3	4	

⇒問24へ

(問23で「3」と答えた方に)

問23-2 「しづや区ニュース」を読まない理由は何ですか。(答はいくつでも)

1 各戸配布で届いていない
2 読みたい情報がない
3 読む時間がない
4 区政に関心がない
5 読みにくい、内容が分かりにくい
6 他の手段で区の情報を得ている
7 その他()
8 特になし

コミュニティFM・SNSについて

(全員の方に)

問24 渋谷区内では、平成28年4月から地域コミュニティFM「渋谷のラジオ」(87.6MHz)が放送を開始しましたが、聞いたことがありますか。(答は1つ)

1 頻繁に聴いている	→問24-1へ
2 とくどき聴いている	
3 聴いたことはある	
4 知っていたが、聴いていない	→問25へ
5 電波受信できない	
6 放送を知らなかった	

(問24で「1」か「2」か「3」と答えた方に)

問24-1 「渋谷のラジオ」を活用した区の広報番組を聞いたことがありますか。(答は1つ)

1 聞いたことがある	→問24-2へ
2 聞いたことはない	→問24-3へ

(問24-1で「1」と答えた方に)

問24-2 区の広報番組をお聴きになった感想を教えてください。(答はそれぞれ1つ)

	良い	良い どちら かとい えば	良く ない どちら かとい えば	良く ない	聴 こ い た こ と が な い
(記入例) A ラジオ しぶや区ニュース	1	②	3	4	5
A ラジオ しぶや区ニュース (月～木 11:00、16:00、21:50)	1	2	3	4	5
B 区長の部屋 (金 11:00、17:00、19:50)	1	2	3	4	5
C 渋谷隣人まつり (火 11:00)	1	2	3	4	5
D 渋谷のくらし (金 17:20)	1	2	3	4	5
E 総合的な評価	1	2	3	4	

⇒問25へ

(問24-1で「2」と答えた方に)

問24-3 区の広報番組を聴いていない理由は何ですか。(答はいくつでも)

1	区の広報番組があることを知らなかった
2	他の手段で区の情報を得ている
3	聴きたい情報がない
4	区政に関心がない
5	内容が分かりにくい
6	その他()
7	特になし

(全員の方に)

問25 渋谷区では、LINE、Twitterなどソーシャルメディアを通じて情報を発信しています。

あなたの利用状況を教えてください。(答はそれぞれ1つ)

	登録を している	実際に 見たこと がある	知って いるが はない	知らない
(記入例) A LINE(渋谷区LINE公式アカウント@shibuyacity) →	1	②	3	4
A LINE(渋谷区LINE公式アカウント@shibuyacity)	1	2	3	4
B LINE(渋谷みらい)	1	2	3	4
C ツイッター(Twitter/渋谷区 <@city_shibuya>)	1	2	3	4
D フェイスブック(Facebook/渋谷区<city_shibuya>)	1	2	3	4
E インスタグラム (Instagram/渋谷区ハチ公city_shibuya_official)	1	2	3	4
F ユーチューブ (YouTube/渋谷区公式チャンネル https://www.youtube.com/channel/UCIHS6GaXu7XpLIgG6Om1fEg)	1	2	3	4

あなたご自身について

(全員の方に)

問26 あなたの性別をお答えください。(答は1つ)

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他

(全員の方に)

問27 あなたの年齢をお答えください。(答は1つ)

- | | |
|-----------|---------|
| 1 18歳・19歳 | 5 50代 |
| 2 20代 | 6 60代 |
| 3 30代 | 7 70歳以上 |
| 4 40代 | |

(全員の方に)

問28 あなたのご職業をお答えください。(答は1つ)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 自営業 | 6 専業主婦(主夫) |
| 2 会社員 | 7 学生 |
| 3 公務員 | 8 無職 |
| 4 会社役員 | 9 その他 |
| 5 アルバイト・パートタイマー | |

(全員の方に)

問29 配偶者はいらっしゃいますか。(答は1つ)

- | | |
|----------------|-------|
| 1 あり | →問30へ |
| 2 なし(離婚・死別を含む) | →問31へ |

(問29で「1」と答えた方に)

問30 あなたと配偶者は共働きですか。(答は1つ)

- 1 共働き
- 2 共働きではない

(全員の方に)

問31 あなたご自身にお子様はいらっしゃいますか。(答は1つ) ※別居を含む

1 いる	→問32へ
2 いない	→問33へ

(問31で「1」と答えた方に)

問32 長子は次のどれにあたりますか。(答は1つ)

1 4歳未満	5 高校生・高専生
2 4歳～小学校就学前	6 大学生・短大生・専門学校生・大学院生
3 小学生	7 社会人
4 中学生	8 その他

(全員の方に)

問33 現在のあなたの世帯構成は、次のどれにあたりますか。(答は1つ)

1 一人暮らし	4 三世代家族(親と子どもと孫)
2 夫婦のみ	5 パートナーなどとの共同生活
3 二世代家族(親と子ども)	6 その他

(全員の方に)

問34 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(答は1つ)

1 一戸建て(持ち家)	5 公共住宅(区営・都営・公社・都市再生機構)
2 分譲マンション(持ち家)	6 社宅・官舎・寮
3 一戸建て(借家)	7 住み込み・間借り・ルームシェア
4 マンション・アパート(借家)	8 その他

(全員の方に)

問35 あなたの世帯の一年間の収入の合計額(税込み)をお選びください。(答は1つ)

1 300万円未満	5 1,000万円～2,000万円未満
2 300万円～500万円未満	6 2,000万円以上
3 500万円～700万円未満	7 分からない
4 700万円～1,000万円未満	

ご協力ありがとうございました。

※ご記入いただいた調査用紙は同封の返信用封筒に封入のうえ、

9月19日(木)までにご投函ください。

令和元年度 渋谷区 区民意識調査 報告書

発行： 渋谷区 経営企画部 広報コミュニケーション課
〒150-8010 東京都渋谷区宇田川町 1-1
電話：03-3463-1211 FAX：03-5458-4920

実施： 株式会社アダムスコミュニケーション
〒168-0074 東京都杉並区上高井戸 1-8-17
ブライトコアビル新館 6階
電話：03-6847-5757 FAX：03-6847-5756